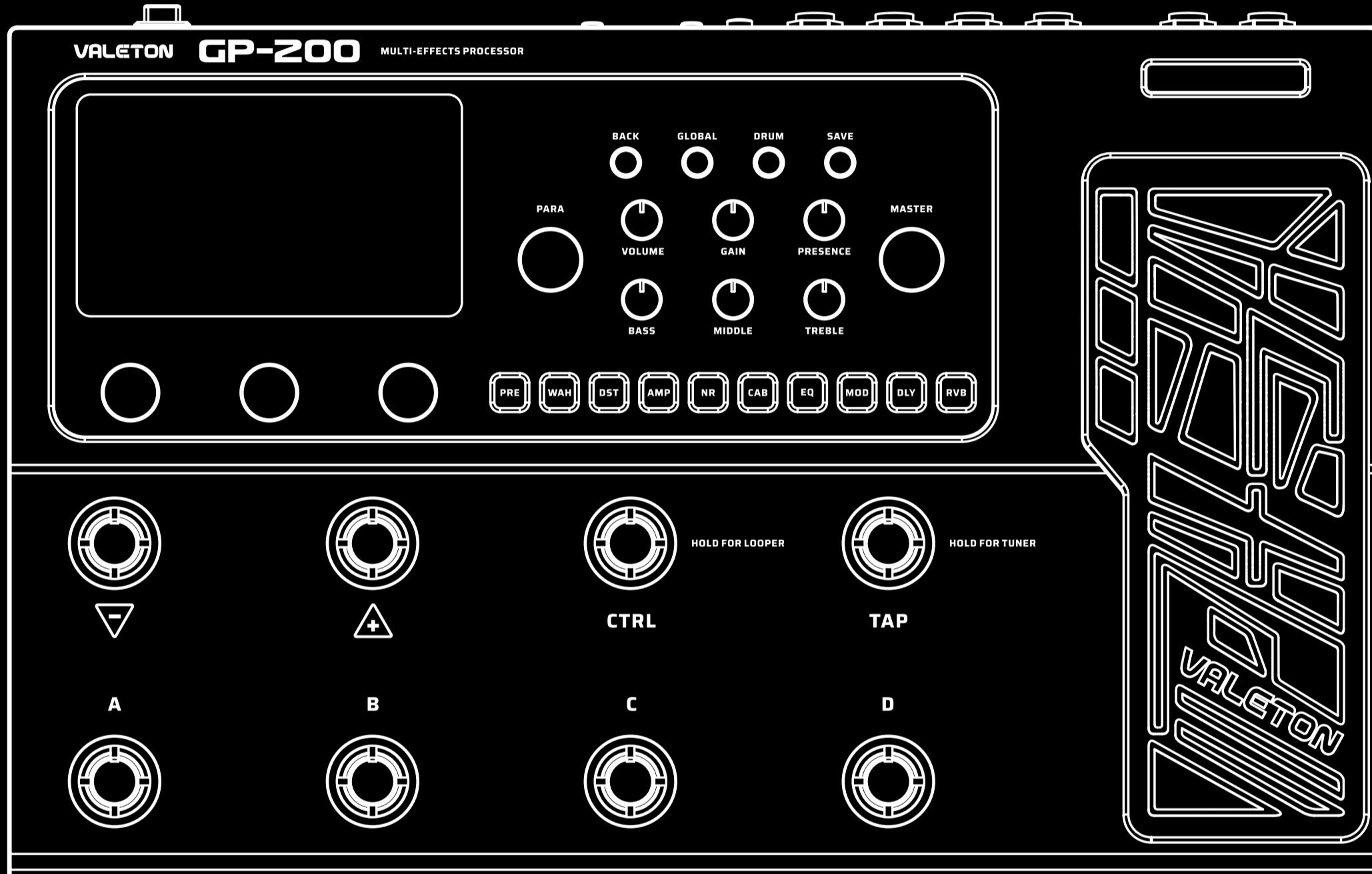


GP-200

MULTI-EFFECTS PROCESSOR

ユーザーマニュアル

For Firmware V1.7.4



VALETON

* 製品の改良を目的として、仕様および製品内容は予告なく変更されることがあります。正確な情報については、地域の販売業者にご確認ください。仕様および特長はモデルや環境要因によって異なる場合があります。外観、パッケージデザイン、マニュアルの内容、付属品、サイズ、各種パラメータ、ディスプレイ画面などを含みますが、これらに限りません。すべての画像はイメージです。

目 次

ようこそ	1	ギターアンプ (FX ループを使って GP-200 を後段に設置する場合)	23
注意	1	ギターアンプ (FX ループを使った 4 ケーブルメソッドの場合)	24
概要	2	オーディオスタジオ (ライブ配信向け)	24
パネル説明	3		
スタートガイド	5		
画面説明	6		
メインディスプレイ画面	6		
チューナー	6		
ルーパー	7		
ドラム	8		
MIDI デバイスコントロール機能 (MIDI)	8		
EXP ペダル	9		
パッチ設定	9		
Edit メニュー	9		
モジュールの編集	10		
シグナルチェーンの管理	10		
パッチ設定	10		
保存メニュー	12		
グローバル設定	12		
入力／出力	13		
USB オーディオ	13		
フットスイッチ	14		
EXP キャリブレーション	15		
EXP 2 / フットスイッチ	16		
MIDI	17		
画面	18		
自動キャビネットマッチング	18		
グローバル EQ	19		
概要	20		
対応ソフトウェア	21		
使用シーン	22		
フルレンジスピーカー機器を使った接続	22		
ギターアンプ (INPUT ジャック) をを使った接続	22		
ギターアンプ (FX ループを使って GP-200 を前段に設置する場合)	23		

ようこそ

VALETON製品をお買い上げいただきありがとうございます。

GP-200を最大限に活用していただくために、ご使用前にマニュアルをよくお読みください。

また、このマニュアルは大切に保管してください。

注意

取り扱いについて

- ・本機を濡らさないでください。液体をこぼした場合は、ただちに電源を切ってください。
- ・すべてのジャック部分をふさがないでください。
- ・熱源の近くに置かないでください。
- ・落雷の恐れがある場合は、損傷を防ぐために電源を切り、接続を外してください。
- ・強い電磁界の中での使用は避けてください。

電源および入出力ジャックの接続

- ・本機および他のすべての機器の電源を必ずオフにしてから、ケーブルの接続、取り外してください。
- ・本機を移動させる際は、すべての接続ケーブルとACアダプターを取り外してください。

お手入れについて

- ・乾いた布のみで清掃してください。

改造について

- ・本装置を開けないでください。
- ・ご自身で本装置の修理を試みないでください。
- ・強い電磁場の中で本装置を使用することは避けてください。

ACアダプターの使用について

- ・必ずDC9V センターマイナス 1000mA のACアダプターを使用してください。指定以外のアダプターを使用すると、本機が故障したり、誤作動を起こしたり、安全上の危険を生じる恐れがあります。
- ・ACアダプターは、必ず定格電圧を供給するコンセントに接続してください。
- ・雷が発生している時や、長期間使用しない場合は、本機の電源プラグをコンセントから抜いてください。

故障について

- ・本機が故障した場合は、直ちにACアダプターを抜き、電源をオフにしてください。その後、接続されているすべてのケーブルを取り外してください
- ・モデル名、シリアル番号、故障の具体的な症状、お名前、ご住所、お電話番号などの情報を準備のうえ、ご購入店にご連絡いただか、VALETONサポート info@hotone.jp までご連絡ください。

VALETON製品をお選びいただき、誠にありがとうございます！

概要

GP-100の職人技にインスピライアされ、Valetonはさらなる高みを目指して、新世代HDモデリング・マルチエフェクトプロセッサー「GP-200」を発表しました。

これまでにないアップグレードを施し、より優れたサウンド体験をお届けします。

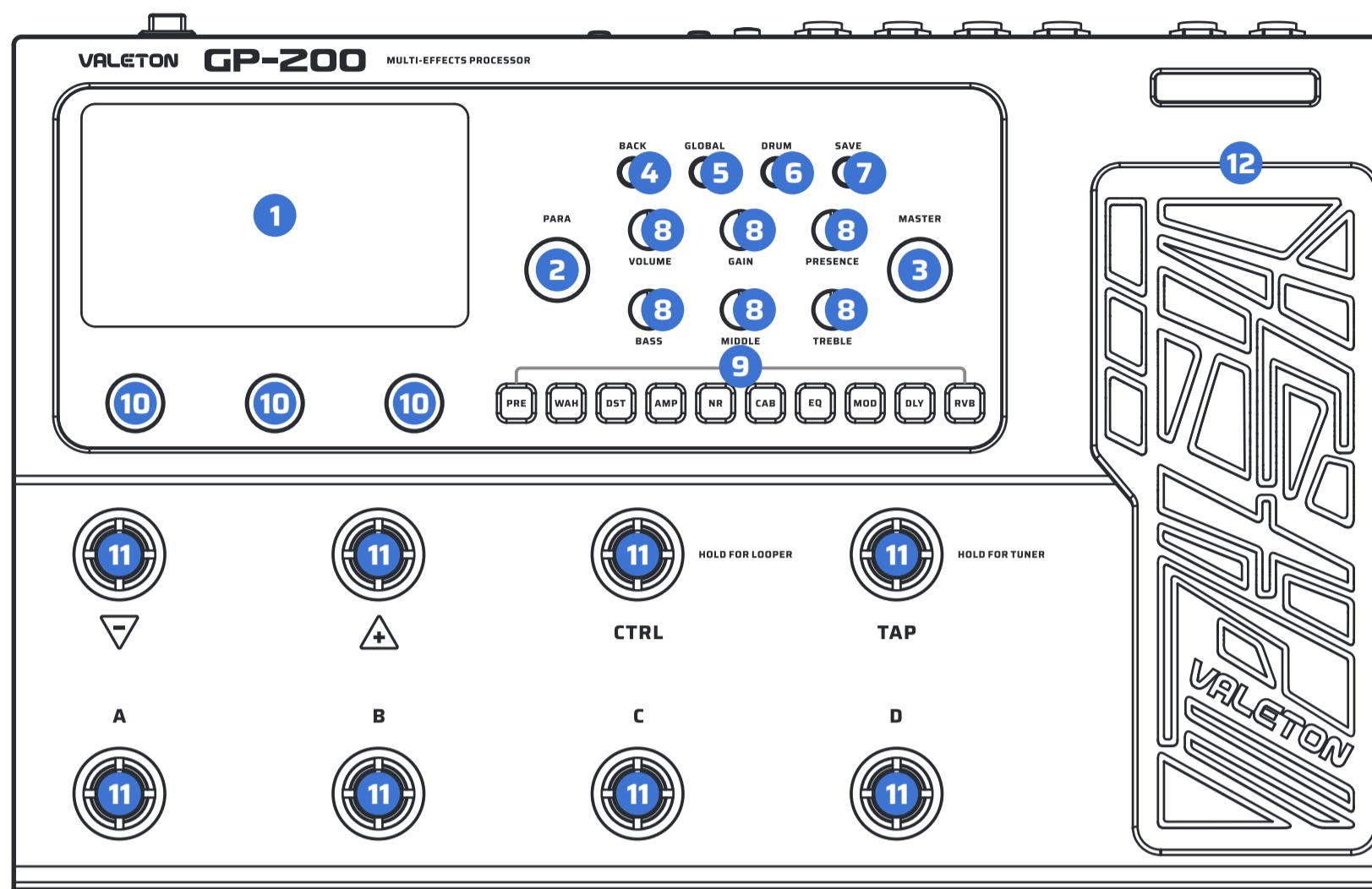
ステージ上での究極のパートナーを目指し、重要な機能を総合的に強化しました。フットスイッチや入出力端子の増加、大型ディスプレイ画面、より使いやすいボタンやノブ、自由に調整可能なエフェクトループに加え、11個の自由に移動可能なエフェクトモジュール、さらには世界的に有名なクラシックアンプ、キャビネット、ストンプボックスの240種類以上のパッチを搭載しています。

それに加えて、GP-200は180秒のルーパーと100種類の高音質ドラムマシンを搭載しています。

外部MIDI機器をコントロールするためのインターフェースを備え、さらにWindows/Mac/iOS/Android複数プラットフォームに対応したオーディオインターフェース機能も持ります。これにより、Windows/Mac用のエディターソフトやASIOと連携し、作曲や練習、録音の際に計り知れない利便性を提供します。



パネル説明



1. LCDディスプレイ

4.3インチのカラーLCDは、GP-200のパッチ番号、パッチ名、その他の操作情報を表示します。

2. PARAノブ(エンターボタン付き)

回してメニューの選択やパラメータの調整を行います。

3. MASTERノブ

回してGP-200のメイン出力音量を調整します。

4. BACKボタン

押すと前のページに戻ります。長押しでメインディスプレイ画面に戻ります。

5. GLOBAL ボタン

押すとグローバル設定メニューに入り、GP-200の全体的なパラメータを編集できます。

6. DRUMボタン

押すとドラムを再生します。長押しでドラムマシン編集メニューに入り、ドラムのパラメータ(スタイル、リズム、音量)を編集できます。

7. SAVE ボタン

パッチが変更されると、メインディスプレイに変更を示すシンボルが表示されます。SAVEボタンを使って、パッチの保存、名前の変更、コピーが行えます。もう一度SAVEボタンを押すと、変更されたパラメータ

が保存されます。長押しで、同じスロットに同じ名前で素早く保存できます。

8. AMPノブ

実際のアンプのように、AMPモジュールをリアルタイムでコントロールします。

9. Module ボタン

押すとモジュールの編集設定メニューに入ります。長押しでモジュールのオン/オフを切り替えます。

10. Quick Access ノブ

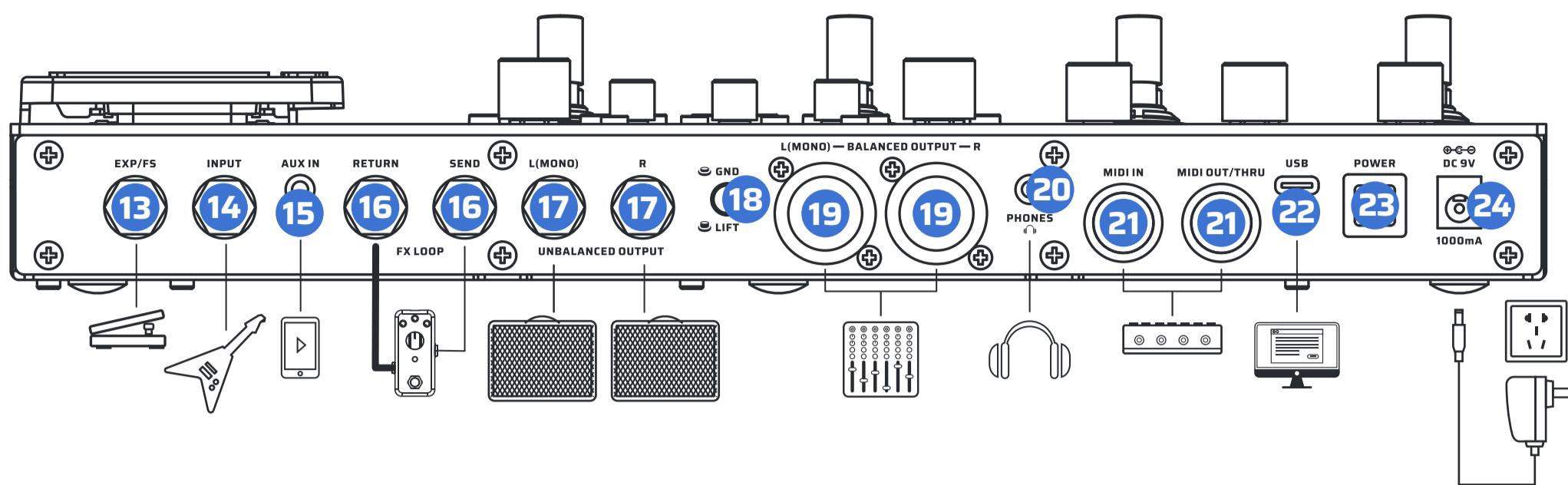
回して画面下部のパラメータを調整します。各ノブの機能は、表示されているパラメータに応じて変化します。

11. 8つのフットスイッチ

パッチの切り替え、エフェクトのオン/オフ、タップテンポの設定などに使用します。

12. エクスプレッションペダル

選択したモジュールの1つまたは複数のパラメータをコントロールするために使用します。



13. EXP/FS 端子

1/4インチTRS入力で、外部エクスプレッションペダルやフットスイッチコントローラーの接続に使用します。

14. INPUT 端子

1/4インチモノラル入力で、ギターや他の楽器を接続します。

15. AUX IN端子

1/8インチTRS入力で、オーディオプレイヤーを接続して一緒に演奏したり、録音に使用できます。

16. FX LOOP (SEND/RETURN) 端子

これらの1/4インチ端子は、外部ストンプボックスを音作りに取り入れるためのエフェクトループとして使用できます。

17. アンバランス出力端子 (モノ出力時はL端子)

1/4インチTSケーブルを使用して、ギターアンプ、フルレンジ・フラットレスポンス (FRFR) スピーカー、または他の再生システムに接続します。

アンプやスピーカーを1台のみ使用する場合は、L (MONO) 端子のみに接続してください。

18. GND/LIFTスイッチ

GND/LIFTスイッチを上 (LIFT) に切り替えると、2つのXLR端子のグランド接続を遮断 (グランドリフト) し、グランドループによるノイズを防ぎます。

下 (GND) に切り替えると、XLRラインは通常通りグラウンドに接続されます。

19. バランス出力端子 (モノ出力時はL端子)

バランスXLRケーブルを使用して、スタジオ機器、ミキサー、PA、またはFRFRスピーカーに接続します。

アンプやスピーカーを1台のみ使用する場合は、L (MONO) 端子のみに接続してください。

20. PHONES端子

1/8インチTRS出力で、ヘッドフォンを接続します。

21. MIDI 端子

外部MIDI機器をここに接続します。

22. USB 端子

USB 2.0 Type-CでMacまたはWindowsコンピューターに接続すると、GP-200は高品質なオーディオインターフェースとして機能します。ダイレクトインジェクション (DI)、リアンプ、MIDI機能を内蔵しています。

23. 電源スイッチ

電源をオンにします。

24. 電源仕様

DC 9V, 1000mA、センターマイナス

スタートガイド

① ギターをGP-200のINPUT端子に接続し、UNBALANCED OUTPUTのL (MONO) 端子からアンプへケーブルをつなげてください。

注意事項【注意事項】

- ・アンプの音量は低めに設定してください。
- ・アンプにFXループのリターン端子がある場合は、そちらにケーブルを接続してください。接続方法については、19ページの「使用例」をご参照ください。

② GP-200のMASTERノブを最小(ゼロ)に回してから、電源を接続し、GP-200の電源を入れてください。

③ 弦のチューニング：フットスイッチのTAPを長押しして(HOLD FOR TUNER)、チューナー画面に入ります。各弦を弾いてチューニングし、画面中央にピッチが合い、緑色に変わるまで調整してください。すべての弦がチューニングできたら、画面の指示に従ってチューナーを終了してください。

パッチの選択

GP-200には256個のパッチがあり、最初の100個(01-A～25-D)は工場出荷時のデフォルト設定が含まれています。ファクトリーリセットを行う際は、この100個のパッチのみを別途デフォルト値にリセットすることができます。

フットスイッチA、B、C、Dをタップして、お好みのパッチを選択してください。フットスイッチBANK-をタップするとバンクを前に戻り、BANK+をタップするとバンクを進めます。バンクを切り替えると、フットスイッチA、B、C、DのLEDリングが点灯し、選択可能なパッチを示します。

画面説明

メインディスプレイ画面

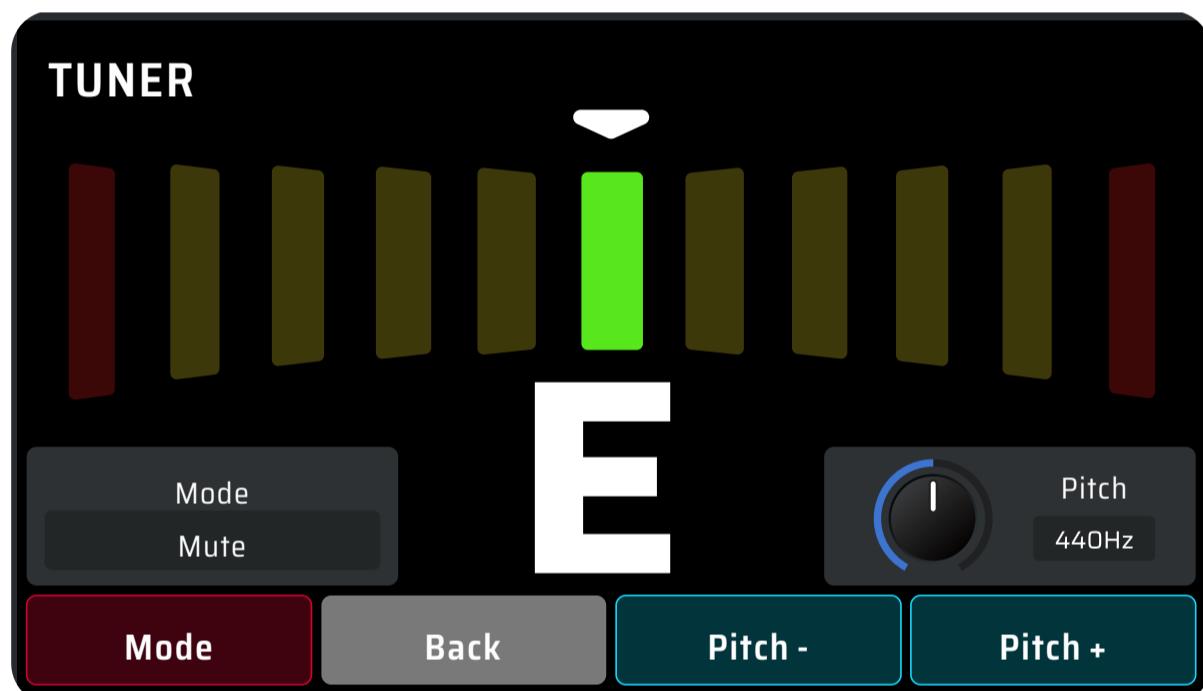
メインディスプレイ画面は、電源を入れた直後に表示されるホームページです。現在のパッチの重要な情報や設定を直接確認できます。



- | | |
|--------------------|-----------------|
| A. パッチ番号 | H. ドラムの状態 |
| B. パッチ名 | I. 現在のフットスイッチ設定 |
| C. パッチボリュームモニター | J. クイック調整パラメータ |
| D. パッチのテンポ | |
| E. パッチのボリューム | |
| F. エクスプレッションペダルの状態 | |
| G. パッチの状態 | |

チューナー

[TAP] フットスイッチを長押ししてチューナーモードを起動します。



チューナーモードでは、LED 画面にチューニングインターフェースが表示されます。弦を弾くと、中央に音程が表示されます。中央より左は音が低く(フラット)、右は高く(シャープ)なっています。音程が中央に近づくにつれて、スケールの色が赤(ズレている)から黄色(ほぼ合っている)を経て緑(合っている)に変わります。

クイックアクセスノブ 1 を回すか、フットスイッチ A をタップしてチューナーの動作モードを選択します。

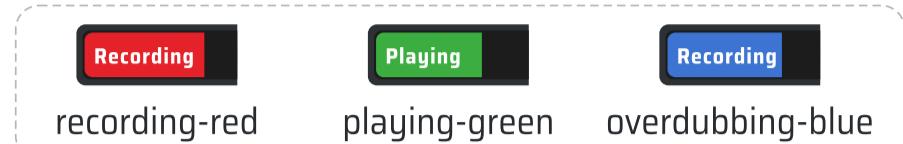
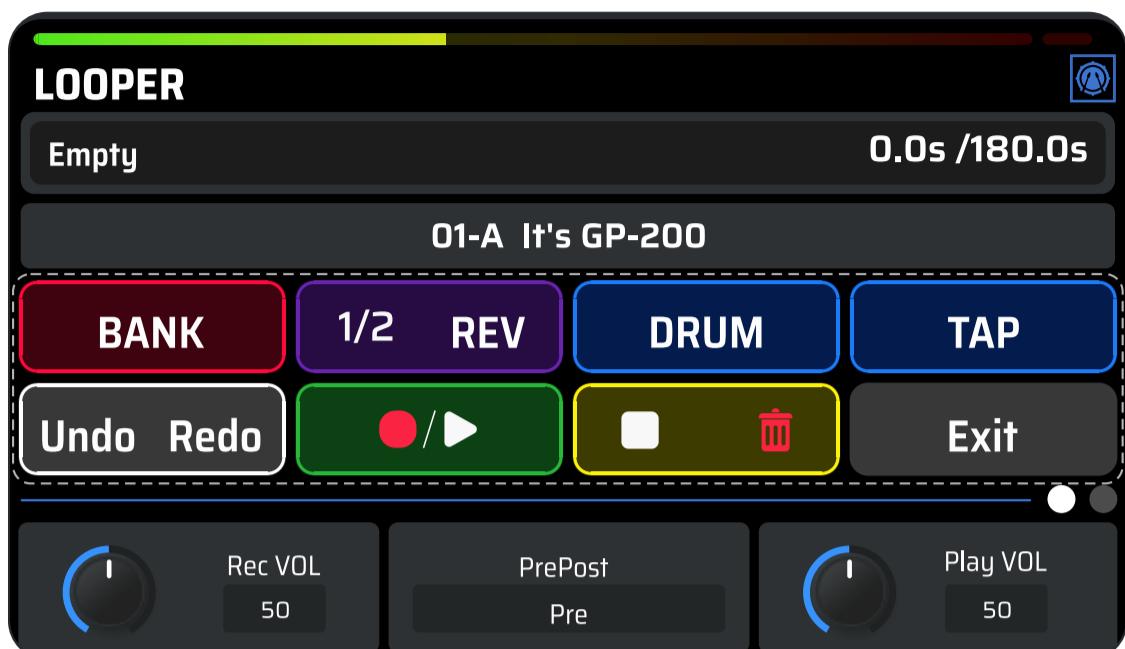
- ・Thru (スルー) : 通常のチューニング音が聞こえます。
- ・Bypass (バイパス) : エフェクトチェーンがバイパスされ、生のギター入力音のみが聞こえます。
- ・Mute (ミュート) : 出力がミュートされます。

クイックアクセスノブ 3 を回すか、フットスイッチ C と D をタップして、基準 A の周波数を 432Hz から 447Hz まで変更できます。(デフォルトは 440Hz)

他のフットスイッチをタップするか、BACK ボタンを押してメインディスプレイ画面に戻ります。

ルーパー

メインディスプレイ画面で、[Ctrl] フットスイッチを長押ししてルーパーに入ります。



この画面で PARA ノブを回して現在のパッチを切り替え、PARA ノブを押してさらに多くのオプションにアクセスします。

フットスイッチの機能表示に二つのオプションがある場合、左側がタップ操作、右側がホールド操作に対応しています。

- Rec VOL: ルーパーの録音音量を変更します。
- Pre/Post: ルーパーのエフェクトチェーン内の位置を変更します。「Post」に設定すると、録音時間は半分になります。
- Play VOL: ルーパーの再生時の音量を変更します。
- 録音時間: 「Undo/Redo」機能を使わない場合、最大 180 秒まで録音時間を設定できます。
- Sync *: ドラムビートをルーパーのタイムラインに同期させます。ルーパーを起動してドラムを再生すると、オーディオが短時間でドラムビートに合わせて調整されます。
- Auto Rec: 自動録音のオン/オフを切り替えます。自動録音をオンにすると、一定の入力信号レベルを感じるまで録音が開始されません。

ルーパー画面ではフットスイッチの機能がホーム画面とは異なり、初期設定の機能は以下の通りです。

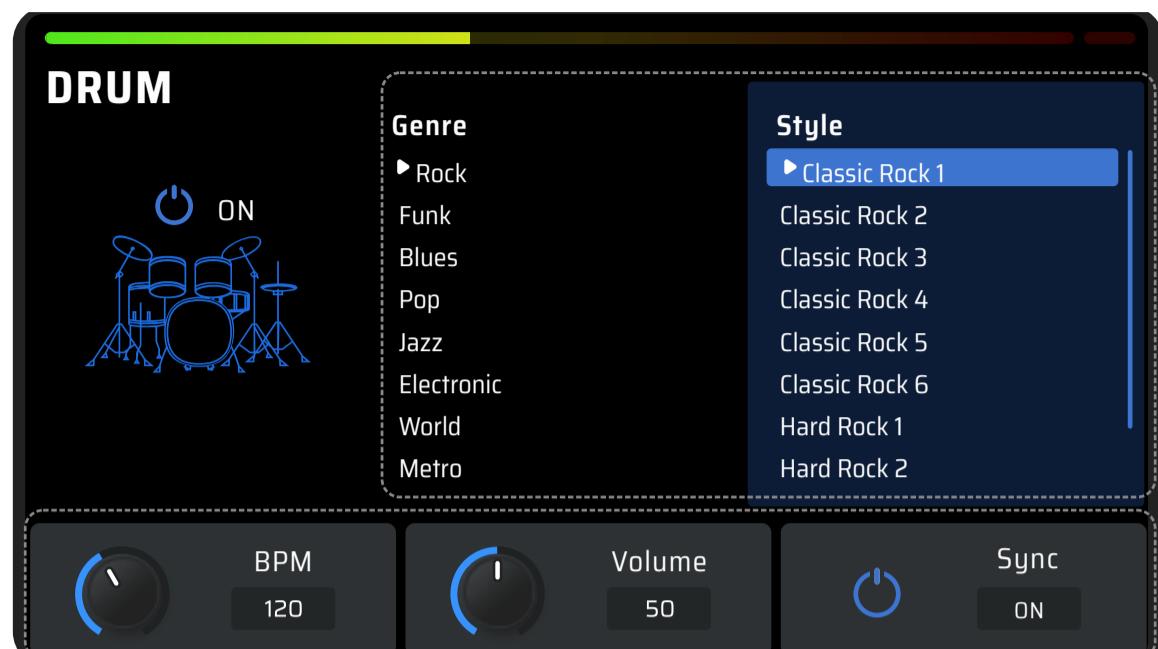
Footswitch		FS 1 [-]	FS 2 [+]	FS 3 [CTRL]	FS 4 [TAP]	FS 5 [A]	FS 6 [B]	FS 7 [C]	FS 8 [D]
Function	Tap	Bank	1/2 Speed	DRUM	Tap Tempo	Undo	Record/ Playback	Stop	Back
	Hold		Reverse	/	Tuner	Redo		Clear	

注意:

Sync 機能を正常に動作させるには、誤差が 50ms 未満である必要があります。それ以上の誤差があると、同期が正しく行われない場合があります。

ドラム

「DRUM」ボタンを押すとドラムが再生されます。長押しするとドラムメニューに入ります。



PARA ノブを回してジャンルを切り替え、PARA ノブを押して「ジャンル」と「スタイル」を切り替えます。GP-200 には 100 種類のドラムパターンが収録されています。詳細は「ドラムパターン一覧」をご確認ください。

- ・ クイックアクセスノブ 1 を回してドラムのテンポを変更します。(40 ~ 250 BPM の範囲)
- ・ クイックアクセスノブ 2 を回してドラムの音量を変更します。(0 ~ 100 の範囲)
- ・ クイックアクセスノブ 3 を回して、ドラムのテンポをパッチのテンポと同期させます。
- ・ 「Back」ボタンを押してドラムメニューを終了します。

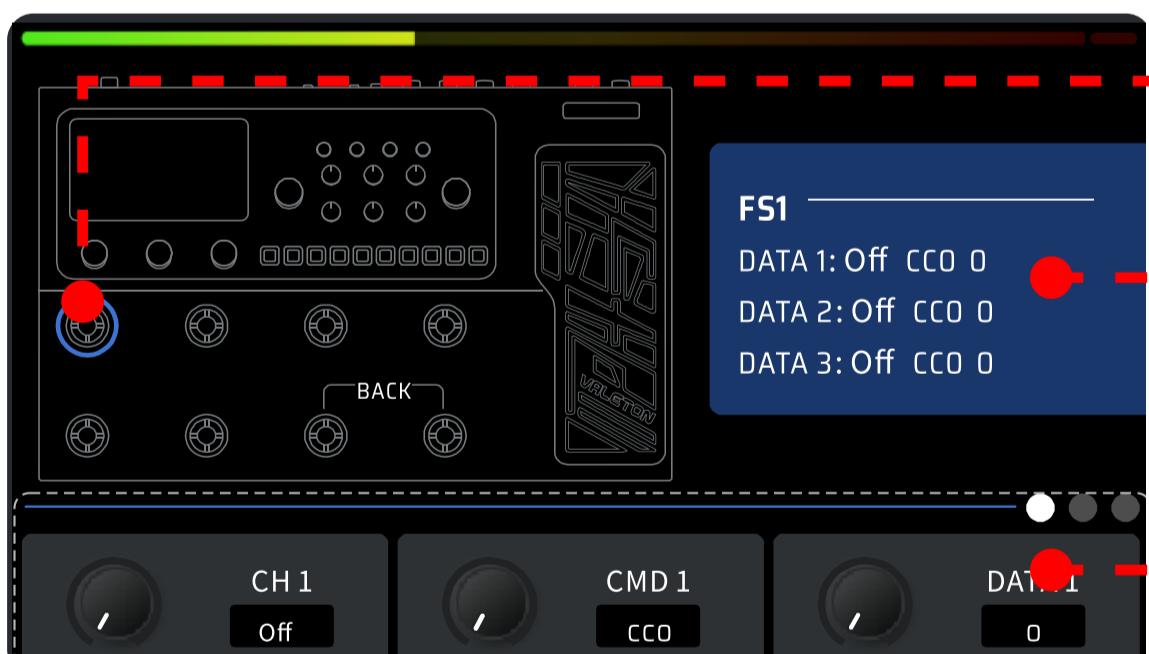


ドラムをオンにすると、メイン画面の右側にシンボルが表示され、ドラムマシンが作動中であることを示します。

MIDI デバイスコントロール機能 (MIDI)

デフォルトのフットスイッチ設定では、フットスイッチ 7 と 8 を同時に押すことで、MIDI コントロール画面に入ることができます。外部 MIDI 機器のコントロールや、DAW で「MIDI ラーニング」機能を使用する際のプラグイン設定の調整が可能です。

このインターフェースでは、8 つの MIDI スイッチと 1 つの MIDI ペダルがすぐに使用できる状態になっています。



- そのフットスイッチ/ペダルが押されると、アイコンが水色に点灯します。
- 現在のフットスイッチ/ペダルに対応する、3 つのすべての MIDI 情報グループが表示されます。
- 現在の MIDI 設定グループに対応するパラメーターです。

各フットスイッチには、3 つのグループの MIDI 情報を設定できます。

- ・ CH 1/2/3: 初期設定ではオフ。1 ~ 16 の範囲で設定可能です。
- ・ CMD 1/2/3: CC0 ~ CC127、または PC の範囲で設定できます。
- ・ DATA 1/2/3: CMD 1/2/3 で設定した CC または PC のパラメータ値を調整します。

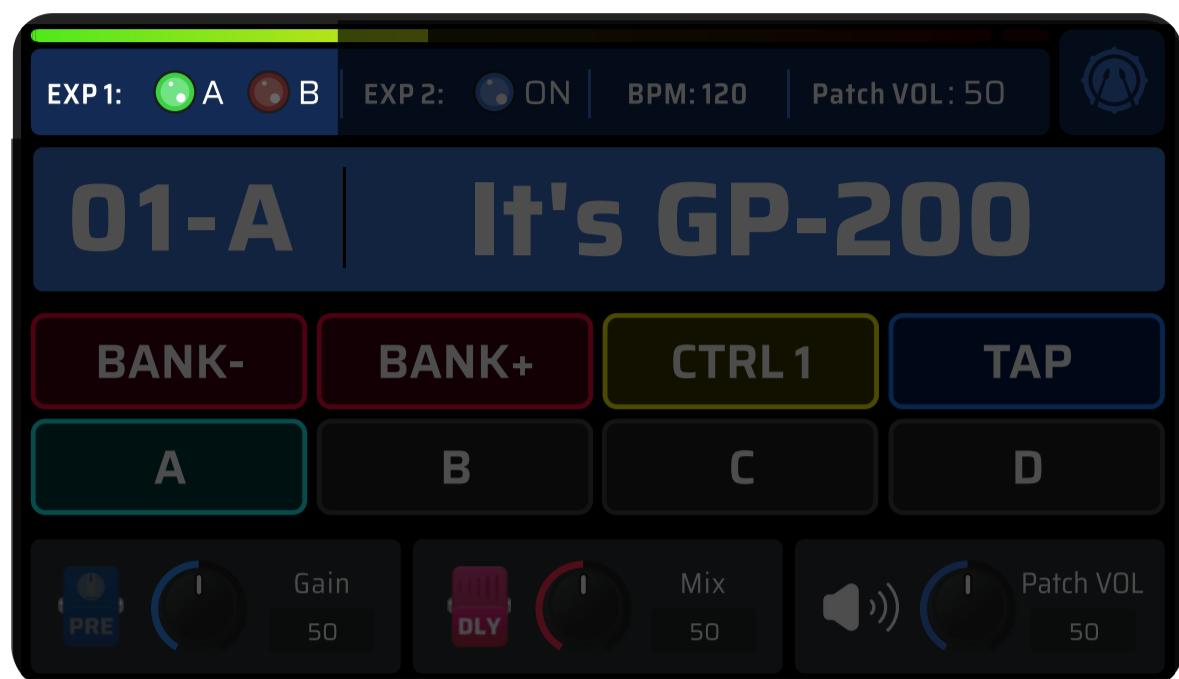
GP-200 は、CC (コントロールチェンジ) および PC (プログラムチェンジ) の 2 種類の MIDI メッセージに対応しています。DATA 1/2/3 のパラメータは、使用する MIDI 機能の種類に応じて変化します。

注意:

GP-200 を使用して外部 MIDI 機器をコントロールできるのは、このインターフェース内のみです。

EXP ペダル

内蔵エクスプレッションペダルがオンのときは、使用中のモードを示すアイコンがメインディスプレイ画面の左上に表示されます。



内蔵エクスプレッションペダルを使って、リアルタイムでさまざまなパラメーターを操作することができます。このペダルには 2 つのモードがあり、ペダルを一番前まで踏み込むことで A/B モードを切り替えることができます。

一部の GP-200 パッチでは、内蔵エクスプレッションペダルがあらかじめ設定されていますので、追加の設定なしでそのまま使用できます。

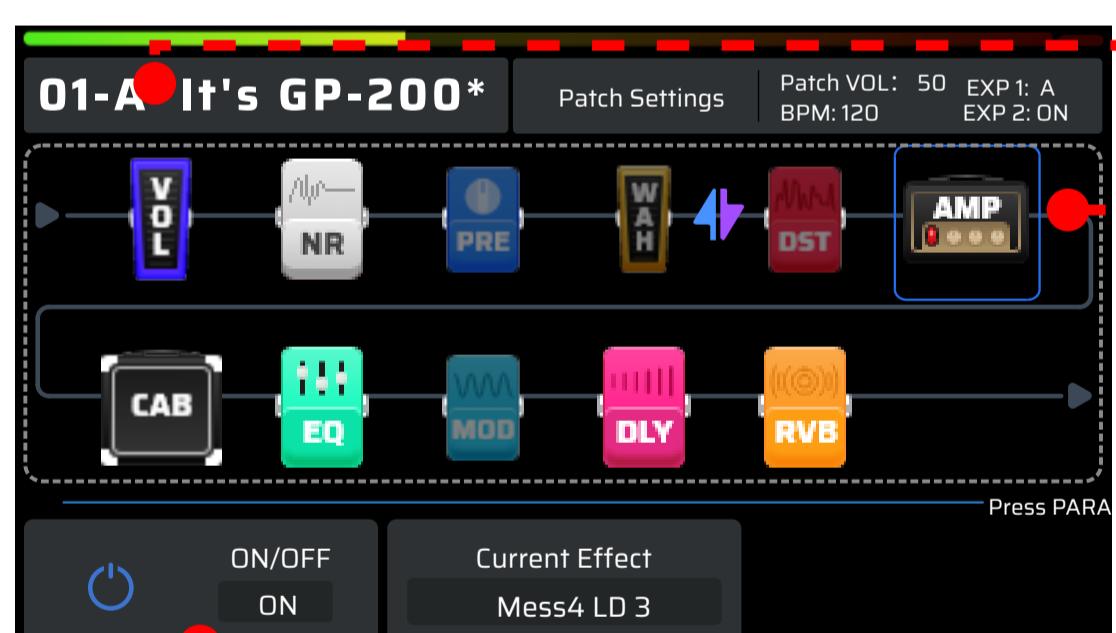
エクスプレッションペダルの設定をカスタマイズしたい

場合は、「エクスプレッションペダル設定」セクションを参照してください。

パッチ設定

Edit メニュー

「PARA」ボタンを押して、編集メニューに入ります。



- ▶ 現在のパッチ番号と名前を表示しています。
- ▶ GP-200 のシグナルチェーン全体のシミュレーションです。11 個のモジュールの順序とオン/オフ状態をアイコンの色で直接確認できます。暗く表示されているものはオフ、明るく表示されているものはオンを示します。
- ▶ シグナルチェーンのデフォルトの順序は、PRE (プリアンプ) → WAH(ワウ) → DST(ディストーション) → AMP(アンプ) → NR(ノイズリダクション) → CAB(キャビネット) → EQ(イコライザー) → MOD(モジュレーション) → DLY(ディレイ) → RVB(リバーブ) → VOL (ボリューム) です。
- ▶ エフェクトの順序は自由に入れ替え・調整できるので、自分の理想の音作りが可能です。
- ▶ クイックアクセス表示エリアでは、現在ロードされているエフェクトの状態を確認できます。

注意:

パラメーターを編集したら、必ず保存してください。

パッチ名の横に「*」マークが表示されている場合は、現在のパッチのパラメーターが変更されていることを示します。保存しないままパッチを切り替えると、変更内容は失われます。

モジュールの編集

編集メニューで PARA ノブを使ってモジュールを選択し、クリックすると、そのモジュール内のすべてのエフェクト一覧が表示されます。



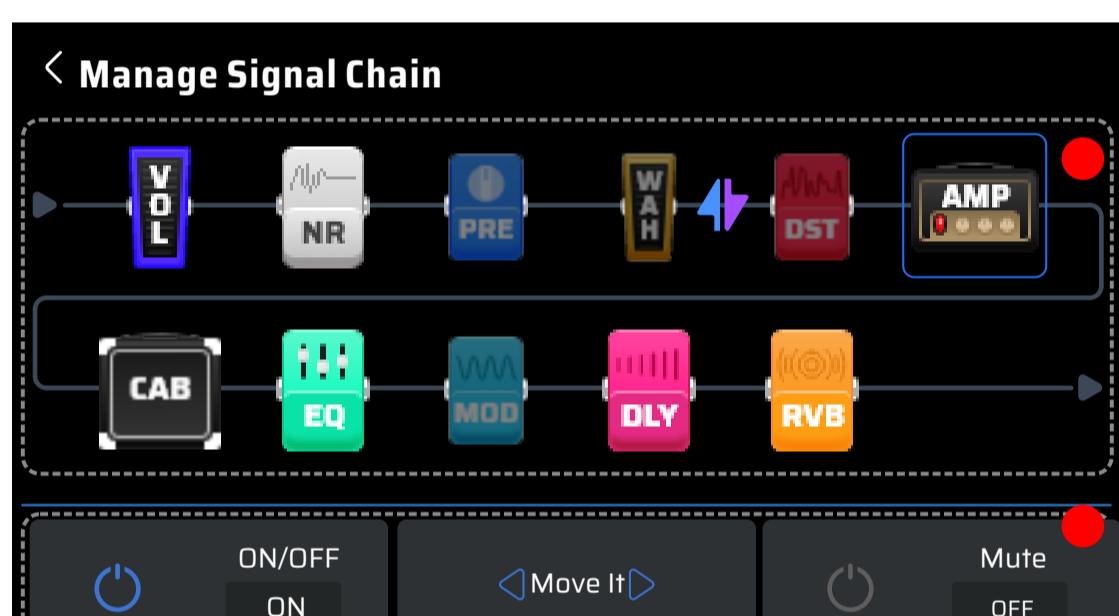
画面右側にモジュール内のすべてのエフェクトが一覧表示されます。PARA ノブを回して選択し、クリックでエフェクトを切り替えます。

PARA ノブをクリックして、さらに詳しいオプションにアクセスします。

特定のパラメーター設定については、20 ページの「エフェクトリスト」をご参照ください。

シグナルチェーンの管理

編集メニューでモジュールを選択した後、PARA ノブを長押しすると「シグナルチェーン管理」メニューに入ります。



このメニューでは、PARA ノブを回して移動させたいモジュールを選択します。

- クイックアクセスノブ 1 は選択中のモジュールのオン/オフを操作します。
- クイックアクセスノブ 2 は選択したモジュールの移動を作成します。
- クイックアクセスノブ 3 はミュートモードを提供し（このメニュー内でのみ有効）、エフェクトモジュールを移動する際のノイズを防ぎます。

PARA ノブを長押しするか、BACK ボタンをクリックして編集メニューに戻ります。

注意:

極端な場合、信号処理がオーバーロードして「System Overload (システムオーバーロード)」のメッセージが表示されることがあります。その場合は、他のエフェクトの組み合わせをお試しください。

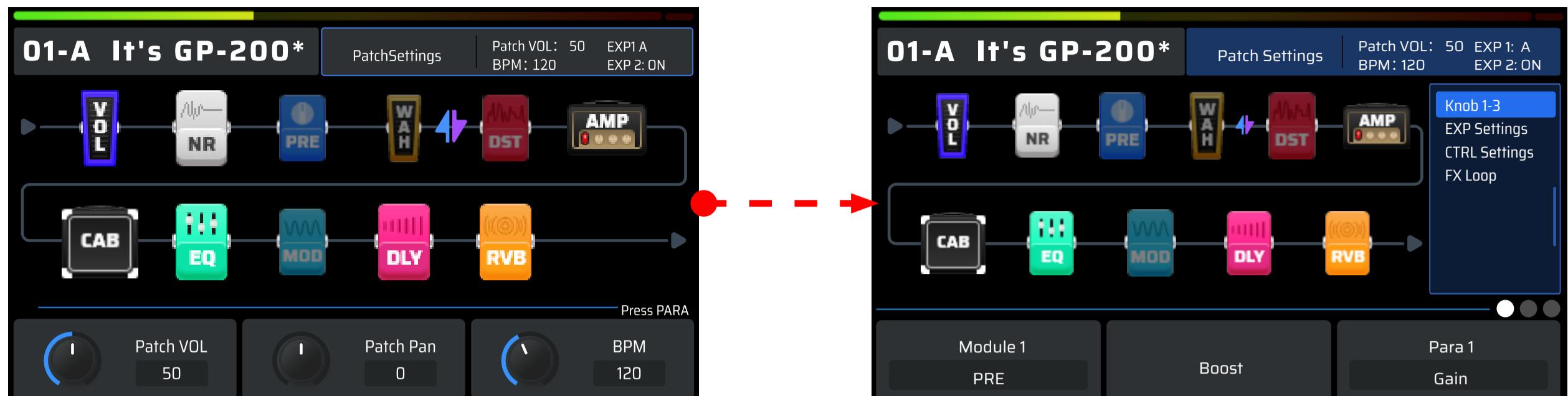
モジュールのオン/オフやパラメーターの調整は現在のパッチに変更を加えます。パッチを切り替えたり、GP-200 の電源を切る前に変更を保存しないと、変更内容は失われます。必ず SAVE ボタンを押して設定を保存してください。

EDIT メニュー内のフットスイッチの動作は、メインディスプレイ画面と同じです。

パッチ設定

パッチ設定とは、異なるパッチごとに独立して保存できる機能設定のことです。

パッチ設定では、CTRL (コントロール)、フットスイッチ、クイックアクセスノブ、パッチの音量 (ボリューム)、パン、テンポ (BPM) などの設定が可能です。パッチ設定のアイコンが選択されている状態で、クイックアクセスノブを使ってパッチの音量、パン、テンポ (BPM) を調整できます。ノブを使ってパッチの音量、パン、テンポ (BPM) を調整できます。



- ノブ1～3:選択したパッチのエフェクトパラメーターを調整するためにクイックアクセスノブを使用します。
- EXP 設定:選択したパッチのエクスプレッションペダル設定で、EXP 1A、EXP 1B、EXP 2 が含まれます。各ペダルモードは最大 3 つのエフェクトパラメーターを同時にコントロールでき、それぞれのパラメーターに最大値・最小値の設定が可能です。EXP 2 は外部ペダルを指し、グローバル設定を通じて使用できます。

注意:

EXP ペダルに関連するパラメーターはモジュールパラメーターとして扱われるため、保存のリマインダーは表示されません。

- CTRL 設定:1 つまたは複数のモジュールのオン/オフを割り当てることができ、合計で 8 つの CTRL が利用可能です。「グローバル設定」と組み合わせて使用することで、1 つのパッチ内で複数のモジュールのオン/オフをコントロールでき、まるでストンプボックスマトリックスを操作しているかのような感覚を味えます。



- FX ループ:現在のパッチにおける FX ループの設定です。青い矢印は \uparrow 信号が送られる箇所を示し、紫の矢印は \downarrow 信号が戻ってくる箇所を示します。
Send (送信) / Return (戻り) ノードはエフェクトチェーン内で自由に移動させることができます。

注意:

リターンノードは、ハウリング音を防ぐために、送信ノードの前に配置することはできません。

Parallel (パラレル) / Series (シリーズ) は、エフェクトループがシグナルチェーンにどのように接続されているかを示しています。

- Parallel (パラレル) に設定すると、外部エフェクトチェーンから戻ってきた信号が AMP モジュールとミックスされ、その後のシグナルチェーンへ送られます。
- Series (シリーズ) に設定すると、内部エフェクトチェーンは一時的に停止し、外部エフェクトチェーンからの信号のみがシグナルチェーンの後段に送られます。この状態でエフェクトループのインターフェースが他のエフェクトユニットに接続されていない場合、GP-200 の出力は無音になります。

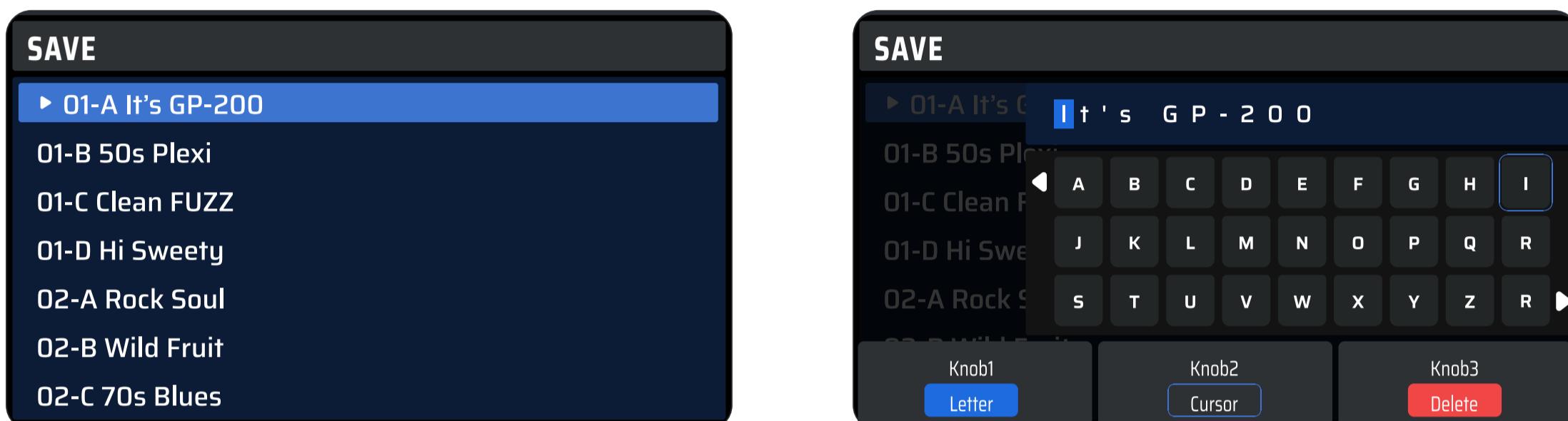
グローバル設定



保存メニュー

保存メニューでは、エフェクトパラメーターやコントロール情報などの編集内容を保存できます。SAVEボタンを押すと保存メニューに入り、PARAノブを回して保存スロットを選択し、押すとリネームメニューに入れます。

SAVEボタンを長押しすると、リネームや位置変更をスキップして直接保存が可能です。



リネームメニューでは、PARAノブや3つのクイックアクセスノブで編集を操作できます。

クイックアクセスノブ1: 大文字、小文字、数字、記号（スペース含む）の4種類から選択できます。

クイックアクセスノブ2: カーソルの位置を移動します。

クイックアクセスノブ3: カーソル位置の文字を削除します。

編集が完了したら、SAVEボタンを押して必ず保存してください。

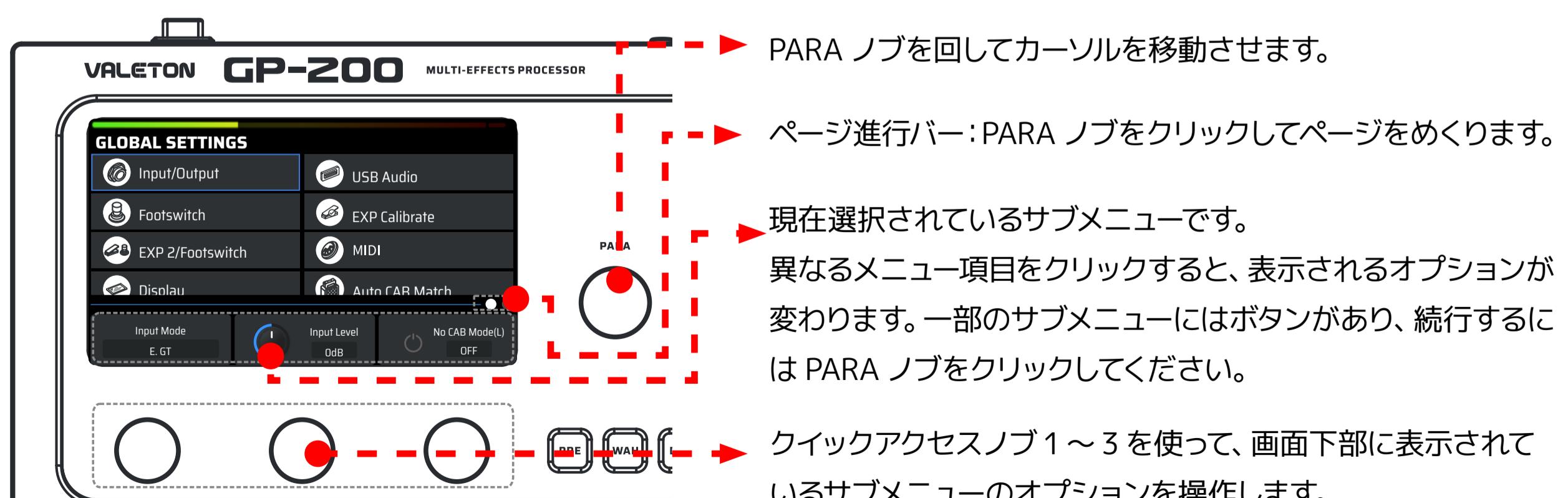
編集を終了して前のメニューに戻るには、BACKボタンをクリックします。

編集後は必ず保存することを忘れないでください。

グローバル設定

グローバル設定は、これまでの設定とは異なり、GP-200 全体の状態に影響し、パッチを変更しても設定は変わりません。編集が完了すると、すべての設定が即時に反映されます。

このメニューには、入力／出力設定、USB オーディオ、フットスイッチ／エクスプレッションペダル、言語設定などが含まれており、工場出荷時リセットもここで行えます。



入力／出力

このオプションでは、入力および出力に関する各種パラメーターを調整できます。

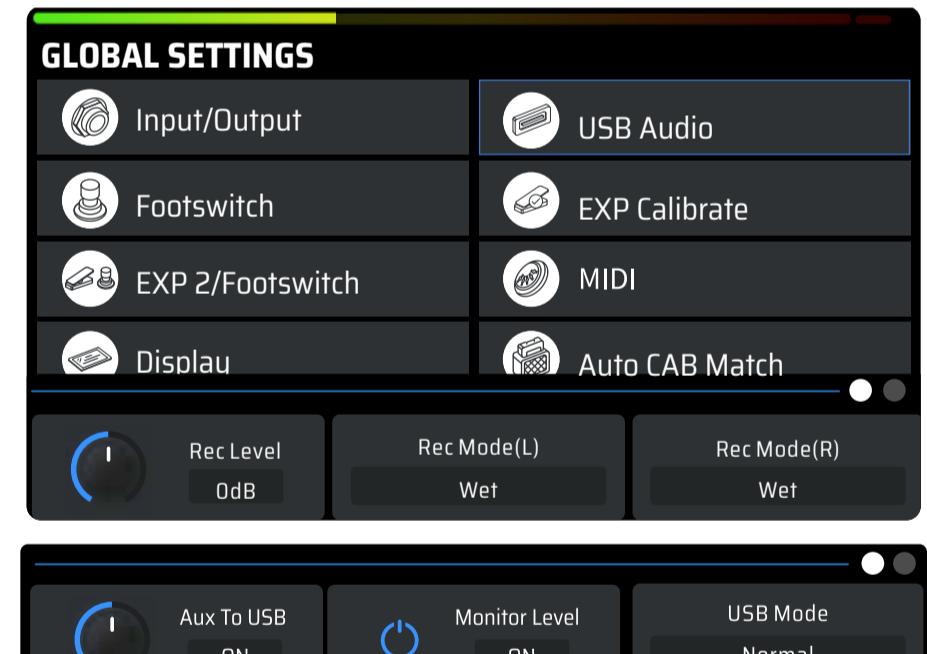
- ・ 入力モード:インピーダンスを調整します。アコースティックギター、エレキギター、ライン入力などに対応しています。
 - アコースティックギター:インピーダンスは $4.7M\ \Omega$ に設定されており、アコースティックギターやピエゾピックアップの接続に適しています。
 - エレキギター:インピーダンスは $1M\ \Omega$ に設定されており、ピックアップ付きのエレキギターやベースギターに適しています。
 - ライン入力:インピーダンスは $10k\ \Omega$ に設定されており、シンセサイザーやその他のアナログオーディオ機器の接続に適しています。
 - デフォルトはエレキギターに設定されています。
- ・ 入力レベル:-20dB から +20dB の範囲で調整可能で、デフォルトは 0dB です。使用する楽器に合わせて最適なレベルに調整してください。
- ・ No CAB モード (L/R) :モノラルの左または右チャンネルで No CAB モードを有効にすると、アナログ出力において CAB モジュールのシミュレーションが無効になった状態で音声が出力されます。デフォルトはオフです。



USB オーディオ

GP-200 を USB オーディオインターフェースとして使用する際の関連設定を調整します。

- ・ Rec Level (録音レベル) :録音時の出力マスター・ボリュームを調整します。範囲は -20dB から +20dB で、デフォルトは 0dB です。
- ・ 録音モード(左／右):GP-200 は USB ステレオのアナログ出力チャンネルを搭載しています。「Dry」を選択すると、該当する出力チャンネルからはエフェクトなしのダイレクト信号が出力され、「Wet」を選択すると、エフェクトがかかった信号が出力されます。この機能により、「モニターはエフェクトあり、録音はエフェクトなし」という設定が簡単に行えます。デフォルトは「Wet (エフェクトあり)」です。
- ・ AUX To USB:この機能を有効にすると、AUX IN からの音声を USB 機器に録音できます。つまり、GP-200 をライブ配信で使用する際に、AUX IN からの音声と GP-200 のエフェクト音をミックスして、USB 出力を通じて配信機器に送ることが可能になります。
- ・ モニターレベル:USB 経由での再生音量を調整します。範囲は -20dB から +20dB でデフォルトは 0dB です。
- ・ USB モード:マルチチャンネル出力に切り替えます。
- ・ Legacy mode (レガシーモード) :MIDI 機能なしの 2×2 USB オーディオモードです。多くのスマートフォンの OTG 機能と互換性がありますが、このモードでは GP-200 専用ソフトウェアとの接続ができなくなります。
- ・ Normal mode (ノーマルモード) :MIDI 機能付きの 6×4 USB オーディオモードです。デバイスをサウンドカードとして使用する際に適しています。



GP-200 をオーディオインターフェースとして使う方法

GP-200をUSBオーディオインターフェースとして使用すると、システム上で「6入力/4出力」のUSBデバイスとして認識されます。ここでは2つのシーンに分けて使い方を説明します。

【シーン1: DAW内のビルトインアンプ機能を使って録音や音作りを行う場合】

1. グローバル設定 → USBオーディオで、Mono LおよびMono Rの出力を「Dry」に設定する
2. DAWで新規トラックA、トラックBを作成し、トラックAにドライのギター録音（またはインポート）を行う
3. トラックAの出力をOutput 3-4に設定し、トラックBの入力をInput 3-4に設定、トラックBのモニタリングはオフにする
4. DAWでトラックAのドライ音を再生すると、GP-200でエフェクト処理された音が聞こえる
5. 録音ソフトのトラックBで「録音」をオンにすると、リンプ処理されたエフェクト音付きの録音ができる

【シーン2: LOOPBACK機能を使って複数の音源をPC上でミックスし録音する場合】

1. DAWで新しいステレオオーディオトラックを作成
2. 入力をInput 5-6に設定
3. DAWで録音を開始
4. PC上の他の音源を再生すると、その音もトラックに録音される

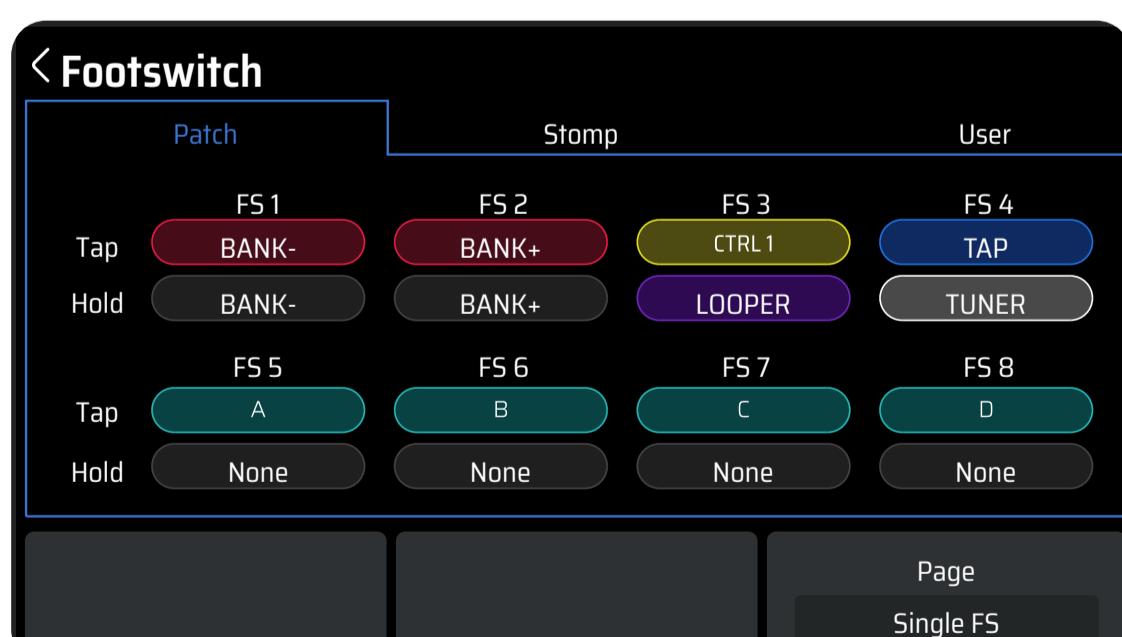
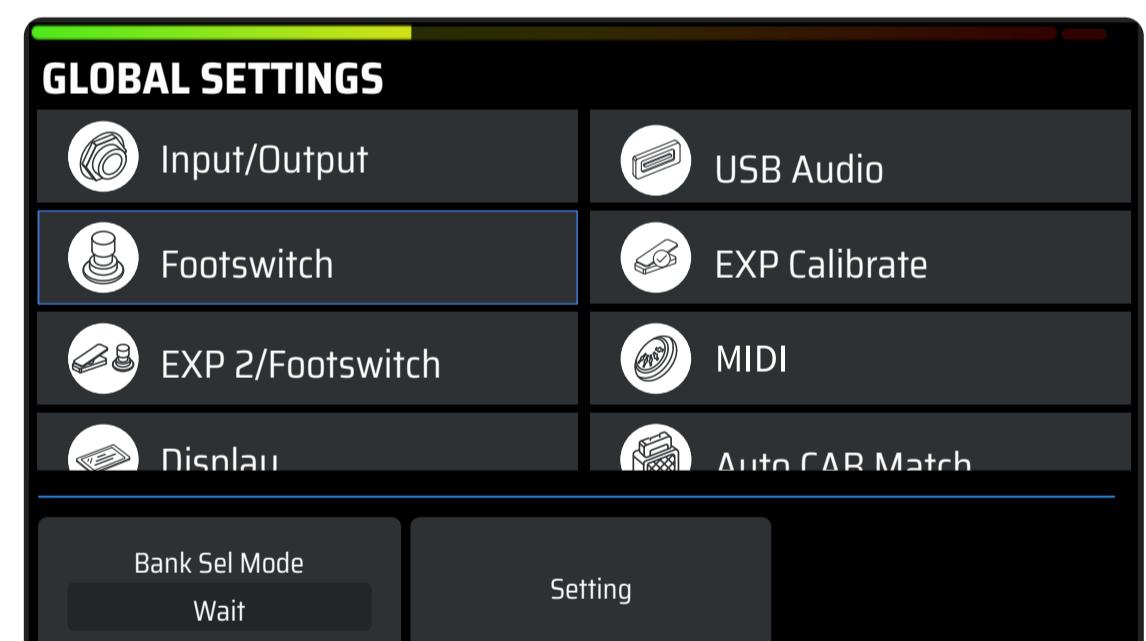
フットスイッチ

フットスイッチのモード選択およびそれに対応する機能設定を行うための項目です。

クイックアクセスノブ1はバンクセレクトモードの選択用です。この設定は内蔵および外部のフットスイッチに同時に影響し、2つのモードを提供します。

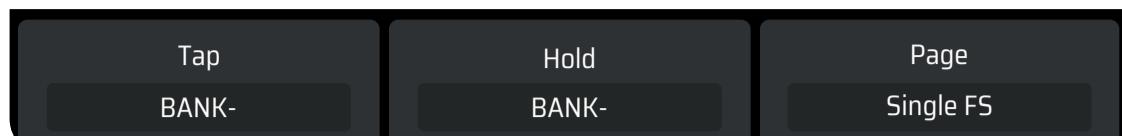
Initial / バンク切り替え時にパッチが即座に切り替わります。
Wait (デフォルト) : バンク切り替え時にパッチはすぐには切り替わらず、フットスイッチ機能を有効にして確定したパッチ番号を選択する必要があります。その後でパッチが切り替わります。

クイックアクセスノブ2はフットスイッチ設定メニューに入るためのものです（下図参照）。

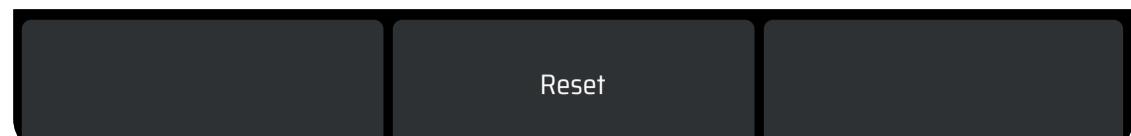


フットスイッチモードは3種類あり、それぞれパッチモード、ストンプモード、ユーザー モードです。各モードで選択肢は同じですが、デフォルト設定が異なります。選択するとすぐに機能が有効になり、変更は自動で保存されます。また、PARAノブをクリックしてフットスイッチ設定に入り、各フットスイッチに対してタップ（軽く押す）とホールド（長押し）の機能を割り当てられます。どのフットスイッチに機能を割り当てるか素早く選択するには、該当のフットスイッ

チを実際にタップしてください。



- クイックアクセスノブ1を回して「タップ」機能を選択します。
- クイックアクセスノブ2を回して「ホールド」機能を選択します。
- クイックアクセスノブ3を回して、シングルフットスイッチ設定とデュアルフットスイッチ設定のページを切り替えます。



すべてのモードには、すべてのフットスイッチを工場出荷時の設定にリセットする「リセットオプション」が用意されています。

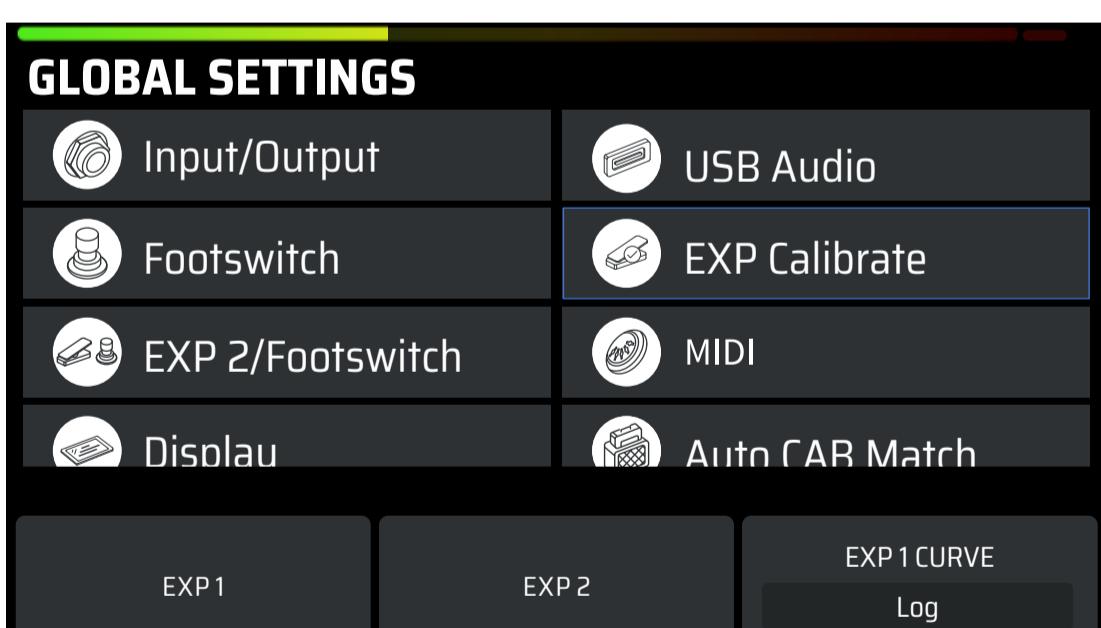
フットスイッチの機能には以下が含まれます：

機能	概要
Bank	バンク選択メニューに入ります。
Bank+	次の隣接するバンクをロードします。
Bank-	前の隣接するバンクをロードします。
Patch+	次の隣接するパッチをロードします。
Patch-	前の隣接するパッチをロードします。
A	A パッチをロードします。
B	B パッチをロードします。
C	C パッチをロードします。
D	D パッチをロードします。
LOOPER	ルーパー機能を起動します。

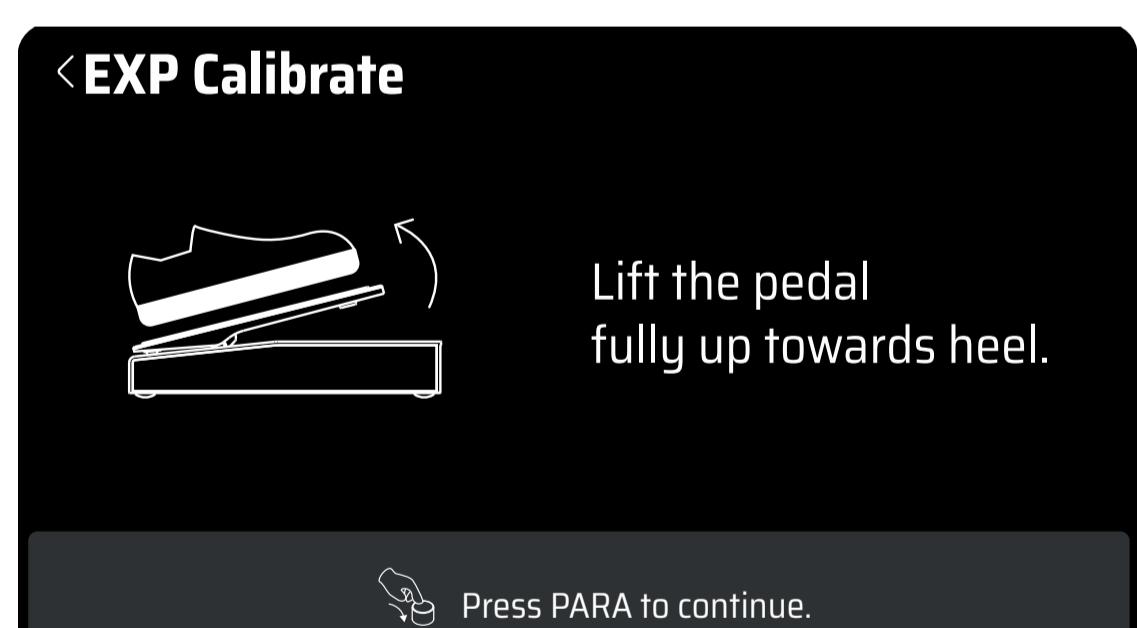
機能	概要
DRUM	ドラムを再生／停止します。
Drum Patch+	次の隣接するドラム・パッチをロードします。
Drum Patch-	前の隣接するドラム・パッチをロードします。
EXP 1 A/B	エクスプレッションペダル1のA/B をスイッチします。
MIDI	MIDI 機能画面(または設定)を開きます。
TUNER	チューナー画面を開きます。
CTRL 1 ~ 8	CTRL 1 から 8 の機能を実行します。
Tap Tempo	タップテンポ機能を使用します。

EXP キャリブレーション

EXP キャリブレーションは、エクスプレッションペダルの動作範囲を正しく調整するための機能です。設定したエフェクトに対する変化が少なすぎる、または大きすぎると感じる場合は、このキャリブレーションを行うことが重要です。

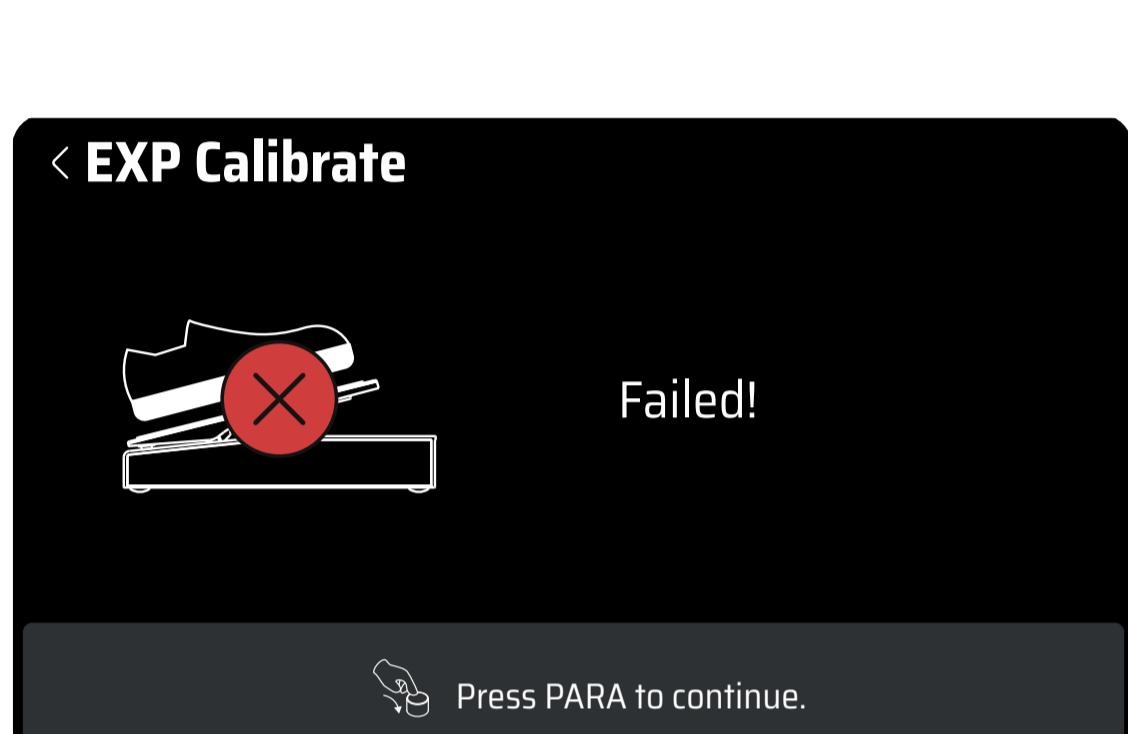
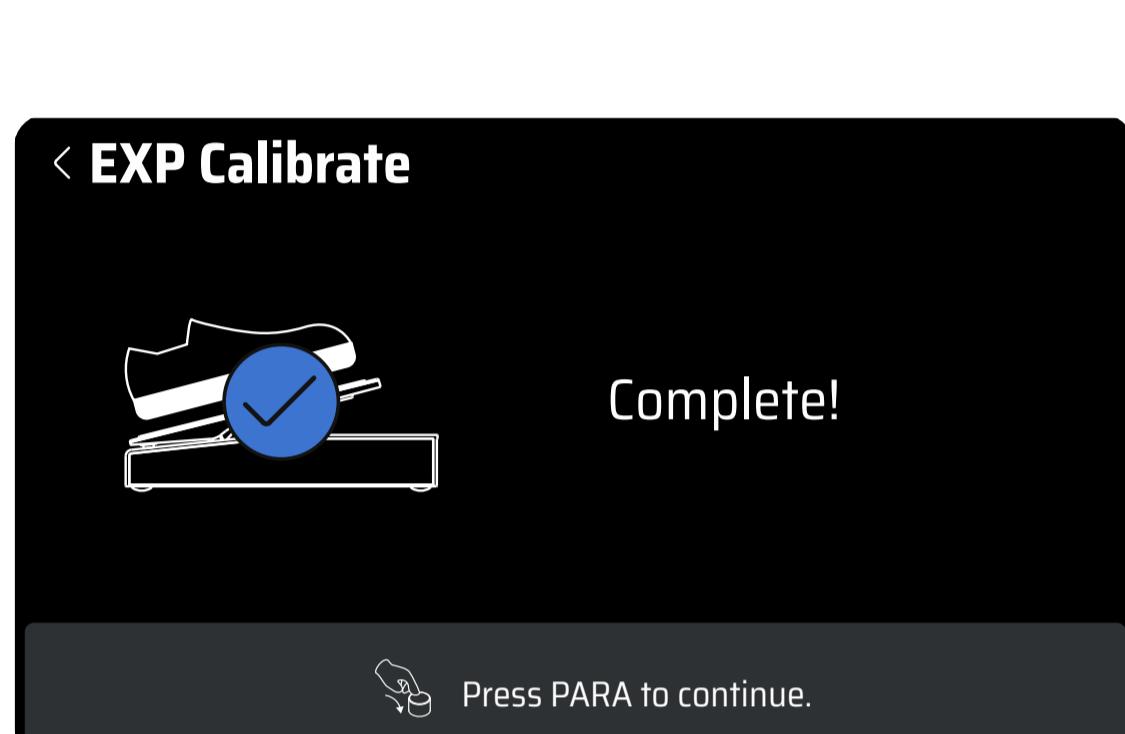
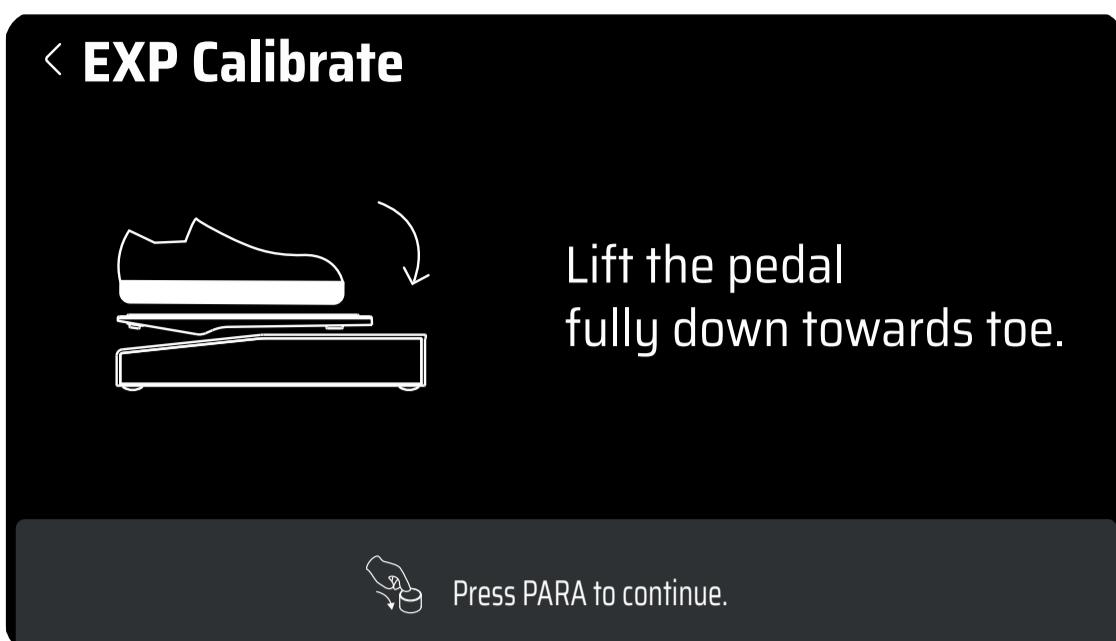


クイックアクセスノブ1または2を回すことで、EXP ペダル1または2のキャリブレーションを行えます。ノブ3では、EXP1のカーブ(リニア、エクスポ、ログ)を選択できます。

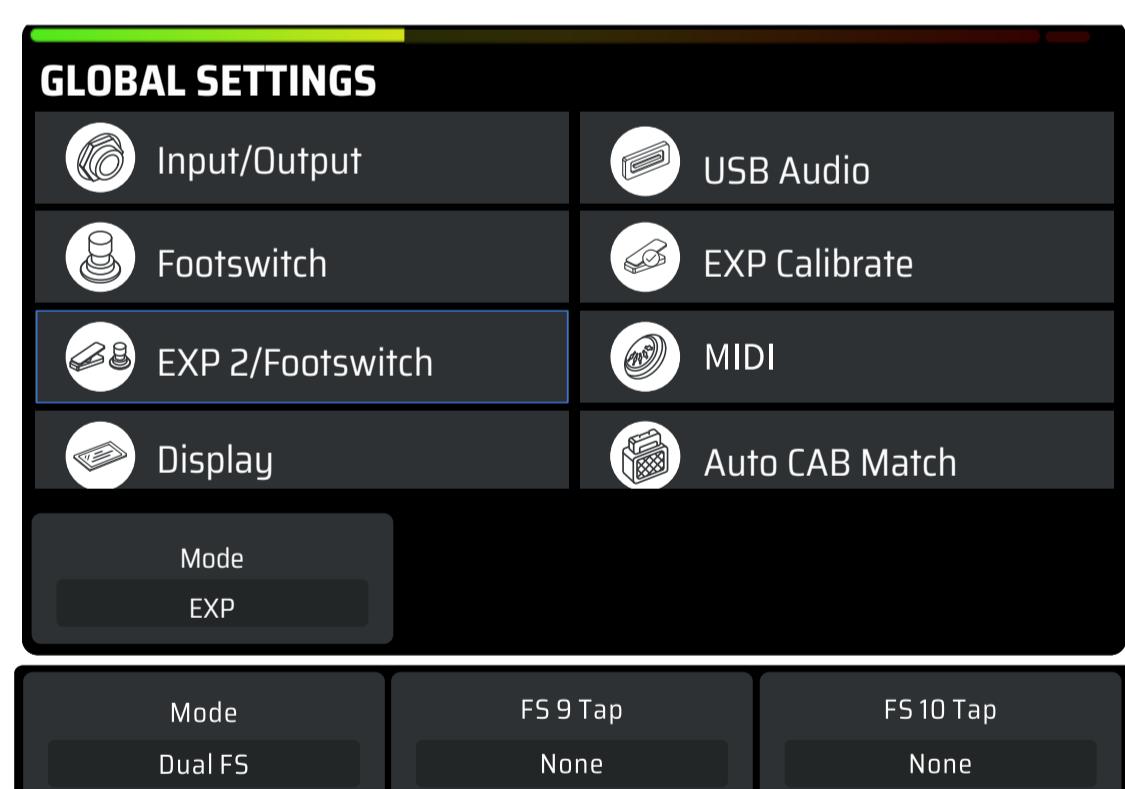


ペダルを一番上まで持ち上げ、「PARA」ボタンを押して続行してください。

グローバル設定



EXP 2 / フットスイッチ



MIDI



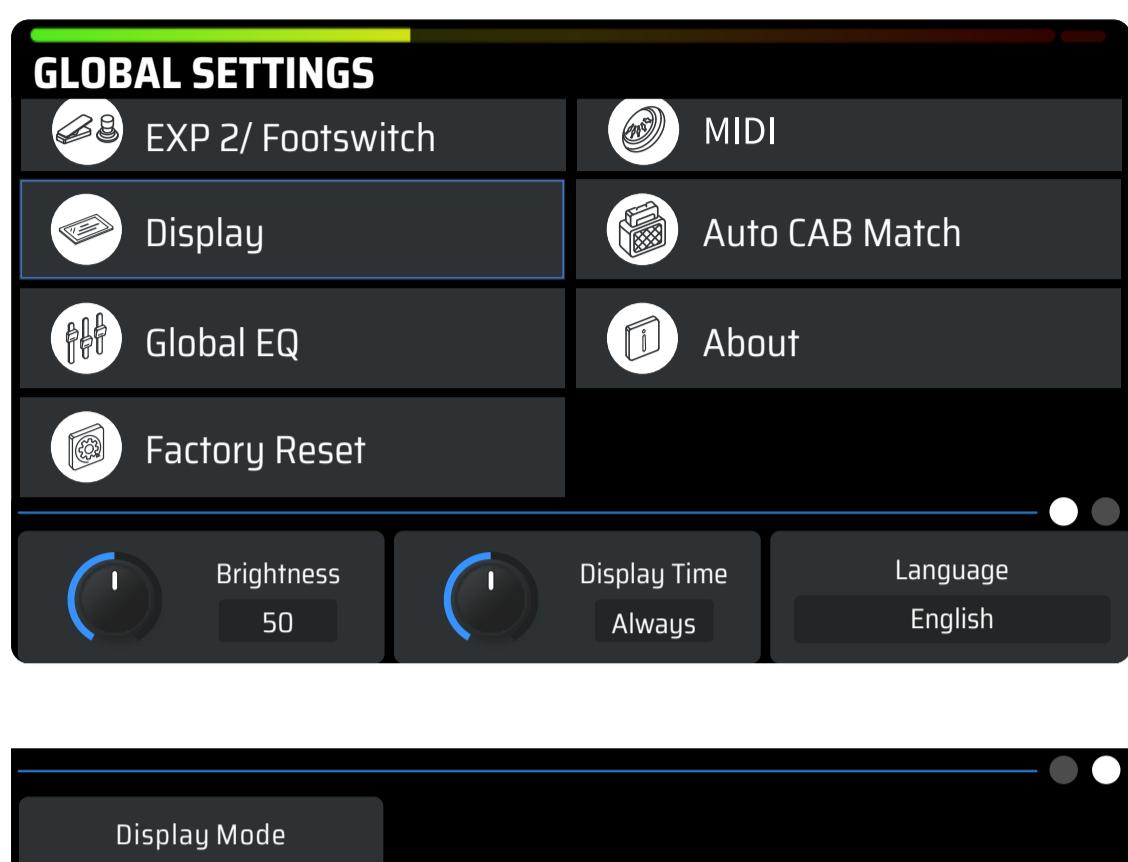
このメニューは、MIDI メッセージの設定を行うためのものです。

設定項目には、MIDI 入力ソース、入力チャンネル (DIN)、入力チャンネル (USB)、出力チャンネル (DIN)、出力チャンネル (USB)、クロックソース、クロック出力 (DIN)、クロック出力 (USB) が含まれます。

- MIDI 入力ソース：MIDI メッセージの送信元を指定します。
- 入力チャンネル (DIN) (USB)、出力チャンネル (DIN) (USB)：USB 入力および MIDI メッセージの入出力チャンネルを設定します。
- クロックソース：MIDI クロックの送信元を選択します。
- クロック出力 (DIN) (USB)：MIDI OUT および USB から MIDI クロックメッセージを送信するかどうかを設定します。これを使って、GP-200 をすべての MIDI 機器のメインクロックとして設定できます。

設定項目	範囲	概要		
MIDI In Source	DIN Only	MIDI IN ポートからの MIDI メッセージのみを受信します。		
	USB Only	USB からの MIDI メッセージのみを受信します。		
	Mixed	MIDI IN および USB の両方から (MIDI メッセージを) 受信します。		
Input Channel (DIN)	Omni ~ 1 ~ 16 (初期設定: Omni)	USB 入力のチャンネル、および MIDI メッセージの入出力の設定について。		
Input Channel (USB)				
Output Channel (DIN)				
Output Channel (USB)				
Clock Source	Internal	内蔵クロックからのみ同期信号を受信します。	「Din Only」「USB Only」または「External」が選択されている場合、内部クロックは動作せず、タップテンポ機能も使用できません。	
	DIN Only	MIDI IN ポートからのクロックメッセージのみを受信します。		
	USB Only	USB からのクロックメッセージのみを受信します。		
	External	外部クロックからのみ受信しています。		
	Mixed (初期設定)	内部クロック、MIDI IN、USB のすべてから同期信号を受け付けます。複数のクロック源を同時に使用すると、GP-200 が最後に受け取ったクロック信号が、その前の信号を優先して上書きします。		
Clock Out (DIN)	ON/OFF (初期設定: OFF)	オンにすると、本機はすべての入力信号を無効にします。		
Clock Out (USB)		さらに、クロック・ソース「DIN Only」または「USB Only」に設定されている場合、本機は MIDI クロックメッセージを送信しません。		

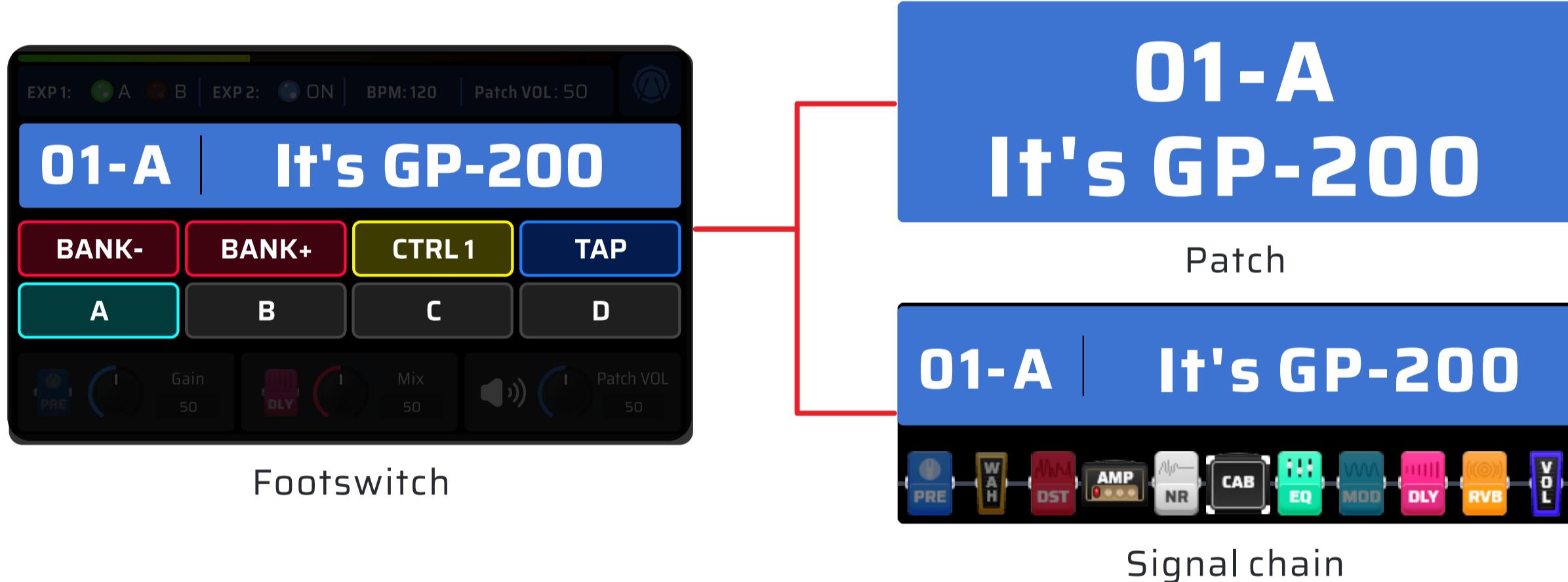
画面



このメニューは、表示されている項目のパラメーターや設定を調整するためのものです。

- rightness (明るさ) : 画面の明るさを調整します。
- Display Time (表示時間) : GP-200 がスリープモードに入るまでの時間を設定します。
- Language(言語) : システムの表示言語を選択します。
- Display Mode (表示モード) : メイン画面に表示される重要な情報をカスタマイズします。お好みに合わせてモードを切り替えてください。

- フットスイッチ: フットスイッチの現在の設定を表示します。
- パッチ: パッチ名と番号を拡大表示します。
- シグナルチェーン: 現在のシグナルチェーンと各モジュールの状態を表示します。



自動キャビネットマッチング

これは、AMP モジュールと CAB モジュールの連動状態をオン/オフするための設定です。

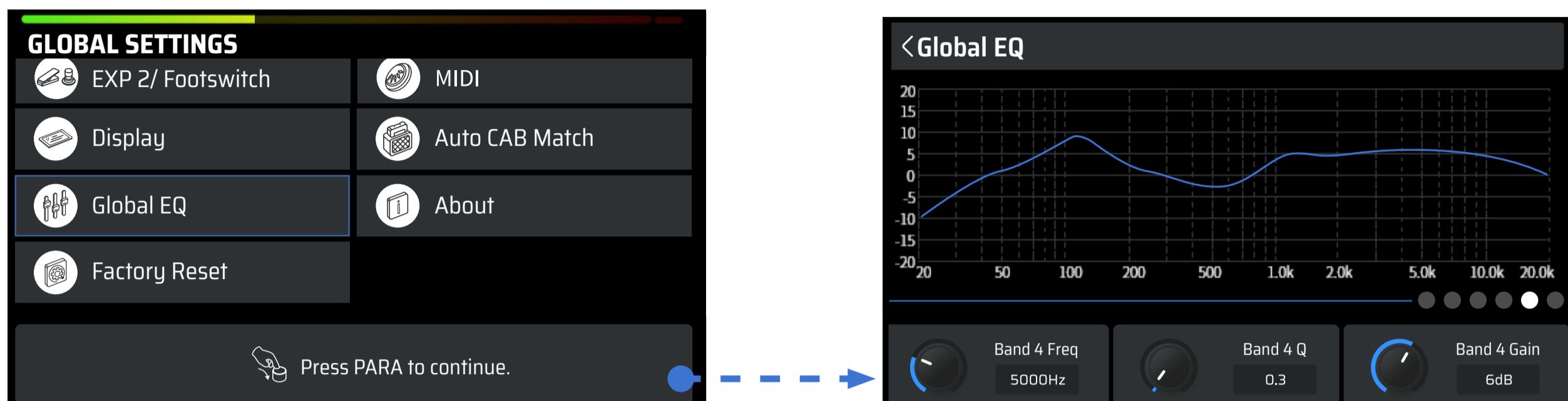


オンにすると、CAB モジュールのエフェクトは AMP モジュールのエフェクトに対応して変化します。

グローバル EQ

このメニューは、GP-200 のグローバルエフェクターを操作して、全体的な音の質感を調整するためのものです。

表示されるメニューは以下のとおりです：



グローバル EQ には、ローカット/ハイカットに加えて、4 バンドのパラメトリック EQ が含まれています。各周波数帯は、必要に応じて自由にオン/オフの切り替えが可能です。

合計で 6 つのバンドが用意されています。

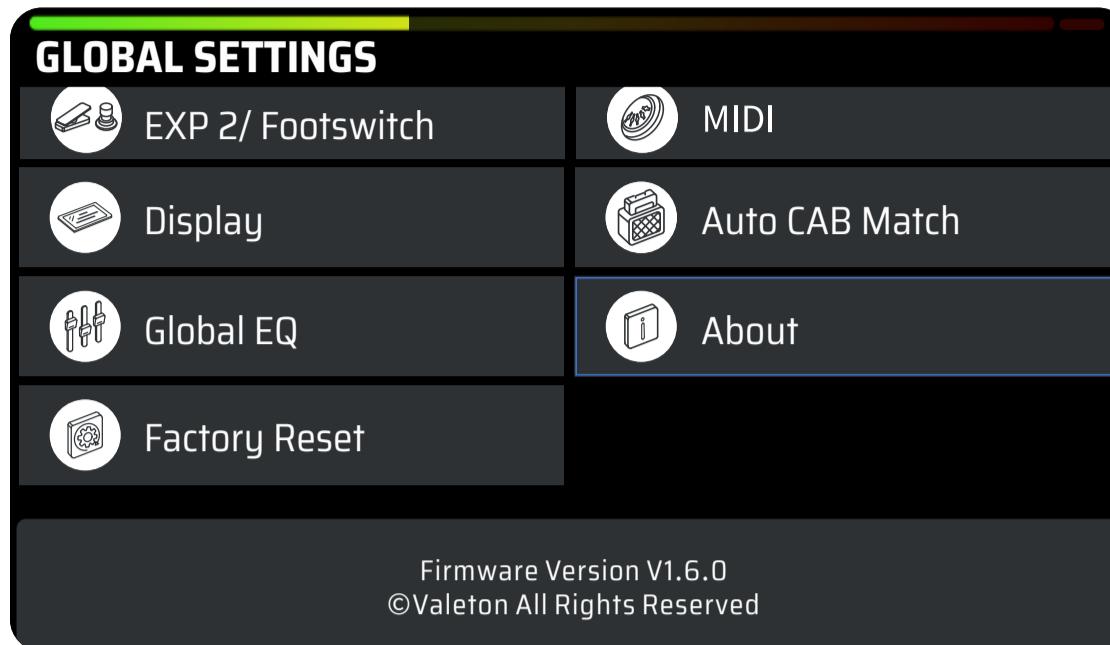
設定項目	範囲	概要
ON/OFF	ON/OFF	ON/OFF グローバル EQ
Level	0~100 (初期設定: 50)	グローバル EQ のマスターボリュームを調整します。
Low Cut	OFF~20Hz~20000Hz (初期設定: OFF)	低周波信号をカットするためのハイパスフィルターです。
High Cut	20Hz~20000Hz~OFF (初期設定: 20000Hz)	高周波信号をカットするためのローパスフィルターです。
Band 1-4 全体的な、または 特定の帯域における 詳細な周波数調整 に使用される 4 つの選択可能なピ ークフィルター、 ・Frequency ・Q ・Gain の 3 つのパラメ ターが利用可能で す。	Band 1-4 周波数 Band 1-4 Q 値 Band 1-4 ゲイン	該当するフィルターの周波数を調整 します。 フォルマントの幅を調整します。数 値が大きいほど、傾斜が急になります。 フィルターのゲインを調整します。

注意：

- グローバル EQ を調整する際は、聴力および機器を保護するために十分ご注意ください。
- グローバル EQ は、GP-200 の USB オーディオ出力には影響しません。
- パッチで多数のモジュールを使用している場合や、リバーブなどシステムリソースを多く消費するモジ
ュールを使用している場合、グローバル EQ を適用するとシステムがオーバーロードする可能性があります。

概要

このメニューでは、ファームウェアおよびハードウェアのバージョンを確認できます。

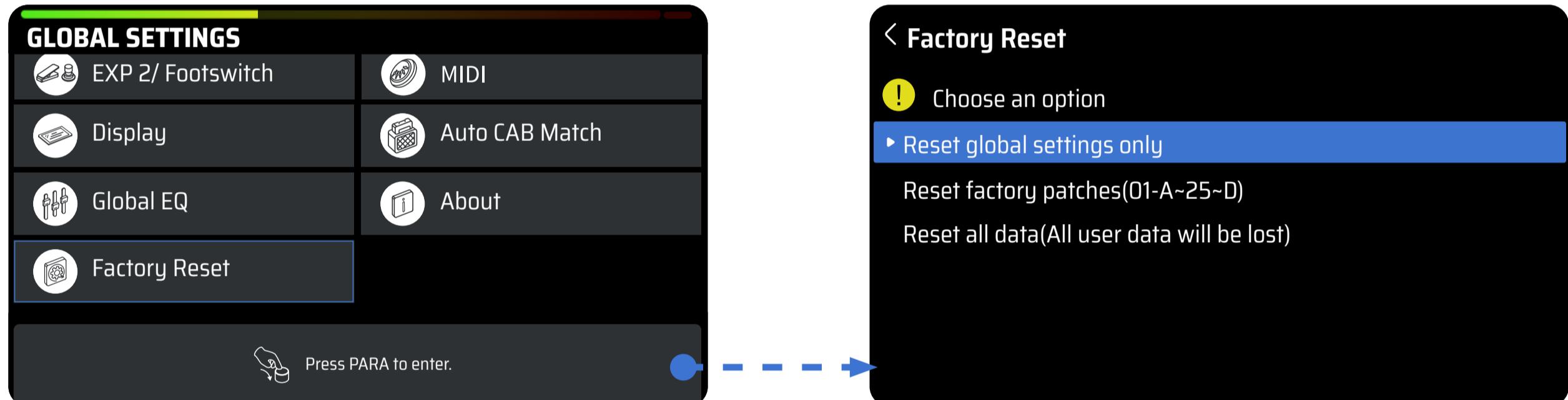


初期化

このメニューは工場出荷時のリセットを実行するためのものです。

GP-200 をリセットすると、保存されているすべての変更内容や個人設定が削除されます。

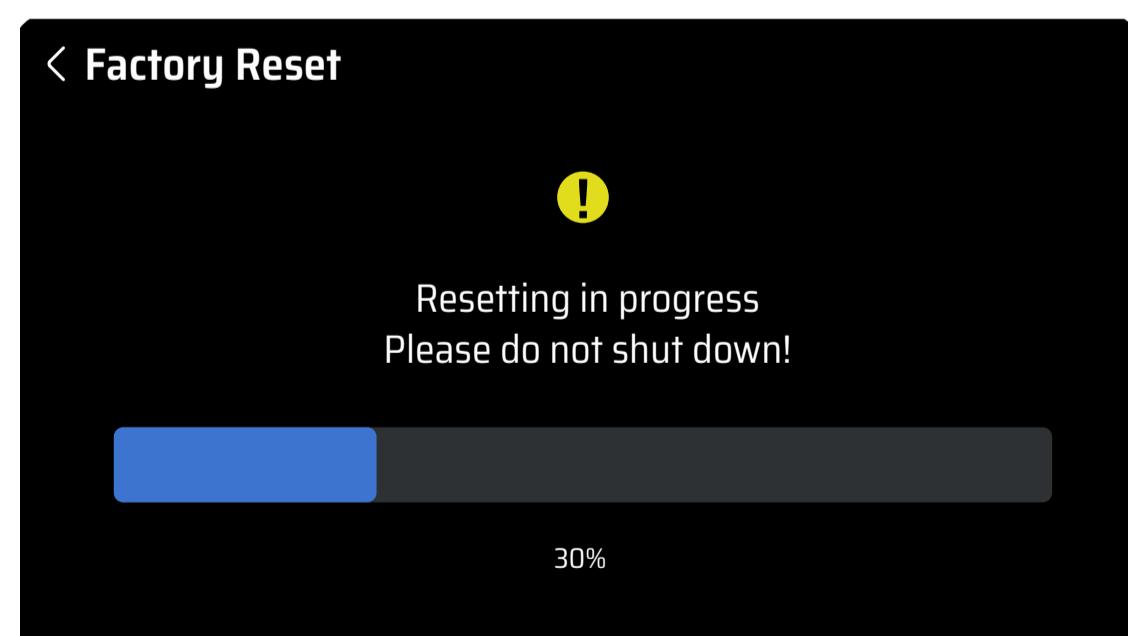
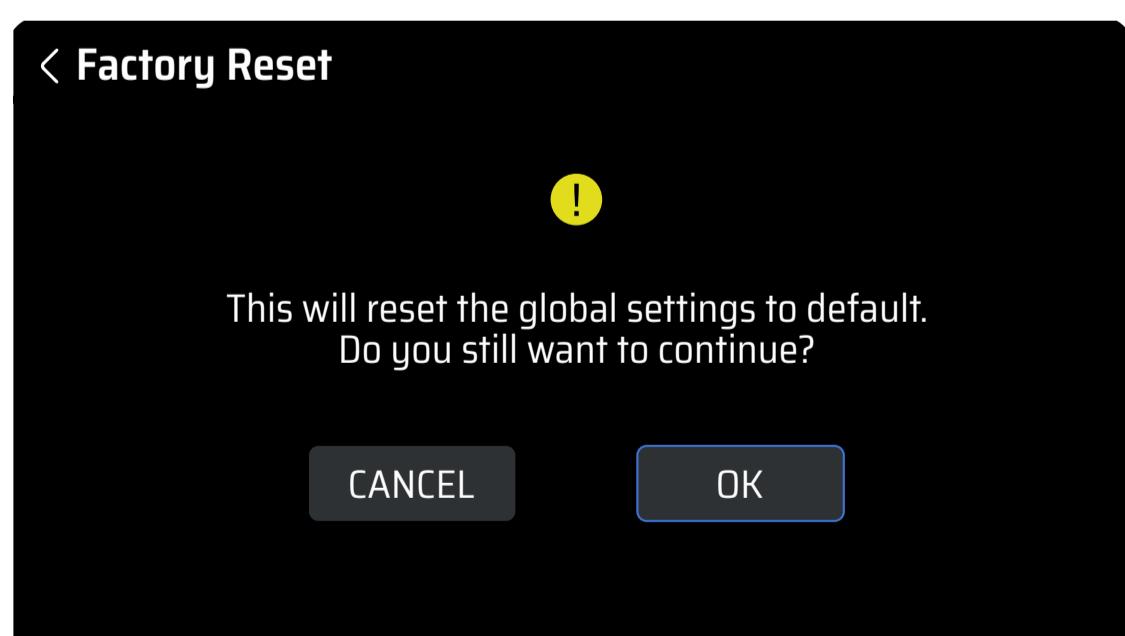
一度実行すると元に戻せませんので、リセットを行う前に必ず設定のバックアップを取ってください。



GP-200 では、工場出荷時リセットの精度向上のため、3 種類のリセット方式を用意しています。PARA ボタンを押してメニューに入ると、以下の 3 つのオプションが表示されます：

- グローバル設定のみリセット
- 工場出荷時パッチ (01-A ~ 25-D) のみリセット
- すべてのデータをリセット (ユーザーデータも含めすべて消去)

いずれかのリセット方式を選択すると確認用のウィンドウが表示され、OK を押すと選択した内容で工場リセットが実行され、キャンセルを押すとグローバル設定メニューに戻ります。



工場出荷時リセットを実行すると、画面にリセット中であることを示すウィンドウが表示されます。

リセット中は絶対に電源を切らないでください。電源を切ると GP-200 が正常に動作しなくなる恐れがあります。

ます。リセットが完了すると、画面に完了を知らせるメッセージが表示されますので、「OK」を押してメインディスプレイメニューに戻ってください。

注意:

工場出荷時リセットを行っても、選択している言語設定は保持されます。
操作性を維持するための仕様です。

対応ソフトウェア

GP-200 を PC または Mac に接続すると、無料の GP-200 ソフトウェアを使って多彩な機能を管理できます。トーンの調整、パッチのインポート／エクスポート、ファームウェアのアップグレード、サードパーティ製 IR の読み込みなど GP-200 ソフトウェアは Windows と MacOS の両方にに対応しています。
ソフトウェアは以下の URL からダウンロードしてください。

www.valeton.net/support



注意:

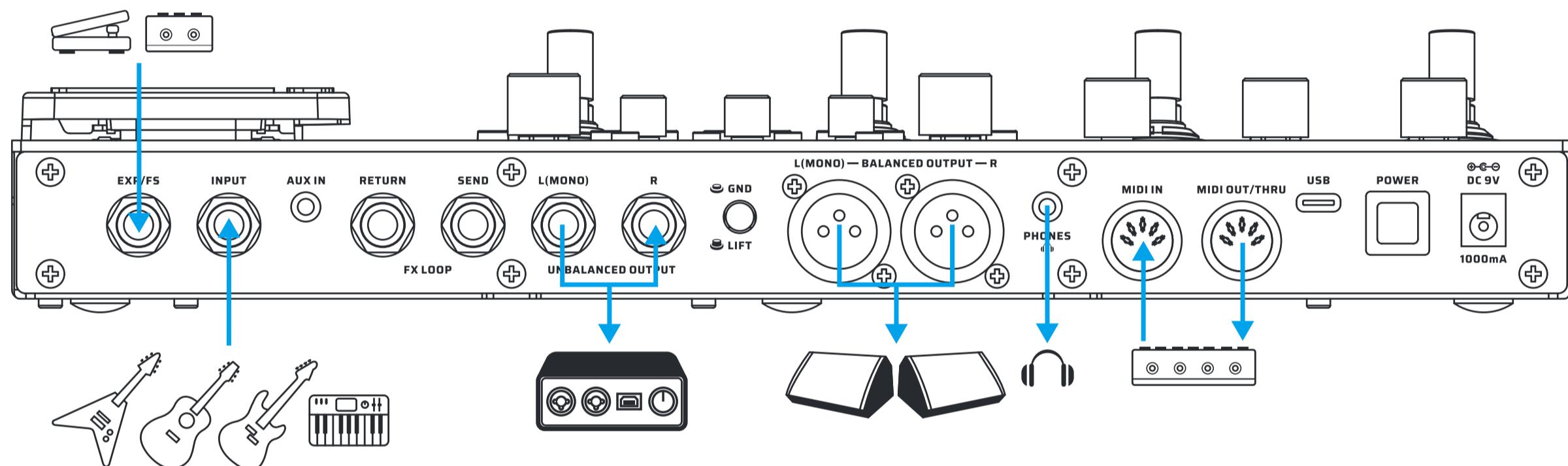
パソコンと接続する前に、「GLOBAL SETTINGS - USB Audio - USB Mode」が「Normal」に設定されていることを必ず確認してください。

使用シーン

このセクションでは、GP-200 の一般的な使用シーンにおける接続方法をご紹介します。

フルレンジスピーカー機器を使った接続

フルレンジ機器には、オーディオインターフェース、スタジオモニター、PAシステム、ヘッドホンなどが含まれます。この場合、GP-200 のアウトプットジャックまたはヘッドホンジャックを、接続先の機器に合わせて使用します。バランス出力とアンバランス出力は同じ信号ですが、バランス出力は長距離の信号伝送に適しています。スピーカーが1台のみの場合は、まず L (MONO) を選択してください。最適な音質を得るために、AMP および CAB モジュールは ON のままにし、「No CAB」モードはオフにしておいてください。

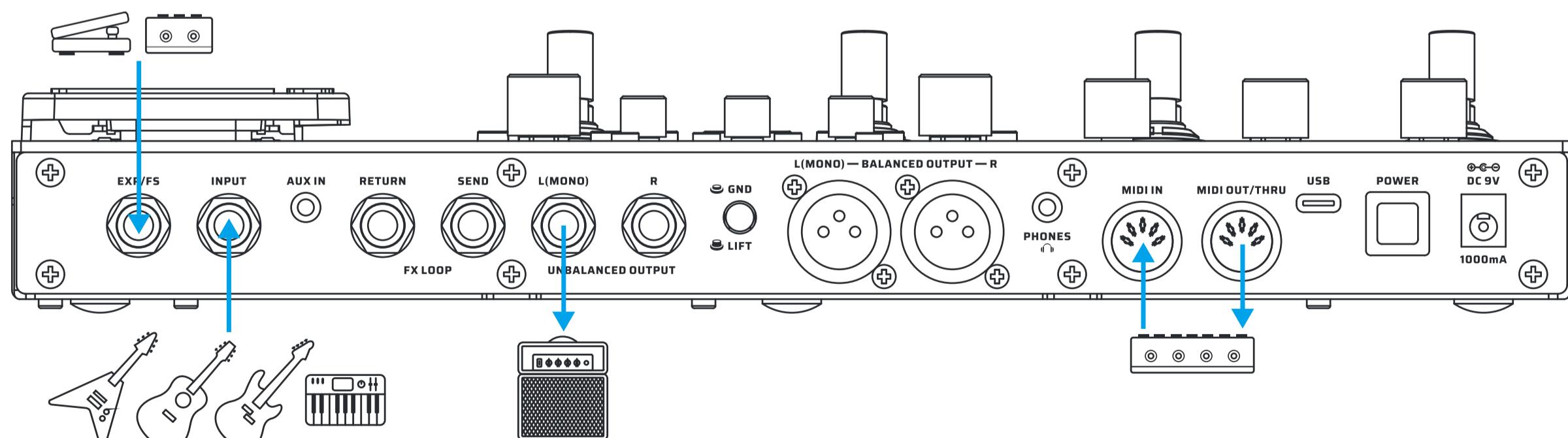


ギターアンプ (INPUT ジャック) を使った接続

この場合は、GP-200 のアンバランス出力をギターアンプの INPUT ジャックに直接接続します。

アンプが1台のみの場合は、まず L (MONO) を選択してください。

最適な音質を得るために、トーンへの悪影響を避けるために AMP および CAB モジュールはオフにしてください。



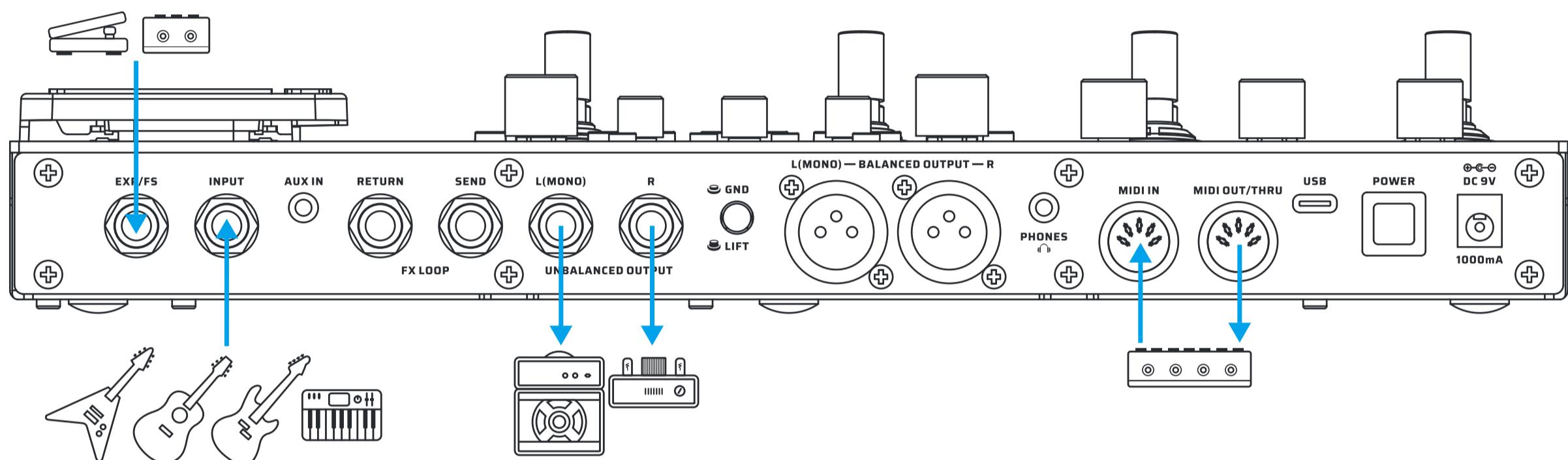
ギターアンプ (FX ループを使って GP-200 を前段に設置する場合)

この場合は、GP-200 のアンバランス出力をギターアンプの RETURN 端子に接続します。

これにより、アンプのプリアンプ部をバイパスし、パワーアンプ部と AMP モジュール内の多彩なエフェクトを組み合わせることで、よりリアルなサウンドが得られます。

アンプが 1 台のみの場合は、まず L (MONO) を選択してください。

最適な音質を得るために、CAB モジュールはオフにするか、「No CAB」モードをオンにして、音質への悪影響を避けてください。



ギターアンプ (FX ループを使って GP-200 を後段に設置する場合)

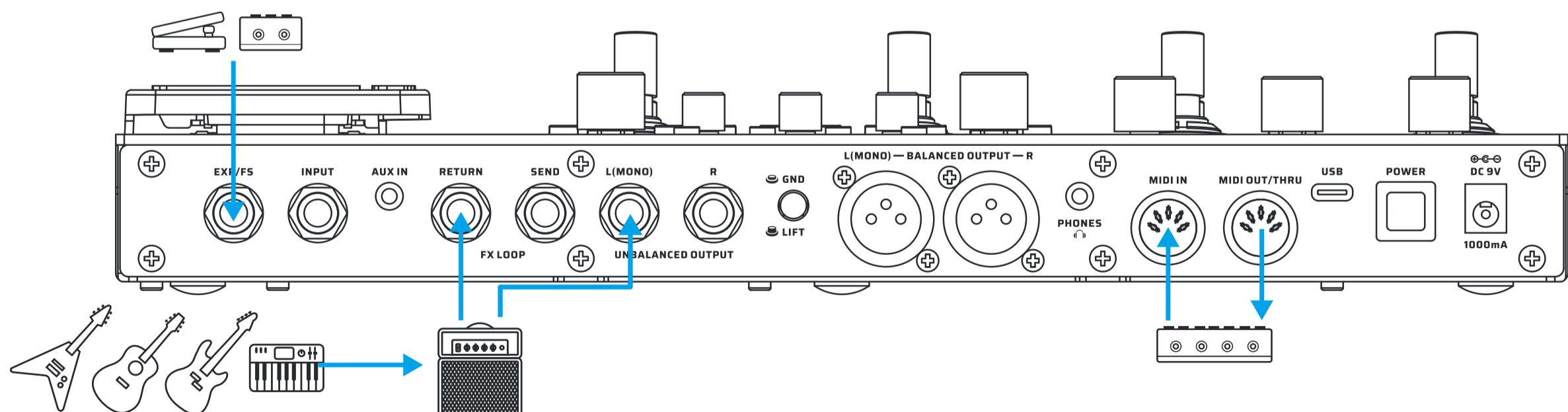
この場合、AMP モジュール（およびそれ以前のすべてのモジュール）はミュートされ、AMP モジュール以降のエフェクトチェーンがプリアンプとパワーアンプの間に適用されます。

デフォルト設定では、RETURN 端子は AMP モジュールの後にあります。

最適な音質を得るために、CAB モジュールはオフにするか、「No CAB」モードをオンにして、音質への悪影響を避けてください。

また、GP-200 のパッチ音量モニターに注意してください。

もしクリッピング音が聞こえる場合は、「Global - Input/Output」の入力音量を下げるか、入力設定をラインに変更して、より理想的な音質を試みてください。



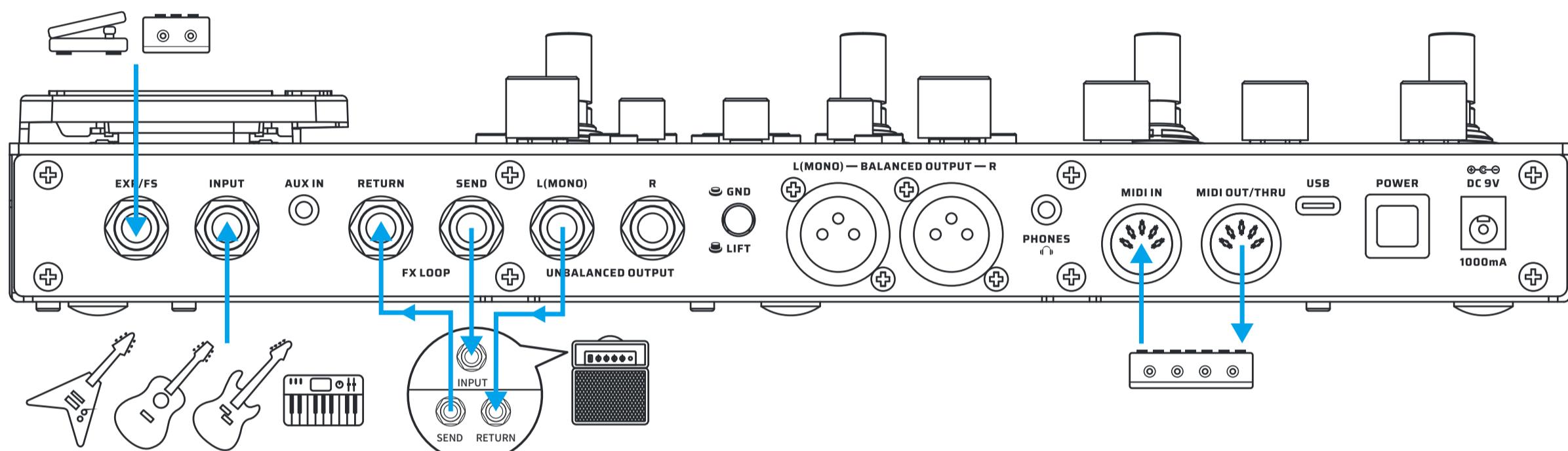
ギターアンプ (FX ループを使った 4 ケーブルメソッドの場合)

この方法では、GP-200 のエフェクトチェーンを 2 つの部分に分割します（下図参照）。

GP-200 の PRE および DST モジュールをプリアンプの前に配置し、EQ、MOD、DLY、RVB モジュールをプリアンプとパワーアンプの間に配置することができます。

最適な音質を得るために、トーンへの悪影響を避けるために AMP および CAB モジュールはオフにしてください。

また、「Patch Settings - FX Loop - Parallel/Series」の FX ループ設定を「Series」に設定することも忘れないでください。



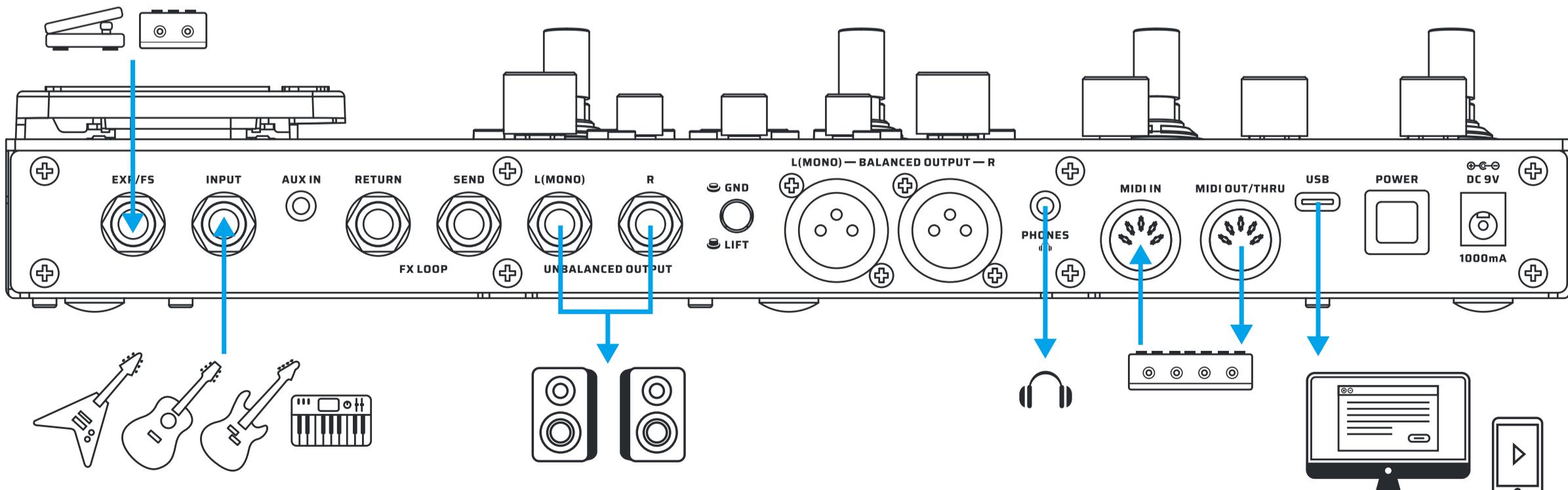
オーディオスタジオ（ライブ配信向け）

この使用シーンでは、GP-200 がコンピューターやスマートフォン用のオーディオインターフェースとして機能します。付属の USB ケーブルでコンピューターに接続してください。スマートフォンに接続する場合は、別途 OTG アダプターケーブルが必要になることがあります。

Windows 10 以前の Windows 環境では、Valeton 公式サイトからダウンロード可能な ASIO ドライバーを使用する必要があります。

一方、MacOS、iOS、Android、そして Windows 10 以降の環境では、プラグ&プレイで簡単に使用できます。GP-200 の入力信号 (INPUT) および補助入力信号 (AUX IN) は、USB 接続されたすべてのデバイスで使用可能です。

「Global - USB Audio - AUX IN USB」機能が有効になっていることを必ずご確認ください。



エフェクトリスト

PRE			
FX Title	Type	概要	パラメーター詳細
COMP	Comp	<p>伝説的な「Ross™ Compressor」をベースにしています。</p> <p>これはギター・コンプレッショニア・エフェクトの創始者であり、ギター・コンプレッショニア・エフェクトを一般に広め、将来の重要な要素となりました。</p> <p>非常に自然で芳醇なコンプレッショニア・エフェクトを持ちます。</p>	<p>Sustain: 圧縮量をコントロールします。</p> <p>Volume: エフェクトの出力レベルをコントロールします。</p>
COMP4	Comp	<p>「Keeley® C4 4-knob compressor」をベースにしたモデルで、レコーディング・スタジオ・レベルのコンプレッショニア・エフェクトが得られます。</p> <p>クリアな階層感があり、適切な量の高音域により、ギターサウンドがより明るくなります。</p>	<p>Sustain: 圧縮量をコントロールします。Attack: コンプレッサーが信号の処理を開始する速さをコントロールします。</p> <p>Volume: エフェクトの出力レベルをコントロールします。</p> <p>Clipping: 入力感度をコントロールします。</p> <p>Threshold: コンプレッショニアがかかり始めるレベルをコントロールします。</p> <p>Ratio: コンプレッサー作動時の圧縮比率をコントロールします。</p> <p>Volume: 出力ボリューム/メイクアップゲインをコントロールします</p>
S-Comp	Comp	<p>柔軟で、完全に調整可能なコンプレッサー効果です。</p>	<p>Threshold: コンプレッショニアが作動するトリガーレベルを調整します。</p> <p>Ratio: コンプレッサーが作動した際のコンプレッショニア量を調整します。</p> <p>Volume/Makeup: エフェクトの出力音量、またはメイクアップ量を調整します。</p> <p>Attack: コンプレッサーが信号の処理を開始するまでの速さを調整します。</p> <p>Release: 信号レベルがスレッショルドを下回った後、コンプレッサーが信号レベルを通常に戻し始めるまでの速さを調整します。</p> <p>Blend: エフェクト音(ウェット信号)と原音(ドライ信号)の比率を調整します。</p> <p>Tone: エフェクトの音色を調整します。</p>
Micro Boost	Boost	<p>著名な「Xotic® AC Booster」ペダルをベースにしたモデルで、チューブアンプにもう少し力強さを与えるのに最適な、美しくスムーズなサウンドのドライブ/ブーストペダルです。</p>	<p>Gain: ゲイン量をコントロールします。</p>
AC Boost	Boost	<p>「Xotic® AC Booster」という有名なペダルをベースにしたモデルで、チューブアンプに「あと一押し」の迫力を与えるのに最適な、美しく滑らかなサウンドのドライブ/ブーストペダルです。</p>	<p>Gain: ひずみの量を調整します。</p> <p>Volume: エフェクトの出力音量を調整します。</p> <p>Bass/Treble: エフェクトの音色を調整する2バンドEQです。低音域と高音域を調整します。</p>
B-Boost	Boost	<p>「Xotic® BB Preamp」オーバードライブペダルは、あらゆるギタリストにとって有益です。</p> <p>濃厚でクリーミーなオーバードライブトーンと素晴らしいサステインを得るのに優れているだけでなく、最大30dBのブーストにより、すでにドライブしているアンプのクリーンなフロントエンドをさらにピッシュするのにも効果的です。</p>	<p>Gain: ひずみの量を調整します。</p> <p>Volume: エフェクトの出力音量を調整します。</p> <p>Bass/Treble: エフェクトの音色を調整する2バンドEQです。低音域と高音域を調整します。</p>

*上記で言及されている製造元や製品名は、それぞれの所有者による商標または登録商標です。
これらの商標は、あくまでも製品のサウンド特性を識別するために使用されています。

PRE			
FX Title	Type	概要	パラメーター詳細
P-Boost	Boost	<p>著名な「Xotic® RC Booster」をベースにしており、丁寧に作り上げたトーンを変えることなく、非常に透明感のある 20dB のブーストを提供します。</p> <p>さらに、さらなる太さを加えるためのゲインチャネルも備えています。</p> <p>± 15dB の範囲を持つトレブルとベースの EQ コントロールを活用し、ギターサウンドに信じられないほどの倍音の複雑さを与えます。EQ コントロールは、ボリュームブーストが引き起こす可能性のある余分な低音のブーミーさも補正し、複数のギターのレスポンスを合わせるのに最適です。</p>	<p>Gain: ひずみの量を調整します。</p> <p>Volume: エフェクトの出力音量を調整します。</p> <p>Bass/Treble: エフェクトの音色を調整する 2 バンド EQ です。低音域と高音域を調整します。</p>
14 Boost	Boost	<p>著名な「Fortin® Grind」をベースにしています。最大 +20dB のブーストを提供し、どんなチューブアンプやソリッドステートアンプも引き締め、攻撃性を加えます。</p> <p>GRIND の驚くほど低いノイズフロアと高い入力インピーダンスにより、楽器のキャラクターのあらゆるニュアンスが損なわれることなく伝わります。</p>	Gain: ひずみの量を調整します。
FAT BB	Boost	<p>切り替え可能なローカットフィルターと、独立したベースおよびトレブルコントロールを備えたクリーンブースト兼プリアンプです。</p>	<p>Volume: エフェクトの出力音量を調整します。</p> <p>Bass/Treble: エフェクトの音色を調整する 2 バンド EQ です。低音域と高音域を調整します。</p> <p>Low Cut: ローカットフィルター (-6dB/oct @200Hz) のオン/オフを切り替えます。</p>
Boost	Boost	<p>著名な「Xotic® EP Booster」ペダルをベースにしており、+20dB の純粋な刺激的なリフト、力強い低域、輝かしい高域を提供し、クリアなサウンドをより心地よくします。</p>	<p>Gain: ゲイン量をコントロールします。</p> <p>+3dB: 最小ブースト量を 0dB(オフ)から +3dB(オン)まで選択します。</p> <p>Bright: サウンドキャラクターをヴィンテージ (Bright オフ) からフラット (Bright オン) まで選択します。</p>
OD 9	OD	<p>「Ibanez® Tube Screamer®」は、今日のトップギタリストの多くが使用する、透明感のあるオーバードライブトーンの代名詞となっています。</p> <p>この TS9 ペダルは、ギター信号をブーストし、アンプのプリアンプ段を十分にドライブさせます。これにより、非常に自然でピュアなオーバードライブと、歯切れの良いリズムランチを生み出します。</p>	<p>Gain: オーバードライブ量をコントロールします。</p> <p>Tone: エフェクトのトーンをコントロールします。</p> <p>Volume: エフェクトの出力レベルをコントロールします。</p>
Yellow OD	OD	<p>70 年代のアーティストは主にファズディストーションサウンドを使用していましたが、生み出されるオーバードライブは典型的ではありませんでした。</p> <p>しかし、それはすぐにギターサウンドの新しい標準として受け入れられました。波形の正と負の半波が均等に歪まない非対称回路を特徴としており、歪みが加えられても元の音に近いサウンドが保たれます。</p>	<p>Gain: オーバードライブ量をコントロールします。</p> <p>Volume: エフェクトの出力レベルをコントロールします。</p>
Penetas	OD	<p>伝説的な「Klon® Centaur」をベースにしたこのオーバードライブモデルは「アンプ・イン・ア・ボックス」のような本格的なフィーリングを与えます。</p> <p>豊かで充実しており、耳障りになったり、低音が膨らみすぎたりすることは全くありません。</p> <p>Gain ノブを最小に設定すると、極上のクリーンブーストが得られます。</p>	<p>Gain: オーバードライブ量をコントロールします。</p> <p>Tone: エフェクトのトーンをコントロールします。</p> <p>Volume: エフェクトの出力レベルをコントロールします。</p>

*上記で言及されている製造元や製品名は、それぞれの所有者による商標または登録商標です。
これらの商標は、あくまでも製品のサウンド特性を識別するために使用されています。

PRE			
FX Title	Type	概要	パラメーター詳細
Super OD	OD	独自の非対称オーバードライブ回路が、伝統的なギターの音色に暖かく心地よいオーバードライブ効果を加えます。	Gain: オーバードライブ量をコントロールします。 Tone: エフェクトのトーンをコントロールします。 Volume: エフェクトの出力レベルをコントロールします。
Blues OD	OD	暖かく自然なオーバードライブから、全開のディストーションまで、ギターに最大限の表現力を与え、トーンのコントロールを容易にし、個々の演奏スタイルの微妙な変化を可能にします。	Gain: オーバードライブ量をコントロールします。 Tone: エフェクトのトーンをコントロールします。 Volume: エフェクトの出力レベルをコントロールします。
AC Refiner	Acoustic	アコースティック楽器用に設計されており、より自然でウッディなアコースティックサウンドをもたらします。	Shape: エフェクトの特性を詳細に調整します。
AC Sim	Acoustic	ギター用に設計されたアコースティックギターシミュレーターです。 プロトタイプは、クラシックなアコースティックギターのアナログストンプボックスに基づいています。	Body: 低音域のレスポンスを調整します。 Top: 高音域のレスポンスを調整します。 Volume: エフェクトの出力レベルを調整します。 Mode: 4種類のサウンド特性から選択します。 · Standard (標準的なアコースティックギターの音色特性をシミュレート) · Jumbo (ジャンボサイズのアコースティックギターの音色特性をシミュレート) · Enhanced (アタック感が強調されたアコースティックギターの音色特性をシミュレート) · Piezo (ピエゾピックアップのサウンドをシミュレートします)
T-Wah	Filter	演奏の強弱によってワウサウンドをコントロールします。 これは、ギタリストとベーシストのために設計された、広範囲に対応し、タッチに敏感で柔軟なエンベロープフィルター(タッチワウ)です。	Sens/Sensitivity: エフェクト感度を調整します。 Range: フィルターの周波数範囲を調整します。 Q: フィルターの鋭さを調整します。 Mix: エフェクト音(ウェット信号)と原音(ドライ信号)の比率を調整します。 Mode: 2つのモードから選択します。 · Guitar · Bass
A-WAH	Auto Filter	ワウペダルを一定の速さで動作させるレートを設定します。 ギターとベースの両方に応じた、可変的なオートワウ効果を提供します。	Depth: エフェクトの深さをコントロールします。 Rate: エフェクトのスピードをコントロールします。 Volume: 出力レベルをコントロールします。 Low: 中心周波数の下限点(低域)をコントロールします。 Q: フィルターの鋭さをコントロールします。 High: 中心周波数の上限点(高域)をコントロールします。 Sync: タップテンポ同期のオン/オフを切り替えます。
Step Filter	Filter	シンセサイザーのようなサウンドを作り出すための4ステップオートフィルターマシンです。	Step 1-4: 各ステップのフィルター中心周波数をコントロールします。 Rate: シーケンスのスピードをコントロールします。 Sync: タップテンポ同期のオン/オフを切り替えます。
OCTA	Pitch	ポリフォニック(和音対応)のオクターブ効果を提供します。	Low Oct: 1オクターブ下の音量をコントロールします。 High Oct: 1オクターブ上の音量をコントロールします。 Dry: 原音のレベルをコントロールします。

*上記で言及されている製造元や製品名は、それぞれの所有者による商標または登録商標です。
これらの商標は、あくまでも製品のサウンド特性を識別するために使用されています。

PRE			
FX Title	Type	概要	パラメーター詳細
Pitch	Pitch	ポリフォニック(和音対応)のピッチシフターです。	Low/Hi Pitch: 低音／高音のピッチシフト範囲を半音単位でコントロールします。 Dry: 原音のレベルをコントロールします。 Low/Hi Vol: 低音／高音のピッチの音量をコントロールします。
P-Bend	Pitch	ポリフォニック(和音対応)のピッチシフターです。	Low/Hi Pitch: 半音単位で低音域／高音域のピッチシフト範囲を調整します。 Wet: エフェクト音(ウェット信号)のレベルを調整します。 Dry: 原音(ドライ信号)のレベルを調整します。 Range: ハーモニーエフェクトのピッチ範囲を調整します。
Hammy	Pitch	クラシックな「Whammy®」モノフォニック(単音用)ピッチシフタペダルをベースにして、「Position」パラメーターをエクスプレッションペダルに割り当て、ペダルを動かすことで効果が得られます。	Range: ピッチシフトの範囲を調整します。 Harmony: ハーモニーモード(ドライ信号とウェット信号が同時に出力される)のオン／オフを切り替えます。 Volume: エフェクトの出力音量を調整します。 Position: ピッチの変化をコントロールします。
Harmonizer 1	Pitch	モノフォニック(単音)で、シングルボイス(単一のハーモニー音)のオートハーモナイザーで、最大1オクターブのピッチシフト範囲を持ちます。 Key(キー)、Scale(スケール)、Interval(インターバル)の詳細な設定ができます。	Mix: エフェクトのウェット信号とドライ信号の比率を調整します。 Key: あなたの楽曲に合わせてコードのキーを選択します。 Mode: あなたの楽曲に合わせてスケール(音階)のモードを選択します。 Interval: ウェット信号とドライ信号の音程差(インターバル)を選択します。 Smooth Mode: オンにすると、音の切り替わりが滑らかになります。
Harmonizer 2	Pitch	このモデルは、モノフォニック(単音)で、デュアルボイス(2つのハーモニー音)のオートハーモナイザーで、最大1オクターブのピッチシフト範囲を持ちます。 Key(キー)、Scale(スケール)、Interval(インターバル)の詳細な設定ができます。	Mix: エフェクトのウェット信号とドライ信号の比率を調整します。 Key: あなたの楽曲に合わせてコードのキーを選択します。 Mode: あなたの楽曲に合わせてスケール(音階)のモードを選択します。 Interval 1/2: ウェット信号とドライ信号の音程差(インターバル)を選択します。2つのハーモニー音それぞれの音程差を設定します。 Smooth Mode: オンにすると、音の切り替わりが滑らかになります。
Ring Mod	Special	興味深い非和音の周波数スペクトラム(ベルやチャイムのようなサウンド)を作り出すためのリングモジュレーターです。	Mix: エフェクトのウェット信号とドライ信号の比率を調整します。 Freq/Frequency: 全体のモジュレーション周波数を調整します。 Fine: モジュレーション周波数を +/- 50Hz の範囲で微調整します。 Tone: エフェクトの音色を調整します。

*上記で言及されている製造元や製品名は、それぞれの所有者による商標または登録商標です。
これらの商標は、あくまでも製品のサウンド特性を識別するために使用されています。

PRE			
FX Title	Type	概要	パラメーター詳細
Saturate	Special	アナログの温かさと自然な歪みを提供する、ビンテージのテープサチュレーションシミュレーターです。	Saturation: エフェクトのゲイン量を調整します。 Mix: エフェクトのウェット信号とドライ信号の比率を調整します。 *「Mix」が2回繰り返されていますが、一般的にこのパラメーターは1つで「ウェット/ドライ比率」を意味します。 Volume: エフェクトの出力音量を調整します。 High Cut: エフェクトの高周波数帯の信号をカットします。サウンドの明るさや、キンキンする部分を抑える役割があります。
Auto Swell	Special	これは、理解しやすく使いやすい2つのパラメーターを持つオートスウェルエフェクトです。ギターサウンドをバイオリンのような響きにすることができます。	Attack: エフェクトが入力信号をスウェルさせる速さを調整します。 Curve: ボリュームスウェルのカーブ(変化の仕方)を以下の3種類から選択します。 · Line · Exp · Log
Hold	Special	エフェクトが作動する直前のサウンドを短時間固定させ、それをループ再生できるフリーズエフェクトです。 「Activate」パラメーターをエクスプレッションペダルに割り当てることで、エフェクトの作動/解除を行うことができます。 また、「Activate」パラメーターをオンにして、CTRLを使ってエフェクトモジュールのオン/オフを直接制御することも可能です。	Volume: エフェクトの出力音量を調整します。 Activate: エフェクトのオン/オフを切り替えます。
Freeze	Special	これは、エフェクトが作動した瞬間のサウンドを固定させ、エフェクトがオンになっている間、それを持続再生できるフリーズエフェクトです。 「Activate」パラメーターをエクスプレッションペダルに割り当てることで、エフェクトの作動/解除を行うことができます。 また、「Activate」パラメーターをオンにして、CTRLを使ってエフェクトモジュールのオン/オフを直接制御することも可能です。	Volume: エフェクトの出力音量を調整します。 Attack: エフェクトの音量がフェードインする速さを調整します。 Release: エフェクトの音量がフェードアウトする速さを調整します。 Activate: エフェクトのオン/オフを切り替えます。
*上記で言及されている製造元や製品名は、それぞれの所有者による商標または登録商標です。 これらの商標は、あくまでも製品のサウンド特性を識別するために使用されています。			

WAH			
FX Title	Type	概要	パラメーター詳細
V-Wah	Wah	伝説的な「VOX® V846」ワウペダルをベースにしています。 初期のワウペダルは、元々、通過する管楽器がより感情豊かで表現力のある「ワウワウ」サウンドを出せるように設計されました。このモデルは、エフェクトの深さが小さく、中域から高域の間で作動します。	Range: ワウフィルターの周波数範囲を調整します。 Q: ワウのレゾナンス(フィルターの Q 値)を調整します。 Volume: エフェクトの出力音量を調整します。 【エクスプレッションペダル使用時の注意点】 エクスプレッションペダルをワウペダルとして使用する際は、まず「Position」パラメーターを割り当ててから、エフェクトをオンにし、ペダルを踏み込むことで効果が得られます。
C-Wah	Wah	伝説的な「Dunlop® CryBaby®」ワウペダルをベースにしています。 クラシックな 60 年代の伝統的なワウペダルで、低域から中域の間で作動し、適度なエフェクトの深さとニュートラルな音色を持っています。	Range: ワウフィルターの周波数範囲を調整します。 Q: ワウのレゾナンス(フィルターの Q 値)を調整します。 Volume: エフェクトの出力音量を調整します。 【エクスプレッションペダル使用時の注意点】 エクスプレッションペダルをワウペダルとして使用する際は、まず「Position」パラメーターを割り当ててから、エフェクトをオンにし、ペダルを踏み込むことで効果が得られます。
P-Wah	Wah	ジョン・ペトルーシのラックワウの設定をベースにしたモデルです。 この「Cry Baby® Wah」は、Volume、Q、6 つの EQ コントロールを備えており、ワウサウンドに究極の音色制御をもたらします。	Range: ワウフィルターの周波数範囲を調整します。 Q: ワウのレゾナンス(フィルターの Q 値)を調整します。 Volume: エフェクトの出力音量を調整します。 【エクスプレッションペダル使用時の注意点】 エクスプレッションペダルをワウペダルとして使用する際は、まず「Position」パラメーターを割り当ててから、エフェクトをオンにし、ペダルを踏み込むことで効果が得られます。
S-Wah	Wah	クラシックなワウのトーンです。 ペダルを踏み込むだけで、ワウのクラシックな時代が持つ、歌うようなスイープと豊かな倍音を感じることができます。 まるで小さなジミ・ヘンドリックスをポケットに入れているようなものです。	Range: ワウフィルターの周波数範囲を調整します。 Q: ワウのレゾナンス(フィルターの Q 値)を調整します。 Volume: エフェクトの出力音量を調整します。 【エクスプレッションペダル使用時の注意点】 エクスプレッションペダルをワウペダルとして使用する際は、まず「Position」パラメーターを割り当ててから、エフェクトをオンにし、ペダルを踏み込むことで効果が得られます。
B-Wah	Wah	ベース用に設計されたワウです。	Range: ワウフィルターの周波数範囲を調整します。 Q: ワウのレゾナンス(フィルターの Q 値)を調整します。 Volume: エフェクトの出力音量を調整します。 【エクスプレッションペダル使用時の注意点】 エクスプレッションペダルをワウペダルとして使用する際は、まず「Position」パラメーターを割り当ててから、エフェクトをオンにし、ペダルを踏み込むことで効果が得られます。
Hammy	Pitch	クラシックな「Whammy®」モノフォニック(单音用)ピッチシフターペダルをベースにしています。 「Position」パラメーターをエクスプレッションペダルに割り当て、ペダルを動かすことで効果が得られます。	Range: ピッチシフトの範囲を調整します。 Harmony: ハーモニーモード(ドライ信号とウェット信号が同時に出力される)のオン/オフを切り替えます。 Volume: エフェクトの出力音量を調整します。 Position: ピッチの変化をコントロールします。エクスプレッションペダルに割り当てて使用する際に、実際のピッチを操作します。
* 上記で言及されている製造元や製品名は、それぞれの所有者による商標または登録商標です。 これらの商標は、あくまでも製品のサウンド特性を識別するために使用されています。			

DST			
FX Title	Type	概要	/パラメーター詳細
Green OD	OD	<p>伝説的な「Ibanez® TS-808 Tube Screamer®」オーバードライブペダルをベースにしています。1979年に初めて世に紹介されて以来、TS808は新しい世界を切り開きました。これを愛用するギタリストは数え切れません。</p> <p>これは、温かく、繊細なオーバードライブエフェクトです。オーバードライブとしてもブーストとしても使用でき、様々な音楽スタイルで活用できます。</p> <p>【有名な使用者】 Stevie Ray Vaughan / Joe Satriani / Paul Gilbert / Andy Timmons / Kirk Hammett / Michael Landau / U2</p>	<p>Gain: オーバードライブの量(歪みの深さ)を調整します。 Tone: エフェクトの音色を調整します。 Volume: エフェクトの出力音量を調整します。</p>
OD 9	OD	<p>「Ibanez® Tube Screamer®」は、今日のトップギタリストの多くが使用する、透明感のあるオーバードライブトーンの代名詞となっています。</p> <p>このTS9ペダルは、ギター信号を十分にブーストしてアンプのプリアンプ段をドライブさせ、非常に自然でピュアなオーバードライブと歯切れの良いリズムクランチを生み出します。</p>	<p>Gain: オーバードライブの量(歪みの深さ)を調整します。 Tone: エフェクトの音色を調整します。 Volume: エフェクトの出力音量を調整します。</p>
Yellow OD	OD	<p>70年代のアーティストは、主にファズディストーションのサウンドを使用していましたが、そこから生まれ出されるオーバードライブは一般的ではありませんでした。しかし、それはすぐに新しいギターサウンドのスタンダードとして受け入れられました。</p> <p>このエフェクトは、波形のプラスとマイナスの半分が均等に歪まない回路を特徴としています。そのため、歪みが加えられているにもかかわらず、サウンドはナチュラルです。</p>	<p>Gain: オーバードライブの量(歪みの深さ)を調整します。 Volume: エフェクトの出力音量を調整します。</p>
Penesas	OD	<p>伝説的な「Klon® Centaur」をベースにしたこのオーバードライブモデルは「アンプ・イン・ア・ボックス」のような本格的なフィーリングを与えます。</p> <p>そのサウンド特性は、豊かで充実しており、耳障りになったり、低音が膨らみすぎたりすることは全くありません。</p> <p>Gainノブを最小に設定すると、極上のクリーンブーストが得られます。</p>	<p>Gain: オーバードライブの量(歪みの深さ)を調整します。 Tone: エフェクトの音色を調整します。 Volume: エフェクトの出力音量を調整します。</p>
Swarm	OD	<p>「Providence® SOV-2 Stampede OD」ペダルは、使用するギター本来の特性やトーンを損なうことなく、自然なオーバードライブを提供するように設計されています。</p> <p>特別なバイポーラ電源を搭載しており、内部回路に昇圧された電圧を供給することで、従来の9ボルト電源のオーバードライブでは不可能な広いダイナミックレンジを実現しています。</p> <p>歌うようなリードトーンや、ソリッドで分厚いリズムを得るには、これに勝るものはありません。</p>	<p>Gain: オーバードライブの量(歪みの深さ)を調整します。 Tone: エフェクトの音色を調整します。 Volume: エフェクトの出力音量を調整します。</p>
Super OD	OD	<p>ユニークな非対称オーバードライブ回路が、従来のギターの音色に、温かく心地よいオーバードライブ効果を加えます。</p>	<p>Gain: オーバードライブの量(歪みの深さ)を調整します。 Tone: エフェクトの音色を調整します。 Volume: エフェクトの出力音量を調整します。</p>

*上記で言及されている製造元や製品名は、それぞれの所有者による商標または登録商標です。

これらの商標は、あくまでも製品のサウンド特性を識別するために使用されています。

DST			
FX Title	Type	概要	/パラメーター詳細
Scream OD	OD	「Tube Screamer®」スタイルのオーバードライブペダルをベースにしており、ユニークな音色特性を持っています。	Gain: オーバードライブ量をコントロールします。 Tone: エフェクトのトーンをコントロールします。 Volume: エフェクトの出力レベルをコントロールします。 Fat: さらなるレゾナンスのオン/オフを切り替えます。 Air: さらなるプレゼンスのオン/オフを切り替えます。
Blues OD	OD	暖かく自然なオーバードライブから、全開のディストーションまで、ギターに最大限の表現力を与え、トーンのコントロールを容易にし、個々の演奏スタイルの微妙な変化を可能にします。	Gain: オーバードライブの量(歪みの深さ)を調整します。 Tone: エフェクトの音色を調整します。 Volume: エフェクトの出力音量を調整します。
Force	OD	「Fulltone® OCD」は、お気に入りのアンプの「スイートスポット」を見つけたようなサウンドです。暖かく豊かなオーバードライブトーンを生み出し、本物のチューブのようなレスポンスを持っています。ドライブコントロールのスムーズな範囲内で、ダイナミックな倍音から飽和したディストーションまで、ダイナミックに歪みを増していくことができます。	Gain: ディストーション量をコントロールします。 Tone: エフェクトのトーンをコントロールします。 Volume: エフェクトの出力レベルをコントロールします。 Mode: 2つの異なるサウンドキャラクターから選択します。 · HP(より低音と歪みを持つハイピークモード) · LP(元のトーンを変えないローピークモード)
Blues Master	OD	「Marshall® Blues Breaker」は、卓越した透明感のあるトーンを持つ低ゲインペダルです。適度なオーバードライブと繊細なブーストが長所ですが、クランクアップしたチューブアンプと組み合わせることで力強いサウンドも得られます。	Gain: ディストーション量をコントロールします。 Volume: エフェクトの出力レベルをコントロールします。 Bass/Middle/Treble: エフェクトのトーンをコントロールする3バンドEQです。
Master OD	OD	EQステージは非常に幅広く、トレブル、ミドル、ベースのシェイピングオプションを提供します。ゲインステージはクリーンから、よくドライブされたJCM800のようなトーンまで変化し、そこにこのペダルの魅力があります。 【著名な使用者】 Stevie Ray Vaughan / Joe Satriani / Paul Gilbert / Andy Timmons / Kirk Hammett / Michal Landau / U2	Gain: オーバードライブの量(歪みの深さ)を調整します。 Tone: エフェクトの音色を調整します。 Volume: エフェクトの出力音量を調整します。
TaiChi OD	OD	「Hermida® Zendrive®」は、そのチューブライクなトーンで名声を博しました。ペダルオーバードライブを本物のアンプオーバードライブのように聞こえさせる「無形」の要素、例えばタッチセンシティビティやギターのトーンボリュームコントロールへの反応などを生み出すために必要な、サチュレーションとハーモニクスの完璧なバランスを実現します。	Gain: オーバードライブ量をコントロールします。 Tone: エフェクトのトーンをコントロールします。 Volume: エフェクトの出力レベルをコントロールします。 Voice: 上部の倍音キャラクターをコントロールします。
Timmy OD	OD	「Paul Cochrane® Timmy」オーバードライブは、初期のブティックオーバードライブペダルの一つで、そのオープンで非圧縮のドライブトーンと優れたEQオプションにより、熱心なファンを生み出しました。	Gain: ディストーション量をコントロールします。 Volume: エフェクトの出力レベルをコントロールします。 Bass/Treble: エフェクトのトーンをコントロールします。 2バンドEQ Mode(I,II,III): ディストーションタイプを選択します。

*上記で言及されている製造元や製品名は、それぞれの所有者による商標または登録商標です。
これらの商標は、あくまでも製品のサウンド特性を識別するために使用されています。

DST			
FX Title	Type	概要	パラメーター詳細
Precise OD	OD	「Horizon Devices® Precision Drive」オーバードライブは、正確なトーン調整コントロールを備えており、モダンなメタルリギに完璧にマッチします。内蔵のノイズゲートにより、トーンのクリーンさと明瞭さが保たれます。	Gain: オーバードライブの量を調整します。 Tone: エフェクトの音色を調整します。 Volume: エフェクトの出力音量を調整します。 Attack (1, 2, 3, 4, 5, 6): オーバードライブのタイプを6段階の中から選択します。 Gate: 内蔵ノイズゲートの閾値を調整します。
Empire OD	OD	「Analog.Man™ Prince of Tone」オーバードライブエフェクトをベースにしており、マルチモードの選択が可能で、広い音色調整範囲により様々な場面に対応します。	Gain: ゲインの量を調整します。 Tone: エフェクトの音色を調整します。 Volume: エフェクトの出力音量を調整します。 Mode: 3種類のモードから選択します。
Lazaro	Fuzz	伝説的な Electro-Harmonix® Big Muff Pi® ファズ／ディストーションペダルをベースにしています。非常に個性的で、暖かく厚いサウンドの壁、荒々しいが美しさに満ちています。 【著名な使用者】 Jimi Hendrix / Santana / Pink Floyd / Jack White	Sustain: ゲイン量をコントロールします。 Tone: エフェクトのトーンをコントロールします。 Volume: エフェクトの出力レベルをコントロールします。
Red Haze	Fuzz	伝説的な Dallas-Arbiter® Fuzz Face®* ファズペダルをベースにしています。1966年、Dallas Arbiter はいくつかのシンプルなトランジスタで、半世紀にわたるロックンロールのサウンドを創り出しました。Fuzz Face のサウンドは重くシャープで、数え切れないほどの著名なミュージシャンに影響を与えました。 【著名な使用者】 Jimi Hendrix / Santana / Pink Floyd / Jack White	Fuzz: ゲイン量をコントロールします。 Volume: エフェクトの出力レベルをコントロールします。
Sora Fuzz	Fuzz	Sola Sound Tone Bender は、初期のユニットから得られる攻撃的なゲルマニウムファズトーンのファンにとっては他に類を見ない存在です。Tone Bender の回路は非常に人気を博し、その後の数年間でデザインは急速に進化し、1960年代半ばから70年代初頭にかけて英国で作られた最も形成的な音楽のいくつかと絡み合った、複雑な歴史を持っています。	Fuzz: ゲイン量をコントロールします。 Volume: エフェクトの出力レベルをコントロールします。
Plustortion	Distortion	この小さな黄色い箱は、数多くのクラシックなスタジオアルバムで素晴らしいサウンドを生み出していました。そう、伝説的な「MXR® M104 Distortion +」のことです。そして、このモデルはそれをベースにした Plustortion です。Plustortion は、ランディ・ローズや他のハードロックerたちが行ったような、ゲルマニウム駆動のソフトクリッピング・ディストーションを再現しています！	Gain: ディストーションの量を調整します。 Volume: エフェクトの出力音量を調整します。
SM Dist	Distortion	クラシックなオレンジ色の 3 ノブディストーションエフェクターをベースにしており、70年代から80年代の音色特性を簡単に得ることができます。	Gain: ディストーション量をコントロールします。 Tone: エフェクトのトーンをコントロールします。 Volume: エフェクトの出力レベルをコントロールします。

*上記で言及されている製造元や製品名は、それぞれの所有者による商標または登録商標です。
これらの商標は、あくまでも製品のサウンド特性を識別するために使用されています。

DST			
FX Title	Type	概要	パラメーター詳細
Darktale	Distortion	<p>伝説的な ProCo™ The Rat ディストーション(初期の LM308 OP-amp バージョン)をベースにしています。</p> <p>The Rat は、幅広い「Filter」ノブの調整範囲、明るくコンパクトなサウンドのアタック、充実したサステイン、そして強い表現力により、多くのミュージシャンに愛用され、その名を轟かせました。</p> <p>【著名な使用者】 Jeff Beck / Kurt Cobain</p>	<p>Gain: ディストーションの量を調整します。</p> <p>Filter: 反時計回りに回すとエフェクトの音色を調整します。一般的に、ハイカットフィルターとして機能し、時計回りで高音域を強調、反時計回りで高音域をカットし、よりマイルドな音色にします。</p> <p>Volume: エフェクトの出力音量を調整します。</p>
Chief	Distortion	<p>Marshall® Guv'nor は 1988 年に発売され、4 年間製造されました。このオーバードライブ/ディストーション(イギリス製のエフェクト)は、クラシックなチューブ Marshall® アンプのサウンドを、コンパクトでソリッドステートの箱の中に再現します。サステインのあるゲインとわずかなコンプレッション感が特徴です。</p>	<p>Gain: ディストーションの量を調整します。</p> <p>Volume: エフェクトの出力音量を調整します。</p> <p>Bass/Middle/Treble:: エフェクトの音色を調整する 3 バンド EQ です。低音域、中音域、高音域を調整します。</p>
Master Dist	Distortion	<p>Marshall Shredmaster ディストーションギターエフェクトペダルは、顔が溶けるようなディストーションと、マーシャルからしか得られないトーンを提供します。</p> <p>このペダルは、トレブル、ベース、コンツァーのノブを備え、微調整や大胆な変更を加えて、信じられないほどのパフォーマンスを実現します。</p>	<p>Gain: ディストーションの量を調整します。</p> <p>Volume: エフェクトの出力音量を調整します。</p> <p>Bass/Middle/Treble:: エフェクトの音色を調整する 3 バンド EQ です。低音域、中音域、高音域を調整します。</p>
La Charger	Distortion	<p>MI Audio® Crunch Box®* ディストーションペダルをベースにしています。センシティブで精巧なディストーションの獣であり、リフやソロの情熱をすべて満たします。各周波数帯域のレスポンスはバランスが取れており、ダイナミックなフィードバックは指先の動きに忠実で、ハイゲイン時でもノイズは十分にコントロールできます。</p>	<p>Gain: ディストーション量をコントロールします。</p> <p>Tone: エフェクトのトーンをコントロールします。</p> <p>Volume: エフェクトの出力レベルをコントロールします。</p>
Revolt	Distortion	<p>Suhr® Riot Distortion™ ペダルをベースにしたモデルです。</p> <p>3つのノブとトーン選択スイッチを備え使いやすく、広い調整範囲を持つため、様々な演奏シーンに非常に適しています。</p>	<p>Gain: ゲインの量を調整します。</p> <p>Tone: エフェクトの音色を調整します。</p> <p>Volume: エフェクトの出力音量を調整します。</p> <p>Mode: 3 種類のサウンド特性から選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・I (ニュートラルなサウンド) ・II (よりタイトでアグレッシブなサウンド) ・III (より滑らかで温かいサウンド)
Flagman Dist	Distortion	<p>このモデルは、有名な「ダーティ・ボックス(ディストーションペダル)」をベースにしており、モダンブリティッシュなハイゲインの音色を完璧に再現します。</p> <p>豊富な調整機能と直感的な操作性により、あなたの音楽に完璧なブーストを提供します。</p>	<p>Gain: ゲインの量を調整します。</p> <p>Volume: エフェクトの出力音量を調整します。</p> <p>Bass/Treble: エフェクトの音色を調整する 2 バンド EQ です。低音域と高音域を調整します。</p> <p>Presence: エフェクトのヘッドルームを調整します。一般的に、超高音域の倍音やクリアさに影響します。</p> <p>Tight: 低音域の共鳴を調整します。低音域の引き締まり具合をコントロールします。</p>

*上記で言及されている製造元や製品名は、それぞれの所有者による商標または登録商標です。
これらの商標は、あくまでも製品のサウンド特性を識別するために使用されています。

DST			
FX Title	Type	概要	パラメーター詳細
Flex OD	Bass Drive	ギターとベースの両方に対応した、シンプルで効果的なディストーションエフェクトです。	Gain: オーバードライブの量を調整します。 Tone: エフェクトの音色を調整します。 Volume: エフェクトの出力音量を調整します。 Mode: 3種類のサウンド特性から選択します。 Normal: ニュートラルなサウンド。 Scoop: 中域が削られたサウンド。 Edge: エッジの効いたサウンド。 Blend: エフェクト音(ウェット信号)と原音(ドライ信号)の比率を調整します。 ドライ音を混ぜることで、歪ませても音の芯や低音を失いにくくなります。
Bass OD	Bass Drive	これはベース専用に設計されたオーバーロードエフェクトデバイスです。原音(オリジナルのベースサウンド)とユニークなオーバードライブ効果を組み合わせることで、元のベースのダイナミックなトーンを保ちながら、非常に優れたディストーション効果を生み出します。また、非常に優れたブーストとしても使用できます。	Gain: ディストーションの量を調整します。 Blend: エフェクト音(ウェット信号)と原音(ドライ信号)の比率を調整します。ベースの芯のある音を残しながら歪みを加えるのに役立ちます。 Volume: エフェクトの出力音量を調整します。 Bass/Treble: エフェクトの音色を調整する2バンドEQです。低音域と高音域を調整します。
Black Bass	Bass Preamp	Darkglass® Microtubes B7K をベースにしたモデルです。パワフルなダイナミックサチュレーション回路に、4バンドイコライザーとバランスラインドライバーを追加し、さらに高い汎用性を持たせています。スタジオとライブ両方での使用を想定して設計されており、あなたのダイレクトサウンドを全く新しいレベルへと引き上げます。	Gain: ディストーションの量を調整します。 Blend: エフェクト音(ウェット信号)と原音(ドライ信号)の比率を調整します。 Volume: エフェクトの出力音量を調整します。 Low/Lo-mid/Hi-mid/Treble: エフェクトの音色を調整する4バンドEQです。低音域、低中音域、高中音域、高音域を調整します。 Attack (Cut, Boost, Flat): エフェクトの高音域のトーンを調整します。 Cut: 高音域をカットします。 Boost: 高音域をブーストします。 Flat: 調整を行いません。(標準)
Bass Hammer	Bass Preamp	有名な Aguilar® Tone Hammer フロントエフェクトをベースにしたモデルです。2種類のサウンドカラー(音色)、3バンド・イコライゼーション(EQ)、およびミッドフリーケンシー(中音域)のスイープ周波数調整機能により、高い音色調整能力を備えており、優れた音作りが可能です。	Gain: ゲインの量を調整します。 Master: エフェクトの出力音量を調整します。 Bass/Middle/Treble: エフェクトの音色を調整する3バンドEQです。低音域、中音域、高音域を調整します。 Mid Freq/Middle Frequency: 中音域の周波数範囲を調整します。Middleノブで調整する中音域の中心周波数を変えることができます。 Drive: 追加のゲインステージをオンにします。通常、より強く歪ませたり、ブーストしたりするために使われます。
Micro Boost	Boost	伝説的な MXR® M133 Micro Amp2 ペダルをベースにしたモデルです。最大 20dB のゲインを提供し、アンプの音色特性を変えることなく、アンプのサウンドをブーストさせます。	Gain: ゲインの量を調整します。
AC Boost	Boost	「Xotic® AC Booster」という有名なペダルをベースにしたモデルで、チューブアンプに「あと一押し」の迫力を与えるのに最適な、美しく滑らかなサウンドのドライブ/ブーストペダルです。	Gain: ゲインの量を調整します。 Volume: エフェクトの出力音量を調整します。 Bass/Treble: エフェクトの音色を調整する2バンドEQです。低音域と高音域を調整します。

*上記で言及されている製造元や製品名は、それぞれの所有者による商標または登録商標です。
これらの商標は、あくまでも製品のサウンド特性を識別するために使用されています。

DST			
FX Title	Type	概要	パラメーター詳細
B-Boost	Boost	Xotic® BB Preamp オーバードライブペダルは、あらゆるギタリストにとって有益です。このペダルは、濃厚でクリーミーなオーバードライブトーンと素晴らしいサステインを得るのに優れているだけでなく、最大 30dB のブーストにより、すでにドライブしているアンプのクリーンなフロントエンドをさらに PUSH するのにも等しく効果的です。	Gain: ゲインの量を調整します。 Volume: エフェクトの出力音量を調整します。 Bass/Treble: エフェクトの音色を調整する 2 バンド EQ です。低音域と高音域を調整します。
P-Boost	Boost	有名な Xotic® RC Booster をベースにしたこのモデルは、細心の注意を払って作り上げたトーンを変えることなく、超透明な 20dB のブーストを提供します。さらに、太さを加える追加のゲインチャンネルも備えています。トレブルとベースの +-15dB の広い EQ コントロールを活用することで、あなたのギターサウンドに信じられないほどの倍音の複雑さを与えることができます。この EQ コントロールは、音量ブーストによって発生しがちな余分な低音の膨らみを補正するのにも役立ち、複数のギターの特性を合わせる際にも非常に有効です。	Gain: ゲインの量を調整します。 Volume: エフェクトの出力音量を調整します。 Bass/Treble: エフェクトの音色を調整する 2 バンド EQ です。低音域と高音域を調整します。
14 Boost	Boost	有名な Fortin® Grind をベースにしたモデルです。これは、最大 +-20dB のブーストを提供し、あらゆる真空管アンプまたはソリッドステートアンプのサウンドをタイトにし、アグレッシブさを加えます。Grind の驚くほど低いノイズフロアと高い入力インピーダンス (Input Z) により、楽器本来の特性が一切変わることなく、あらゆるニュアンスが明確に伝わります。	Gain: ゲインの量を調整します。
FAT BB	Boost	切り替え可能なローカットフィルターと、独立したベース(低音)とトレブル(高音)のコントロールを備えた、クリーンブーストおよびプリアンプです。	Volume: エフェクトの出力音量を調整します。 Bass/Treble: エフェクトの音色を調整する 2 バンド EQ です。低音域と高音域を調整します。 Low Cut: ローカットフィルター (-6dB oct. @200Hz) のオン/オフを切り替えます。
Boost	Boost	有名な Xotic® EP Booster ペダルをベースにしたモデルです。+20dB のピュアなブーストを提供し、強力な低音域と明るい高音域により、クリアなサウンドをより心地よくします。	Volume: エフェクトの出力音量/ブースト量を調整します。 +3dB: 最小ブースト量を 0dB (オフ) または +3dB (オン) から選択します。オンにすると、常時 3dB のブーストが加わります。 Bright: サウンドの特性を、ビンテージ (Bright オフ) またはフラット (Bright オン) から選択します。
SnapTone 1-5		.nam ファイルのインポートおよび使用に関する説明です。	Gain: ゲインの量を調整します。 Volume: 出力音量を調整します。 Bass/Middle/Treble: エフェクトの音色を調整する 3 バンド EQ です。低音域、中音域、高音域を調整します。

*上記で言及されている製造元や製品名は、それぞれの所有者による商標または登録商標です。
これらの商標は、あくまでも製品のサウンド特性を識別するために使用されています。

AMP			
FX Title	Type	概要	パラメーター詳細
Tweedy	Clean	Fender® Tweed Deluxe をベースにしたモデルで、クリーンから激しいオーバードライブ、カントリーオックからディストーションまで、幅広いダイナミックレンジを持つこのアンプは、60 年以上にわたり、あらゆる音楽スタイルにおける象徴となっていました。	Gain: ゲインの量を調整します。 Tone: エフェクトの音色を調整します。 Volume: 出力音量を調整します。
Bellman 59N	Clean	Fender®'59 Bassman® をベースにしたモデルで、ロックンロールの歴史において最も劇的なスピーカーであり、元々はベース用に設計されましたが、最もクラシックなギターアンプとなりました。水のようにクリアで、真空管がサウンドをより美しくし、楽器メーカーがこぞって模倣したがる製品です。 【著名な使用者】 Stevie Ray Vaughan / Kurt Cobain	Gain: ゲインの量を調整します。 Presence: エフェクトのヘッドルームを調整します。 一般的に超高音域の倍音やクリアさに影響します。 Volume: 出力音量を調整します。 Bass/Middle/Treble: エフェクトの音色を調整する 3 バンド EQ です。
Bellman 59B	Drive	Fender® '59 Bassman® をベースにしています。	Gain: ゲインの量を調整します。 Presence: エフェクトのヘッドルームを調整します。 一般的に超高音域の倍音やクリアさに影響します。 Volume: 出力音量を調整します。 Bass/Middle/Treble: エフェクトの音色を調整する 3 バンド EQ です。
Dark Twin	Clean	Fender®'65 Twin Reverb® をベースにしています。ストラトキャスターを使えば、カントリー、ジャズ、ロックミュージックのいずれにおいてもクラシックなサウンドを簡単に再現できます。	Gain: ゲインの量を調整します。 Presence: エフェクトのヘッドルームを調整します。 一般的に超高音域の倍音やクリアさに影響します。 Volume: 出力音量を調整します。 Bass/Middle/Treble: エフェクトの音色を調整する 3 バンド EQ です。 Bright: さらなる輝度をオン/オフします。
Dark DLX	Clean	素晴らしいクリーントーンも可能ですが、多くのギタリストが評価し愛しているのは、その多彩な「スイートなディストーション」です。そのため、このアンプは多くのブルースミュージシャンや現代のスーパー・ギタリストにとってナンバーワンの選択肢です。フェンダー特有のスプリングリバーブとチューブビブラートエフェクトが、さらなる「ヴィンテージ」サウンドのバリエーションを可能にします。	Gain: ゲイン量 (プリゲイン) をコントロールします。 Volume: 出力ボリューム (ポストゲイン) をコントロールします。 Bass/Treble: エフェクトのトーンをコントロールする 2 バンド EQ です。
Dark Vibra	Clean	オリジナルの Vibroverb (6G16 回路) は 1963 年 2 月に導入されました。スピーカー構成と出力トランジスタは当時の Fender Super アンプに、回路は当時の Fender Vibrolux I に基づいています。40 ワットのアンプは 2 つのチャンネル (NORMAL と BRIGHT) を誇り、両チャンネルに VOLUME, TREBLE, BASS コントロールがありました。リバーブは BRIGHT チャンネルにのみ影響しました。	Gain: ゲイン量 (プリゲイン) をコントロールします。 Volume: 出力ボリューム (ポストゲイン) をコントロールします。 Bass/Treble: エフェクトのトーンをコントロールする 2 バンド EQ です。 Bright: さらなる輝度をオン/オフします。
Silver Twin	Clean	Fender® Silverface Twin Reverb アンプは 1967 年から 1981 年にかけて製造されました。歴史のサウンドを奏します。	Gain: ゲイン量 (プリゲイン) をコントロールします。 Volume: 出力ボリューム (ポストゲイン) をコントロールします。 Bass/Treble: エフェクトのトーンをコントロールする 2 バンド EQ です。
SUPDual CL	Clean	Supro® Dual-Tone 1624T (CH1 クリーン) をベースにしています。60 年代半ば、ヴィンテージの 1624T アンプは、ボリュームノブを 12 時以上に回すと、太く圧縮されたクリーントーンが、フルにしても明瞭で聴きやすい、すぐにそれとわかるグラインドへと進化するため、何十年も求められてきました。	Gain: ゲイン量 (プリゲイン) をコントロールします。 Tone: エフェクトのトーンをコントロールします。 Volume: 出力ボリューム (ポストゲイン) をコントロールします。

*上記で言及されている製造元や製品名は、それぞれの所有者による商標または登録商標です。
これらの商標は、あくまでも製品のサウンド特性を識別するために使用されています。

AMP			
FX Title	Type	概要	パラメーター詳細
SUPDual OD	Drive	<p>Supro® Dual-Tone 1624T (CH1+2、ダーティ・トーン) をベースにしたモデルで、60年代半ばのビンテージ 1624T アンプは、数十年にわたり切望されてきました。</p> <p>なぜなら、Dual-Tone のボリュームノブを正午 (12 時) を超えて回すと、太くコンプレッションの効いたクリーンなトーンが、</p>	<p>Gain 1/2: エフェクトのゲイン量をコントロールします。</p> <p>Tone 1/2: エフェクトのトーンをコントロールします。</p> <p>Volume: 出力とゲイン量をコントロールします。</p>
Foxy 15TB	Clean	<p>ヴィンテージVOX® AC-100ベースアンプをベースにしています。</p> <p>1963年、ビートルズはクラブの熱狂的な叫び声よりも大きな音量のベーススピーカーを緊急に必要とし、AC-100が誕生しました。100Wのパワーと4x12 インチのボックスで、1960年代を代表するベースサウンドとなりました。</p>	<p>Gain: ゲイン量 (プリゲイン) をコントロールします。</p> <p>Volume: 出力ボリューム (ポストゲイン) をコントロールします。</p> <p>Bass/Treble: エフェクトのトーンをコントロールする2バンドEQです。</p>
Foxy 30N	Clean	<p>VOX® AC30HW* (ノーマルチャンネル) をベースにしています。</p> <p>象徴的なクリアサウンドと暖かく鋭いオーバードライブは、誕生の日からシャドウズ、ビートルズ、ローリングストーンズなどのお気に入りとなりました。</p> <p>「ブリティッシュ・インヴェイジョン」を率いた英国のバンドたちは、VOX®スピーカーを英国ロックの象徴として有名にしました。</p>	<p>Gain: ゲイン量をコントロールします。</p> <p>Tone cut: エフェクトのトーンをコントロールします。</p> <p>Volume: 出力ボリューム (ポストゲイン) をコントロールします。</p> <p>Bright: さらなる輝度をオン/オフします。</p>
Foxy 30TB	Drive	<p>VOX® AC30HW* (トップブーストチャンネル) をベースにしています。</p>	<p>Gain: ゲイン量 (プリゲイン) をコントロールします。</p> <p>Tone cut: エフェクトのトーンをコントロールします。</p> <p>Volume: 出力ボリューム (ポストゲイン) をコントロールします。</p> <p>Bass/Treble: エフェクトのトーンをコントロールする2バンドEQ。</p> <p>Char: 2つのサウンドキャラクターから選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> · Cool (低ゲイン) · Hot (高ゲイン)
J-120 CL	Clean	<p>伝説的な「Jazz Chorus」ソリッドステートコンボをベースにしています。</p> <p>1975年に登場した際、コーラスエフェクトを搭載した初の楽器用スピーカーでした。そのピュアなサウンドとステレオコーラス効果で有名でした。</p>	<p>Gain: エフェクトのゲイン/出力量をコントロールします。</p> <p>Bright: さらなるプレゼンスをオン/オフします。</p> <p>Bass/Middle/Treble: エフェクトのトーンをコントロールする3バンドEQです。</p>
Match CL	Clean	<p>Matchless™ Chieftain 212コンボ (クリーントーン) をベースにしています。</p> <p>1989年の創設以来、MATCHLESS®の哲学は、最高級で万能なスピーカーをできるだけ多く作ることでした。クリスピな粒立ちと完璧なダイナミックフィードバックが、あなたの演奏を容易にします。</p>	<p>Gain: ゲイン量 (プリゲイン) をコントロールします。</p> <p>Presence: エフェクトのヘッドルームをコントロールします。</p> <p>Volume: 出力ボリューム (ポストゲイン) をコントロールします。</p> <p>Bass/Middle/Treble: エフェクトのトーンをコントロールする3バンドEQです。</p>
Match OD	Drive	<p>Matchless™ Chieftain 212コンボ (オーバードライブトーン) をベースにしています。</p>	<p>Gain: ゲイン量 (プリゲイン) をコントロールします。</p> <p>Presence: エフェクトのヘッドルームをコントロールします。</p> <p>Volume: 出力ボリューム (ポストゲイン) をコントロールします。</p> <p>Bass/Middle/Treble: エフェクトのトーンをコントロールする3バンドEQです。</p>

*上記で言及されている製造元や製品名は、それぞれの所有者による商標または登録商標です。
これらの商標は、あくまでも製品のサウンド特性を識別するために使用されています。

AMP			
FX Title	Type	概要	パラメーター詳細
L-Star CL	Clean	Mesa/Boogie® Lone Star™ (CH1) をベースにしています。 プリアンプ回路は並外れた表現力を持ち、包括的な音色と直感的な操作は、Mesa/Boogie®の優れた技術力を示しています。 魅力的で生き生きとした音色体験。より圧縮されバランスの取れた、ソフトな中域サウンドを持ち、高域は豪華な鐘のようです。	Gain: ゲイン量 (プリゲイン) をコントロールします。 Presence: エフェクトのヘッドルームをコントロールします。 Volume: 出力ボリューム (ポストゲイン) をコントロールします。 Bass/Middle/Treble: エフェクトのトーンをコントロールする3バンドEQです。
L-Star OD	Drive	Mesa/Boogie® Lone Star™ (CH2) をベースにしています。	Input: ゲイン量 (プリアンプゲイン) を調整します。 Gain: エフェクトの歪み (ドライブ) 量を調整します。 Presence: エフェクトのヘッドルーム (高域の抜け感) を調整します。 Volume: 出力音量 (ポストゲイン) を調整します。 Bass/Middle/Treble: エフェクトの音色を調整する3バンドEQです。
BogSV CL	Clean	Bogner® Shiva (20周年記念版、Ch1) をベースにしています。 モダンに最適化された回路で、2チャンネルのサウンドの宝庫です。優れた回路設計により、透明で柔軟な高域と低域、クリスタルクリアなサウンド、ブリティッシュハイゲインのコンパクトさと豪華さを備えています。	Gain: ゲイン量 (プリゲイン) をコントロールします。 Presence: エフェクトのヘッドルームをコントロールします。 Volume: 出力ボリューム (ポストゲイン) をコントロールします。 Bass/Treble: エフェクトのトーンをコントロールする2バンドEQです。 Bright: さらなる輝度をオン/オフします。
BogSV OD	Drive	Bogner® Shiva (20周年記念版、Ch2) をベースにしています。	Gain: ゲイン量 (プリゲイン) をコントロールします。 Presence: エフェクトのヘッドルームをコントロールします。 Volume: 出力ボリューム (ポストゲイン) をコントロールします。 Bass/Treble: エフェクトのトーンをコントロールする2バンドEQです。
Bog BlueV	Drive	Bogner® XTCのブルーチャンネルは、その非常に認識しやすいクラシックロックサウンドで人気があります。 そのラウドでハンサムなプレキシボイスは、並外れた完成度を誇ります。	Gain: ゲイン量 (プリゲイン) をコントロールします。 Presence: エフェクトのヘッドルームをコントロールします。 Volume: 出力ボリューム (ポストゲイン) をコントロールします。 Bass/Middle/Treble: エフェクトのトーンをコントロールする3バンドEQです。
Bog BlueM	Drive	Bogner® XTCのブルーチャンネルは、その非常に認識しやすいクラシックロックサウンドで人気があります。 そのラウドでハンサムなプレキシボイスは、並外れた完成度を誇ります。	Gain: ゲイン量 (プリゲイン) をコントロールします。 Presence: エフェクトのヘッドルームをコントロールします。 Volume: 出力ボリューム (ポストゲイン) をコントロールします。 Bass/Middle/Treble: エフェクトのトーンをコントロールする3バンドEQです。
Bog RedV	Hi Gain	Bogner® XTCのレッドチャンネルは、その燃えるようないいゲインディストーションと主要な音色で知られています。	Gain: ゲイン量 (プリゲイン) をコントロールします。 Presence: エフェクトのヘッドルームをコントロールします。 Volume: 出力ボリューム (ポストゲイン) をコントロールします。 Bass/Middle/Treble: エフェクトのトーンをコントロールする3バンドEQです。

*上記で言及されている製造元や製品名は、それぞれの所有者による商標または登録商標です。
これらの商標は、あくまでも製品のサウンド特性を識別するために使用されています。

AMP			
FX Title	Type	概要	パラメーター詳細
Bog RedM	Hi Gain	Bogner® XTCのレッドチャンネルは、その燃えるようなハイゲインディストーションと主要な音色で知られています。	Gain: ゲイン量(プリゲイン)をコントロールします。 Presence: エフェクトのヘッドルームをコントロールします。 Volume: 出力ボリューム(ポストゲイン)をコントロールします。 Bass/Middle/Treble: エフェクトのトーンをコントロールする3バンドEQです。
Z38 CL	Clean	Dr. Z® Maz 38 Sr.コンボ(クリーン/ドライブサウンド)をベースにしています。 その多様なサウンド、広い周波数応答、ダイナミックレンジにより、優れたシングルプラットフォームであるだけでなく、ブリティッシュファンでもアメリカンファンでも、あなたのニーズを満たすことができます。	Gain: 出力ボリューム(プリゲイン)をコントロールします。 Tone cut: 反時計回りでエフェクトのトーンをコントロールします。 Volume: 出力ボリューム(ポストゲイン)をコントロールします。 Bass/Middle/Treble: エフェクトのトーンをコントロールする3バンドEQです。
Z38 OD	Drive	Dr. Z® Maz 38 Sr.コンボ(クリーン/ドライブサウンド)をベースにしています。 その多様なサウンド、広い周波数応答、ダイナミックレンジにより、優れたシングルプラットフォームであるだけでなく、ブリティッシュファンでもアメリカンファンでも、あなたのニーズを満たすことができます。	Gain: 出力ボリューム(プリゲイン)をコントロールします。 Tone cut: 反時計回りでエフェクトのトーンをコントロールします。 Volume: 出力ボリューム(ポストゲイン)をコントロールします。 Bass/Middle/Treble: エフェクトのトーンをコントロールする3バンドEQです。
Knights CL	Clean	Grindrod® Pendragon PG20Cをベースにしています。 ブリティッシュサウンド/オーバードライブの大ファンなら、これは見逃せないサウンドです。純粋なブリティッシュスタイル、貫通力に満ちたサウンドをもたらします。	Gain: ゲイン量(プリゲイン)をコントロールします。 Volume: エフェクトの出力(ポストゲイン)をコントロールします。 Bass/Middle/Treble: エフェクトのトーンをコントロールする3バンドEQです。
Knights CL+	Clean	Grindrod® Pendragon PG20Cをベースにしています。 ブリティッシュサウンド/オーバードライブの大ファンなら、これは見逃せないサウンドです。純粋なブリティッシュスタイル、貫通力に満ちたサウンドをもたらします。	Gain: ゲイン量(プリゲイン)をコントロールします。 Volume: エフェクトの出力(ポストゲイン)をコントロールします。 Bass/Middle/Treble: エフェクトのトーンをコントロールする3バンドEQです。
Knights OD	Drive	Grindrod® Pendragon PG20Cをベースにしています。 ブリティッシュサウンド/オーバードライブの大ファンなら、これは見逃せないサウンドです。純粋なブリティッシュスタイル、貫通力に満ちたサウンドをもたらします。	Gain: ゲイン量(プリゲイン)をコントロールします。 Volume: エフェクトの出力(ポストゲイン)をコントロールします。 Bass/Middle/Treble: エフェクトのトーンをコントロールする3バンドEQです。
Bad-KT CL	Clean	Bad Cat® Hot Cat 30(クリーンチャンネル)をベースにしています。 世界で初めてクラスA回路設計を採用したギタースピーカーとして、音質が大幅に向上しました。ブリティッシュとアメリカンスタイルを組み合わせ、豊かな倍音と十分なヘッドルームを備えています。	Gain: ゲイン量(プリゲイン)をコントロールします。 Presence: エフェクトのヘッドルームをコントロールします。 Volume: 出力ボリューム(ポストゲイン)をコントロールします。

*上記で言及されている製造元や製品名は、それぞれの所有者による商標または登録商標です。
これらの商標は、あくまでも製品のサウンド特性を識別するために使用されています。

AMP			
FX Title	Type	概要	パラメーター詳細
Bad-KT OD	Drive	Bad Cat® Hot Cat 30 (オーバードライブチャンネル) をベースにしています。	Gain: ゲイン量 (プリゲイン) をコントロールします。 Presence: エフェクトのヘッドルームをコントロールします。 Volume: 出力ボリューム (ポストゲイン) をコントロールします。 Edge: 高域および中高域のトーンキャラクターをコントロールします。 Bass/Treble: エフェクトのトーンをコントロールする2バンドEQです。
Solo100 CL	Clean	Soldano® SLO100をベースにしています。 エディ・ヴァン・ヘイレンのブラウンサウンドもここから来ており、スティーヴ・ヴァイのクラシックアルバム「Passion & Warfare」はSLO100で録音されました。	Gain: ゲイン量 (プリゲイン) をコントロールします。 Presence: エフェクトのヘッドルームをコントロールします。
Solo100 OD	Drive	Soldano® SLO100をベースにしています。	Bass/Middle/Treble: エフェクトのトーンをコントロールする3バンドEQです。
Solo100 LD	Hi Gain	Soldano® SLO100をベースにしています。 エディ・ヴァン・ヘイレンのブラウンサウンドもここから来ており、スティーヴ・ヴァイのクラシックアルバム「Passion & Warfare」はSLO100で録音されました。 【著名な使用者】 Steve Vai/Mark Knopfler/Eric Clapton/Gary Moore	Gain: ゲイン量 (プリゲイン) をコントロールします。 Presence: エフェクトのヘッドルームをコントロールします。 Volume: 出力ボリューム (ポストゲイン) をコントロールします。 Bass/Middle/Treble: エフェクトのトーンをコントロールする3バンドEQです。
UK 45	Drive	Marshall® JTM45をベースにしています。 1962年、マーシャルはロックミュージック専用に設計された最初のギタースピーカーを発表し、そのパワフルなサウンドはロックミュージックの基礎を築きました。 そのパネル素材であるプレキシグラスは、最もクラシックな1960年代サウンドの代名詞「Plexi」となりました。	Gain: ゲイン量 (プリゲイン) をコントロールします。 Presence: エフェクトのヘッドルームをコントロールします。 Volume: 出力ボリューム (ポストゲイン) をコントロールします。 Bass/Middle/Treble: エフェクトのトーンをコントロールする3バンドEQです。
UK 45+	Drive	Marshall® JTM45をベースにしています。 1962年、マーシャルはロックミュージック専用に設計された最初のギタースピーカーを発表し、そのパワフルなサウンドはロックミュージックの基礎を築きました。 そのパネル素材であるプレキシグラスは、最もクラシックな1960年代サウンドの代名詞「Plexi」となりました。	Gain: ゲイン量 (プリゲイン) をコントロールします。 Presence: エフェクトのヘッドルームをコントロールします。 Volume: 出力ボリューム (ポストゲイン) をコントロールします。 Bass/Middle/Treble: エフェクトのトーンをコントロールする3バンドEQ
UK 45JP	Drive	Marshall® JTM45 (ジャンパー接続) をベースにしています。	Gain: ゲイン量 (プリゲイン) をコントロールします。 Presence: エフェクトのヘッドルームをコントロールします。 Volume: 出力ボリューム (ポストゲイン) をコントロールします。 Bass/Middle/Treble: エフェクトのトーンをコントロールする3バンドEQです。

*上記で言及されている製造元や製品名は、それぞれの所有者による商標または登録商標です。
これらの商標は、あくまでも製品のサウンド特性を識別するために使用されています。

AMP			
FX Title	Type	概要	パラメーター詳細
UK 50	Drive	Marshall® JMP50をベースにしています。 JTM45の整流管を調整することでパワーが向上しました。 1966年、マーシャル社はJTM50を発売し、オーバードライブを利用した「Plexi」サウンドがより多くの人々に知られるようになりました。 音色はJTM45に比べてより豊かです。	Gain: ゲイン量(プリゲイン)をコントロールします。 Presence: エフェクトのヘッドルームをコントロールします。 Volume: 出力ボリューム(ポストゲイン)をコントロールします。 Bass/Middle/Treble: エフェクトのトーンをコントロールする3バンドEQです。
UK 50+	Drive	Marshall® JMP50をベースにしています。 JTM45の整流管を調整することでパワーが向上しました。 1966年、マーシャル社はJTM50を発売し、オーバードライブを利用した「Plexi」サウンドがより多くの人々に知られるようになりました。 音色はJTM45に比べてより豊かです。	Gain: ゲイン量(プリゲイン)をコントロールします。 Presence: エフェクトのヘッドルームをコントロールします。 Volume: 出力ボリューム(ポストゲイン)をコントロールします。 Bass/Middle/Treble: エフェクトのトーンをコントロールする3バンドEQです。
UK 50JP	Drive	Marshall® JMP50(ジャンパー接続)をベースにしています。	Gain 1/2: ゲイン量(プリゲイン)をコントロールします。 Presence: エフェクトのヘッドルームをコントロールします。 Volume: 出力ボリューム(ポストゲイン)をコントロールします。 Bass/Middle/Treble: エフェクトのトーンをコントロールする3バンドEQです。
UK SLP	Drive	1959HWTMは、1960年代半ばから後半にかけての輝かしい時代への直系です。 オリジナルは、ピート・タウンゼントがジム・マーシャルにもっとラウドにできないかと頼んだことから生まれました。このリイシューは、本物の部品と製法を用いて、同じオーバードライブとクランチを持つクラシックなマーシャルトーンを提供します。	Gain: ゲイン量(プリゲイン)をコントロールします。 Presence: エフェクトのヘッドルームをコントロールします。 Volume: 出力ボリューム(ポストゲイン)をコントロールします。 Bass/Middle/Treble: エフェクトのトーンをコントロールする3バンドEQです。
UK 800	Drive	Marshall® JCM800をベースにしています。 1981年、JCM800はその優れたハイゲインサウンドで、瞬く間に80年代のロックとメタルのサウンドとなりました。 創設者は自身のナンバープレートの番号から名付け、「Plexi」の伝説を継承し続けました。 【著名な使用者】 Kerry King/AC/DC/Zakk Wylde	Gain: ゲイン量(プリゲイン)をコントロールします。 Presence: エフェクトのヘッドルームをコントロールします。 Volume: 出力ボリューム(ポストゲイン)をコントロールします。 Bass/Middle/Treble: エフェクトのトーンをコントロールする3バンドEQです。
UK 900	Hi Gain	JCM900はJCM800®の進化形で、チャンネルを追加し、2つのリバーブオプションと2つのゲイン機能を備えています。 そのトーンと頑丈さで知られ、その機能セットと多様性により多くのファンがいます。	Gain: ゲイン量(プリゲイン)をコントロールします。 Presence: エフェクトのヘッドルームをコントロールします。 Volume: 出力ボリューム(ポストゲイン)をコントロールします。 Bass/Middle/Treble: エフェクトのトーンをコントロールする3バンドEQです。
Flagman 1	Drive	著名な「Brown Eye」UKスタイルブティックアンプヘッド(BEチャンネル)をベースにしています。 Marshall®「Plexi」を改良したもので、スムーズな高域、タイトな低域、高域ゲイン機能を持ち、多くの音楽スタイルで使用できます。	Gain: ゲイン量(プリゲイン)をコントロールします。 Presence: エフェクトのヘッドルームをコントロールします。 Volume: 出力ボリューム(ポストゲイン)をコントロールします。 Bass/Middle/Treble: エフェクトのトーンをコントロールする3バンドEQです。

*上記で言及されている製造元や製品名は、それぞれの所有者による商標または登録商標です。
これらの商標は、あくまでも製品のサウンド特性を識別するために使用されています。

AMP			
FX Title	Type	概要	パラメーター詳細
Flagman 2	Drive	著名な「Brown Eye」UKスタイルブティックアンプヘッド(BEチャンネル)をベースにしています。Marshall®「Plexi」を改良したもので、スムーズな高域、タイトな低域、高域ゲイン機能を持ち、多くの音楽スタイルで使用できます。	Gain: ゲイン量(プリゲイン)をコントロールします。 Presence: エフェクトのヘッドルームをコントロールします。 Volume: 出力ボリューム(ポストゲイン)をコントロールします。 Bass/Middle/Treble: エフェクトのトーンをコントロールする3バンドEQです。
Flagman+ 1	Hi Gain	著名な「Brown Eye」UKスタイルブティックアンプヘッド(HBEチャンネル)をベースにしています。	Gain: ゲイン量(プリゲイン)をコントロールします。 Presence: エフェクトのヘッドルームをコントロールします。 Volume: 出力ボリューム(ポストゲイン)をコントロールします。 Bass/Middle/Treble: エフェクトのトーンをコントロールする3バンドEQです。
Flagman+ 2	Hi Gain	著名な「Brown Eye」UKスタイルブティックアンプヘッド(HBEチャンネル)をベースにしています。	Gain: ゲイン量(プリゲイン)をコントロールします。 Presence: エフェクトのヘッドルームをコントロールします。 Volume: 出力ボリューム(ポストゲイン)をコントロールします。 Bass/Middle/Treble: エフェクトのトーンをコントロールする3バンドEQです。
Mess2C+ 1	Drive	Mesa/Boogie® Mark II C+™(リードチャンネル)をベースに、異なるオンボードスイッチの組み合わせを再現しています。 1980年代、Mark II C+はMesa/Boogieのメタルスタイルでの地位を確立し、そのサウンドはメタリカやドリームシアターのアルバムに登場し、アメリカンハイゲインのクラシックとなりました。	Gain: ゲイン量(プリゲイン)をコントロールします。 Presence: エフェクトのヘッドルームをコントロールします。 Volume: 出力ボリューム(ポストゲイン)をコントロールします。 Bass/Middle/Treble: エフェクトのトーンをコントロールする3バンドEQです。
Mess2C+ 2	Drive	Mesa/Boogie® Mark II C+™(リードチャンネル)をベースに、異なるオンボードスイッチの組み合わせを再現しています。 1980年代、Mark II C+はMesa/Boogieのメタルスタイルでの地位を確立し、そのサウンドはメタリカやドリームシアターのアルバムに登場し、アメリカンハイゲインのクラシックとなりました。	Gain: ゲイン量(プリゲイン)をコントロールします。 Presence: エフェクトのヘッドルームをコントロールします。 Volume: 出力ボリューム(ポストゲイン)をコントロールします。 Bass/Middle/Treble: エフェクトのトーンをコントロールする3バンドEQです。
Mess 2C+ 3	Drive	Mesa/Boogie® Mark II C+™(リードチャンネル)をベースに、異なるオンボードスイッチの組み合わせを再現しています。 1980年代、Mark II C+はMesa/Boogieのメタルスタイルでの地位を確立し、そのサウンドはメタリカやドリームシアターのアルバムに登場し、アメリカンハイゲインのクラシックとなりました。	Gain: ゲイン量(プリゲイン)をコントロールします。 Presence: エフェクトのヘッドルームをコントロールします。 Volume: 出力ボリューム(ポストゲイン)をコントロールします。 Bass/Middle/Treble: エフェクトのトーンをコントロールする3バンドEQです。
Mess4 LD	Hi Gain	Mesa/Boogie® Mark IV™(リードチャンネル)をベースにしています。 クラシックをアップグレードし、Mesa/Boogieの万能性を継承。無音から鋭くダークなモダンハイゲインまで、豊かな倍音とサステインを持ちます。	Gain: ゲイン量(プリゲイン)をコントロールします。 Presence: エフェクトのヘッドルームをコントロールします。 Volume: 出力ボリューム(ポストゲイン)をコントロールします。 Bass/Middle/Treble: エフェクトのトーンをコントロールする3バンドEQです。

*上記で言及されている製造元や製品名は、それぞれの所有者による商標または登録商標です。
これらの商標は、あくまでも製品のサウンド特性を識別するために使用されています。

AMP			
FX Title	Type	概要	パラメーター詳細
Mess4 LD 2	Hi Gain	Mesa/Boogie® Mark IV™ (リードチャンネル2) をベースにしています。	Gain: ゲイン量 (プリゲイン) をコントロールします。 Presence: エフェクトのヘッドルームをコントロールします。 Volume: 出力ボリューム (ポストゲイン) をコントロールします。 Bass/Middle/Treble: エフェクトのトーンをコントロールする3バンドEQです。
Mess4 LD 3	Hi Gain	Mesa/Boogie® Mark IV™ (リードチャンネル3) をベースにしています。	Gain: ゲイン量 (プリゲイン) をコントロールします。 Presence: エフェクトのヘッドルームをコントロールします。 Volume: 出力ボリューム (ポストゲイン) をコントロールします。 Bass/Middle/Treble: エフェクトのトーンをコントロールする3バンドEQです。
Mess DualIV	Hi Gain	Mesa/Boogie® Dual Rectifier® (ヴィンテージモード) をベースにしています。 Rectifier®シリーズのディストーションは暖かく、非常に幅広く、Mark®シリーズよりも厚くソリッドです。	Gain: ゲイン量 (プリゲイン) をコントロールします。 Presence: エフェクトのヘッドルームをコントロールします。 Volume: 出力ボリューム (ポストゲイン) をコントロールします。 Bass/Middle/Treble: エフェクトのトーンをコントロールする3バンドEQです。
Mess DualM	Hi Gain	Mesa/Boogie® Dual Rectifier® (モダンモード) をベースにしています。	Gain: ゲイン量 (プリゲイン) をコントロールします。 Presence: エフェクトのヘッドルームをコントロールします。 Volume: 出力ボリューム (ポストゲイン) をコントロールします。 Bass/Middle/Treble: エフェクトのトーンをコントロールする3バンドEQです。
Juice30 OD	Drive	Orange® AD30 (ダーティチャンネル) をベースにしています。 クラシックなクラスA回路 (4本のEL84管を使用) を持つ純粹なチューブサウンドのアンプヘッドで、印象的なスペクトルを持つ調和のとれたサウンドを保証します。	Gain: ゲイン量 (プリゲイン) をコントロールします。 Volume: 出力ボリューム (ポストゲイン) をコントロールします。 Bass/Middle/Treble: エフェクトのトーンをコントロールする3バンドEQです。
Juice R100	Hi Gain	Orange® Rockerverb 100 (ダーティチャンネル) をベースにしています。 発売されるとすぐに、このアンプはロックミュージシャンの新たな人気者となりました。そのサウンドはユニークで、暖かく甘いクリーントーンからヘビーミュージックまでコントロールでき、演奏者に驚きをもたらします。	Gain: ゲイン量 (プリゲイン) をコントロールします。 Volume: 出力ボリューム (ポストゲイン) をコントロールします。 Bass/Middle/Treble: エフェクトのトーンをコントロールする3バンドEQです。 Bright: さらなる輝度をオン/オフします。
EV 51	Hi Gain	Peavey® 5150® (LEADチャンネル) をベースにしています。 ギタリストのエディ・ヴァン・ヘイレンは1980年代にPeaveyと協力し始め、そのサウンドを愛し、アルバムタイトル「5150」をそのメタリックなサウンドと共に世界に知らしめました。 【著名な使用者】Eddie Van Halen	Gain: ゲイン量 (プリゲイン) をコントロールします。 Presence: エフェクトのヘッドルームをコントロールします。 Volume: 出力ボリューム (ポストゲイン) をコントロールします。 Bass/Middle/Treble: エフェクトのトーンをコントロールする3バンドEQです。

*上記で言及されている製造元や製品名は、それぞれの所有者による商標または登録商標です。
これらの商標は、あくまでも製品のサウンド特性を識別するために使用されています。

AMP			
FX Title	Type	概要	パラメーター詳細
Eagle 120	Hi Gain	<p>ENGL® Savage 120 Amplifierは、真に punishingなトーンを提供するためのメタルマシンを作成してきたENGLの豊かな遺産を体現しており、クリアなダイナミクスと途方もない音の多様性を備えています。</p> <p>この驚くべき音色の柔軟性は、専用のクリーンチャンネル、2つの独立したクランチチャンネル、そして超飽和したリードチャンネルという4チャンネルレイアウトから来ています。</p>	<p>Gain: ゲイン量 (プリゲイン) をコントロールします。 Presence: エフェクトのヘッドルームをコントロールします。 Volume: 出力ボリューム (ポストゲイン) をコントロールします。 Bass/Middle/Treble: エフェクトのトーンをコントロールする3バンドEQです。</p>
Eagle 120+	Hi Gain	<p>ENGL® Savage 120 Amplifierは、真に punishingなトーンを提供するためのメタルマシンを作成してきたENGLの豊かな遺産を体現しており、クリアなダイナミクスと途方もない音の多様性を備えています。</p> <p>この驚くべき音色の柔軟性は、専用のクリーンチャンネル、2つの独立したクランチチャンネル、そして超飽和したリードチャンネルという4チャンネルレイアウトから来ています。</p>	<p>Gain: ゲイン量 (プリゲイン) をコントロールします。 Presence: エフェクトのヘッドルームをコントロールします。 Volume: 出力ボリューム (ポストゲイン) をコントロールします。 Bass/Middle/Treble: エフェクトのトーンをコントロールする3バンドEQです。</p>
Power LD	Hi Gain	<p>ENGL® Powerball II E645/2 (CH4) をベースにしています。</p> <p>非常にタイトな低域、豊富なゲイン、そして正確なダイナミックレスポンスをもたらし、モダンロックやタルミュージックに非常に適しています。</p>	<p>Gain: ゲイン量 (プリゲイン) をコントロールします。 Presence: エフェクトのヘッドルームをコントロールします。 Volume: 出力ボリューム (ポストゲイン) をコントロールします。 Bass/Middle/Treble: エフェクトのトーンをコントロールする3バンドEQです。</p>
Dizz VH	Hi Gain	<p>Diezel® VH4をベースにしています。</p> <p>1990年代にドイツで生まれ、その音色と多機能性で数え切れないほどのギターマスターを魅了しました。</p> <p>ユニークなモダンハイゲインは、すぐに多くのミュージシャンを征服しました。</p>	<p>Gain: ゲイン量 (プリゲイン) をコントロールします。 Presence: エフェクトのヘッドルームをコントロールします。 Volume: 出力ボリューム (ポストゲイン) をコントロールします。 Bass/Middle/Treble: エフェクトのトーンをコントロールする3バンドEQです。</p>
Dizz VH S	Hi Gain	<p>【著名な使用者】</p> <p>Guns N' Roses / METALLICA / KORN / Slipknot / BON JOVI</p>	
Dizz VH+	Hi Gain		
Dizz VH+ S	Hi Gain		
Classic Bass	Bass	<p>Ampeg® SVT*ベースアンプをベースにしています。</p> <p>1969年に発売されたAmpeg SVTは、常に最も主流のベーススピーカーであり続け、強力なサウンドシェイピング能力を持っています。</p>	<p>Gain: ゲイン量をコントロールします。 Midrange: Midrangeコントロールの中心周波数を選択します (220Hz/450Hz/800Hz/1.6kHz/3kHz) Bass/Middle/Treble: エフェクトのトーンをコントロールする3バンドEQです。 Volume: 出力ボリューム (ポストゲイン) をコントロールします。</p>
Foxy Bass	Bass	<p>ヴィンテージVOX® AC-100ベースアンプをベースにしています。</p> <p>1963年、ビートルズはクラブの熱狂的な叫び声よりも大きな音量のベーススピーカーを緊急に必要とし、AC-100が誕生しました。</p>	<p>Volume: エフェクトのゲイン/出力量をコントロールします。 Bass/Treble: エフェクトのトーンをコントロールする2バンドEQです。</p>

*上記で言及されている製造元や製品名は、それぞれの所有者による商標または登録商標です。
これらの商標は、あくまでも製品のサウンド特性を識別するために使用されています。

AMP			
FX Title	Type	概要	パラメーター詳細
Mess Bass	Bass	Mesa/Boogie® Bass 400アンプをベースにしています。 多くのアルバムで初期のベーススピーカーのサウンドを聞くことができます。	Gain: ゲイン量(プリゲイン)をコントロールします。 Volume: 出力ボリューム(ポストゲイン)をコントロールします。 Bass/Middle/Treble: エフェクトのトーンをコントロールする3バンドEQです。
Mini Bass	Bass	Ampeg® B-15 "Flip Top"ベースアンプをベースにしています。 B-15は1958年に伝説的なジェス・オリバーによって考案されました。 初期のクラブから世界のトップスタジオまで、至る所で見ることができます。B-15は無視できない画期的な製品と言えます。	Volume: エフェクトのゲイン/出力量をコントロールします。 Bass/Treble: エフェクトのトーンをコントロールする2バンドEQです。
Bass Pre	Bass	Alembic™ F-2Bプリアンプをベースにしています。 1960年代、Fender®スピーカーに触発され、回路が全面的に改造され、当時としては非常に先進的な調整モードがもたらされました。 これは多くのミュージシャンに愛され、ロックミュージックの歴史に強い足跡を残しました。	Volume: エフェクトのゲイン/出力量をコントロールします。 Bright: さらなる輝度をオン/オフします。 Bass/Middle/Treble: エフェクトのトーンをコントロールする3バンドEQです。
AC Pre	Acoustic	AER® Colourizer 2アコースティックプリアンプをベースにしています。 ドイツ発祥で、アコースティックギターのサウンド補強用に設計されたプリアンプです。 アコースティックギターに豊かなダイナミクスと倍音をもたらし、サウンドをより立体的で生き生きとさせます。	Volume: エフェクトのゲイン/出力量をコントロールします。 Tone: 明るさをコントロールします。 Balance: トーンコントロールのバランスをコントロールします。0に設定すると無効になります。 EQ Freq: EQの中心周波数をコントロールします。 (Pre: 90Hz-1.6kHz, Pre 2: 680Hz-11kHz) EQ Q: EQの帯域幅をコントロールします。 EQ Gain: EQのブースト/カット量をコントロールします。50でニュートラルです。
AC Pre 2	Acoustic	AER® Colourizer 2アコースティックプリアンプをベースにしています。 ドイツ発祥で、アコースティックギターのサウンド補強用に設計されたプリアンプです。 アコースティックギターに豊かなダイナミクスと倍音をもたらし、サウンドをより立体的で生き生きとさせます。	Volume: エフェクトのゲイン/出力量をコントロールします。 Tone: 明るさをコントロールします。 Balance: トーンコントロールのバランスをコントロールします。0に設定すると無効になります。 EQ Freq: EQの中心周波数をコントロールします。 (Pre: 90Hz-1.6kHz, Pre 2: 680Hz-11kHz) EQ Q: EQの帯域幅をコントロールします。 EQ Gain: EQのブースト/カット量をコントロールします。50でニュートラルです。
SnapTone 1-5		.namファイルをインポートして使用する方法。	Gain: ゲイン量(プリゲイン)をコントロールします。 Volume: 出力ボリューム(ポストゲイン)をコントロールします。 Bass/Middle/Treble: エフェクトのトーンをコントロールする3バンドEQです。

*上記で言及されている製造元や製品名は、それぞれの所有者による商標または登録商標です。
これらの商標は、あくまでも製品のサウンド特性を識別するために使用されています。

NR			
FX Title	Type	概要	パラメーター詳細
Gate 1	Gate	<p>有名な ISP® Decimator™ ノイズゲートペダルをベースにしたモデルです。</p> <p>Decimatorは、独自の Linearized Time Vector Processing™ により、エキスパンダーのトラッキングが改善されています。</p> <p>この斬新な改良により、ダウンワードエキスパンダーの指数関数的リリースカーブに対して、よりリニア(線形的)なリリースタイム定数応答が提供されます。</p>	<p>Threshold: ゲートが作動するトリガーレベルを調整します。</p>
Gate 2	Gate	<p>アタックとリリースのコントロールを備えた、柔軟なノイズゲートです。</p>	<p>Threshold: ゲートが作動するトリガーレベルを調整します。</p> <p>Attack: ゲートが信号の処理を開始するまでの速さを調整します。</p> <p>Release: レベルがスレッショルドを下回った後、ノイズがフェードアウトするまでの持続時間を調整します。</p>
Auto Swell	Special	<p>理解しやすく使いやすい2つのパラメーターを持つオートスウェルエフェクトです。</p> <p>ギターサウンドをバイオリンのような響きにすることができます。</p>	<p>Attack: エフェクトが入力信号をスウェルさせる速さを調整します。</p> <p>Curve: ボリュームスウェルのカーブ(変化の仕方)を以下の3種類から選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> · Line · Exp · Log

*上記で言及されている製造元や製品名は、それぞれの所有者による商標または登録商標です。
これらの商標は、あくまでも製品のサウンド特性を識別するために使用されています。

CAB			
FX Title	Type	概要	パラメーター詳細
SUP ZEP	1 x 6"	Supro® 1x6" オーバルスピーカー搭載キャビネット	
TWD CP	1 x 8"	ヴィンテージ Fender® Champ* 1x8" キャビネット	
TWD PRC	1 x 10"	ヴィンテージ Fender® Princeton* 1x10" キャビネット	
TWD SUP	2 x 10"	カスタム Fender® Tweed* 2x10" キャビネット	
TWD LUX	1 x 12"	Fender® Tweed Deluxe* 1x12" キャビネット	
Dark LUX	1 x 12"	ヴィンテージ Fender® Deluxe* 1x12" キャビネット	
Dark VIT	1 x 12"	ヴィンテージ Fender® Vibrolux* 1x12" キャビネット	
Dark Twin	2 x 12"	ヴィンテージ Fender® '65 Twin Reverb* 2x12" キャビネット	
Dark CS	2 x 12"	カスタム改造 Fender® 2x12" キャビネット	
Bellman 1	2 x 12"	ヴィンテージ Fender® "Piggyback" Bassman® 2x12" キャビネット	Volume: エフェクトの出力ボリュームをコントロールします。
Bellman 2	4 x 10"	Fender® '59 Bassman®* 4x10" キャビネット	Low Cut: ハイパスフィルター。選択した周波数以下の低域信号をカットします。
J-120	2 x 12"	伝説的な "Jazz Chorus" 2x12" キャビネット	Hi Cut: ローパスフィルター。選択した周波数以上の高域信号をカットします。
UK G12	1 x 12"	Marshall®* 1x12" キャビネット	
UK GRN 1	2 x 12"	Marshall® 2550* 2x12" キャビネット	
UK LD	4 x 12"	Marshall® 1960AV* 4x12" キャビネット	
UK TD	4 x 12"	'68 Marshall® Basketweave* 4x12" キャビネット	
UK MD	4 x 12"	カスタム改造 Marshall®* 4x12" キャビネット	
UK GRN 2	4 x 12"	Celestion® Greenback®スピーカー搭載のヴィンテージMarshall® 4x12" キャビネット	
UK 75	4 x 12"	Celestion® G12T-75スピーカー搭載のMarshall® 4x12" キャビネット	
UK Dark	4 x 12"	1968 Marshall® 4x12" キャビネット	
FOXY 1	1 x 12"	ヴィンテージ VOX® AC15 1x12" キャビネット	
FOXY 2	2 x 12"	ヴィンテージ VOX® AC30 2x12" キャビネット	
ROUT	1 x 12"	Carr® Rambler 1x12" キャビネット	
BogSV	1 x 12"	Bogner® Shiva 1x12" キャビネット	
Bad-KT	1 x 12"	Black Cat® Hot Cat 1x12" キャビネット	
Match	2 x 12"	Matchless® Chieftain 2x12" キャビネット	
TOM OPEN	1 x 12"	Swart Atomic Space 1x12" キャビネット	

*上記で言及されている製造元や製品名は、それぞれの所有者による商標または登録商標です。
これらの商標は、あくまでも製品のサウンド特性を識別するために使用されています。

CAB			
FX Title	Type	概要	パラメーター詳細
ACE	1 x 12"	Morgan® AC-20 Deluxe 1x12" キャビネット	
Mess	4 x 12"	Mesa/Boogie® Rectifier® 4x12" キャビネット	
D STAR	1 x 12"	Mesa/Boogie® Lonestar 1x12" キャビネット	
SUP Star	2 x 12"	Mesa/Boogie® Lonestar 2x12" キャビネット	
US STO	1 x 12"	1980年代 Mesa/Boogie® 1x12" キャビネット	
BOUTI	2 x 12"	ユニークなカスタム 2x12" キャビネット	
SUP	2 x 12"	Supro® 1624T 2x12" キャビネット	
MATT TWD	2 x 12"	Matchless® 2x12" キャビネット	
Freed	2 x 12"	Fryette® Deliverance 2x12" キャビネット	
DB Rock	2 x 12"	Two-Rock® 2x12" キャビネット	
Blue SK	2 x 12"	Celestion® Alnico Blueスピーカー搭載のカスタム 2x12" キャビネット	
EV	4 x 12"	Peavey® 6505 4x12" キャビネット	
Bog	4 x 12"	Bogner® 4x12" キャビネット	Volume: エフェクトの出力ボリュームをコントロールします。
Eagle	4 x 12"	ENGL® 4x12" キャビネット	Low Cut: ハイパスフィルター。選択した周波数以下の低域信号をカットします。
Uban	4 x 12"	Bogner® Uberkab 4x12" キャビネット	Hi Cut: ローパスフィルター。選択した周波数以上の高域信号をカットします。
Solo	4 x 12"	Soldano® 4x12" キャビネット	
Juice	4 x 12"	Orange® PPC412 4x12" キャビネット	
H-WAY	4 x 12"	ヴィンテージ Hiwatt® SE4123 4x12" キャビネット	
Way	4 x 12"	ヴィンテージ WEM® 4x12" キャビネット	
Dumb	4 x 12"	Dumble® 4x12" キャビネット	
Dizz	4 x 12"	Diezel® 4x12" キャビネット	
TRP	4 x 12"	Hughes & Kettner® Triamp 4x12" キャビネット	
King	4 x 12"	Mesa/Boogie® Road King® 4x12" キャビネット	
ADM 1	1 x 15"	David Eden® 1x15" ベースキャビネット	
ADM 2	4 x 10"	David Eden® 4x10" ベースキャビネット	
Workman 1	1 x 15"	SWR® 1x15" ベースキャビネット	
Workman 2	4 x 10"	SWR® Workingman's 4x10" ベースキャビネット	
US BASS	2 x 10"	Mesa/Boogie®* 2x10" ベースキャビネット	

*上記で言及されている製造元や製品名は、それぞれの所有者による商標または登録商標です。
これらの商標は、あくまでも製品のサウンド特性を識別するために使用されています。

CAB			
FX Title	Type	概要	パラメーター詳細
MATT	2 x 10"	Mark Bass® 2x10" ベースキャビネット	
F-TOP	1 x 15"	Ampeg® PF-115HE 1x15" ベースキャビネット	
AMPG 1	4 x 10"	Ampeg® SVT-410HE 4x10" ベースキャビネット	
AMPG 2	8 x 10"	Ampeg® SVT-810E 8x10" ベースキャビネット	
HACK	4 x 12"	Hartke® 4x12" ベースキャビネット	
AC	Acoustic	ドレッドノートギターシミュレーション 1	
AC Dream	Acoustic	ドレッドノートギターシミュレーション 2	Volume: エフェクトの出力ボリュームをコントロールします。
OM	Acoustic	OMタイプのアコースティックギターをシミュレート	Low Cut: ハイパスフィルター。選択した周波数以下の低域信号をカットします。
JUMBO	Acoustic	ジャンボアコースティックギターをシミュレート	Hi Cut: ローパスフィルター。選択した周波数以上の高域信号をカットします。
Bird	Acoustic	象徴的な "H-Bird" アコースティックギターをシミュレート	
GA	Acoustic	GAタイプのアコースティックギターをシミュレート	
Classic AC	Acoustic	クラシックギターをシミュレート	
Mandolin	Acoustic	マンドリンをシミュレート	
Fretless Bass	Acoustic	フレットレスアコースティックベースをシミュレート	
Double Bass	Acoustic	ダブルベースをシミュレート	
User IR 1~20	User IR	ユーザーIR 1-20 (44.1kHz/1024サンプルレートのWAVファイル)	
*上記で言及されている製造元や製品名は、それぞれの所有者による商標または登録商標です。 これらの商標は、あくまでも製品のサウンド特性を識別するために使用されています。			

EQ			
FX Title	Type	概要	パラメーター詳細
Guitar EQ 1	EQ	ギター用に設計されたイコライザーです。	Band 1: 125Hz Band 2: 400Hz Band 3: 800Hz Band 4: 1.6kHz Band 5: 4kHz Band 1-5: 各周波数帯のレベルをコントロールします。 Volume: 出力レベルをコントロールします。
Guitar EQ 2	EQ	ギター用に設計されたイコライザーです。	Band 1: 100Hz Band 2: 500Hz Band 3: 1kHz Band 4: 3kHz Band 5: 6kHz Band 1-5: 各周波数帯のレベルをコントロールします。 Volume: 出力レベルをコントロールします。
Bass EQ 1	EQ	ベース用に設計されたイコライザーです。	Band 1: 33Hz Band 2: 150Hz Band 3: 600Hz Band 4: 2kHz Band 5: 8kHz Band 1-5: 各周波数帯のレベルをコントロールします。 Volume: 出力レベルをコントロールします。
Bass EQ 2	EQ	ベース用に設計されたイコライザーです。	Band 1: 50Hz Band 2: 120Hz Band 3: 400Hz Band 4: 800Hz Band 5: 4.5kHz Band 1-5: 各周波数帯のレベルをコントロールします。 Volume: 出力レベルをコントロールします。
Mess EQ	EQ	Mesa/Boogie® アンプの 5 バンド EQ モジュールをベースにしており、クラシックなブギーの V 字型サウンドを簡単に実現できます。	Band 1: 80Hz Band 2: 240Hz Band 3: 750Hz Band 4: 2.2kHz Band 5: 6.6kHz Band 1-5: 各周波数帯のレベルをコントロールします。
Hyper EQ	EQ	あらゆる楽器に適した 10 バンドグラフィック EQ です。	Band 1: 31Hz Band 2: 63Hz Band 3: 125Hz Band 4: 250Hz Band 5: 500Hz Band 6: 1kHz Band 7: 2kHz Band 8: 4kHz Band 9: 8kHz Band 10: 16kHz Band 1-10: 各周波数帯のレベルをコントロールします。 Volume: 出力レベルをコントロールします。

*上記で言及されている製造元や製品名は、それぞれの所有者による商標または登録商標です。
これらの商標は、あくまでも製品のサウンド特性を識別するために使用されています。

MOD			
FX Title	Type	概要	パラメーター詳細
G-Chorus	Chorus	1970年代後半に生まれた伝説的な大型アンサンブルコーラスペダルをベースにしており、豊かで煌びやかなヴィンテージアナログコーラストーンを生み出します。暖かく、豊かで、夢のようなアナログコーラスサウンドです。	Depth: コーラスの深さをコントロールします。 Rate: コーラスの速さをコントロールします。 Volume: エフェクトレベルをコントロールします。 Sync: タップテンポ同期のオン/オフを切り替えます。
C-Chorus	Chorus	伝説的な4ボタンの紫色のステレオコーラスペダルをベースにしており、音の次元を広げる詳細で豊かなコーラストーンを提供します。	Mode: 4つの異なるコーラスマードから選択します。
B-Chorus	Chorus	ベーシスト向けにチューニングされた、有名なアンサンブルコーラスユニットをベースにしています。	Depth: コーラスの深さをコントロールします。 Rate: コーラスの速さをコントロールします。 Volume: エフェクトレベルをコントロールします。 Sync: タップテンポ同期のオン/オフを切り替えます。
M-Chorus	Chorus	豊かで包み込むようなコーラスサウンドを生み出す多次元コーラスペダル。ステレオサウンドシステムで再生するとより効果的です。	Mix: エフェクト音と原音(ドライ/ウェット信号)の比率を調整します。 Rate: コーラスの周期的な揺れの速さを調整します。 Filter: エフェクトの音色を調整します。 Depth L/C/R: 左/中央/右チャンネルごとのコーラスの深さを調整します。 Sync: タップテンポとの同期をオン/オフで切り替えます。
Jet	Flanger	クラシックなフランジャー効果。豊かで自然なフランジャートーンを生み出します。(B-Jetはベース用にチューニング)	Depth: フランジャーの深さをコントロールします。 Rate: フランジャーの速さをコントロールします。 Pre Delay: プリディレイタイムをコントロールします。 Feedback: フィードバック量をコントロールします。 Sync: タップテンポ同期のオン/オフを切り替えます。
B-Jet	Flanger	クラシックなフランジャー効果。豊かで自然なフランジャートーンを生み出します。(B-Jetはベース用にチューニング)	Depth: フランジャーの深さをコントロールします。 Rate: フランジャーの速さをコントロールします。 Pre Delay: プリディレイタイムをコントロールします。 Feedback: フィードバック量をコントロールします。 Sync: タップテンポ同期のオン/オフを切り替えます。
N-Jet	Flanger	ネガティブフィードバックを持つフランジャーで、「水中」のようなサウンドを生み出します。	Depth: フランジャーの深さをコントロールします。 Rate: フランジャーの速さをコントロールします。 Pre Delay: プリディレイタイムをコントロールします。 Feedback: フィードバック量をコントロールします。 Sync: タップテンポ同期のオン/オフを切り替えます。
Trem Jet	Flanger	フランジャーとトレモロを一つに組み合せたエフェクトです。	Flg Depth: フランジャーの深さをコントロールします。 Flg Rate: フランジャーの速さをコントロールします。 Feedback: フランジャーのフィードバック量をコントロールします。 Trm Depth: トレモロの深さをコントロールします。 Trm Rate: トレモロの速さをコントロールします。 Flg/Trm Sync: 各エフェクトのタップテンポ同期をオン/オフします
V-Roto	Vibrato	BBDベースの青いビブラートペダル(V-Roto)や、伝説的な大型アンサンブルコーラスペダル(G-Roto、ビブラートモード)をベースにしており、自然なアナログビブラートサウンドを生み出します。	Depth: ビブラートの深さをコントロールします。 Rate: ビブラートの速さをコントロールします。 Volume: エフェクト出力をコントロールします。(G-Rotoのみ) Sync: タップテンポ同期のオン/オフを切り替えます。

*上記で言及されている製造元や製品名は、それぞれの所有者による商標または登録商標です。
これらの商標は、あくまでも製品のサウンド特性を識別するために使用されています。

MOD			
FX Title	Type	概要	パラメーター詳細
G-Roto	Vibrato	BBD ベースの青いビブラートペダル (V-Roto) や、伝説的な大型アンサンブルコーラスペダル (G-Roto、ビブラートモード) をベースにしており、自然なアナログビブラートサウンドを生み出します。	Depth: ビブラートの深さをコントロールします。 Rate: ビブラートの速さをコントロールします。 Volume: エフェクト出力をコントロールします。(G-Rotoのみ) Sync: タップテンポ同期のオン/オフを切り替えます。
Vibrato	Vibrato	幅広い調整範囲を持つクラシックなビブラートエフェクトです。	Depth: ビブラートの深さをコントロールします。 Rate: ビブラートの速さをコントロールします。 Volume: エフェクトレベルをコントロールします。 Sync: タップテンポ同期のオン/オフを切り替えます
Vibrato T	Vibrato	ダイナミック・デプス・コントロール付きの特別なビブラート・エフェクトで、タッチ・センシティブなピッチ変調を作り出すことができます。 Rate (レート) ノブでモジュレーションの速さをコントロールし、Sens (センス) ノブで感度を微調整します。 Sync(シンク)スイッチをオンにすることで、タップテンポ機能を使ってエフェクトの速さをコントロールできます。 Sync スイッチがオンのとき、Rate ノブを回して適切なタップディバイド値を設定します。 デフォルト値は 1/4 (分割なし) です。	Sens: エフェクトの感度を調整します。 Rate: ビブラートの周期的な揺れの速さを調整します。 Output: エフェクト音のレベルを調整します。 Sync: タップテンポとの同期をオン/オフで切り替えます。
O-Phase	Phaser	伝説的な MXR® M101 Phase 90 をベースにしています。 エディ・ヴァン・ヘイレンの「Eruption」のギターサウンドを聞いたことがありますか？あの回転感を伴う歪んだトーンは、Phase 90 によって実現されています。	Rate: フェイザーの速さをコントロールします。 Sync: タップテンポ同期のオン/オフを切り替えます。
G-Phase	Phaser	BBD ベースの緑色のフェイザーペダルをベースにしており、自然なアナログフェイズサウンドを生み出します。	Depth: フェイザーの深さをコントロールします。 Rate: フェイザーの速さをコントロールします。 Sync: タップテンポ同期のオン/オフを切り替えます。
S-Phase	Phaser	Electro-Harmonix® Small Stone は 70 年代に利用可能になった最初のフェイザーの一つで、数え切れないほどのレコーディングで聞くことができます。	Rate: フェイザーの周期的な揺れの速さを調整します。 Sync: タップテンポとの同期をオン/オフで切り替えます。 Char: 2 種類のサウンド・キャラクター (音色) から選択します。 · Warm (暖かみのある) · Sharp (シャープな/鋭い)
Pan Phase	Phaser	トレモロ/パンのバリエーションを組み合わせた、特別で繊細なフェイサーです。	Phs Depth/Rate: フェイサーの深さ/速さをコントロールします。 Pan Depth/Rate: トレモロ(モノラル時)またはパンニング(ステレオ時)の深さ/速さをコントロールします。 Phs/Pan Sync: 各エフェクトのタップテンポ同期をオン/オフします
M-Vibe	Phaser	Voodoo Lab® Micro Vibe をベースにしています。オリジナルの 1968 Uni-Vibe と同じ設計です。 ジミ・ヘンドリックスやスティーヴィー・レイ・ヴォーンがアルバムで多用しました。	Depth: フェイサーの深さをコントロールします。 Rate: フェイサーの速さをコントロールします。 Sync: タップテンポ同期のオン/オフを切り替えます。

*上記で言及されている製造元や製品名は、それぞれの所有者による商標または登録商標です。
これらの商標は、あくまでも製品のサウンド特性を識別するために使用されています。

MOD			
FX Title	Type	概要	パラメーター詳細
Vibe	Phaser	Shin-Ei® Uni-Vibe は、ジミ・ヘンドリックス、デヴィッド・ギルモア、ロビン・トロワーなどによって有名になったクラシックなフェイズシフター(コーラス)エフェクトです。	Depth: エフェクトの深さをコントロールします。 Rate: エフェクトの速さをコントロールします。 Volume: エフェクトの出力レベルをコントロールします。 Mode: 2つのモードから選択します。 · Chorus · Vibrato Sync: タップテンポ同期のオン/オフを切り替えます。
O-Trem	Tremolo	伝説的な Demeter® TRM-1 Tremulator* をベースにしており、クラシカルなオプトレモロサウンドを提供します。	Depth: フェイザーの深さをコントロールします。 Rate: フェイザーの速さをコントロールします。 Sync: タップテンポ同期のオン/オフを切り替えます。
Sine Trem	Tremolo	「サイントレモロの波形」と「超広範囲の音色(トーンレンジ)」	Depth: エフェクトの深さをコントロールします。 Rate: エフェクトの速さをコントロールします。 Volume: エフェクトの出力レベルをコントロールします。 Sync: タップテンポ同期のオン/オフを切り替えます。
Bias Trem	Tremolo	「バイアストレモロの波形」と「超広範囲の音色(トーンレンジ)」	Depth: エフェクトの深さをコントロールします。 Rate: エフェクトの速さをコントロールします。 Volume: エフェクトの出力レベルをコントロールします。 Sync: タップテンポ同期のオン/オフを切り替えます。 Bias: 波形のオフセットの変化を調整します。
Detune	Pitch	わずかにピッチをずらした信号と原音を組み合わせ、コーラスのようなトーンを作り出すデチューンエフェクトです。	Detune: デチューン量を -50 から +50 セントの範囲でコントロールします。 Dry/Wet: 原音/エフェクト音のレベルをコントロールします。
Bit Smash	Special	音楽的な手法でビットクラッシュ/サンプルレートリダクション効果を提供します。	Mix: エフェクト音と原音のミックス比率をコントロールします。 Krush: エフェクトのサンプルレートをコントロールします。 Bit: エフェクトのビット解像度をコントロールします。 Hi/Lo Cut: ハイカット/ローカットフィルターのカットオフ周波数をコントロールします。
Auto Swell	Special	理解しやすく使いやすい 2 つのパラメーターを備えたオートスウェルエフェクトです。ギターの音をバイオリンのようにすることができます。	Attack: エフェクトが入力信号をどれだけ速くスウェルさせるか(音量を立ち上げるか)を調整します。 Curve: ボリューム・スウェルのカーブを以下の 3 種類から選択します。 · Line · Exp · Log
Hold	Special	エフェクトがアクティブになる直前のサウンドを短時間フリーズし、それをループ再生できるフリーズ・エフェクトです。Activate(アクティベート)パラメーターをエクスプレッションペダルにアサインすることで、エフェクトのオン/オフを切り替えることができます。あるいは、Activate パラメーターをオンにした状態で CTRL 機能を使用し、エフェクトモジュールのオン/オフを直接制御することもできます。	Volume: エフェクトの出力音量を調整します。 Activate: エフェクトのオン/オフを切り替えます。

*上記で言及されている製造元や製品名は、それぞれの所有者による商標または登録商標です。
これらの商標は、あくまでも製品のサウンド特性を識別するために使用されています。

MOD			
FX Title	Type	概要	パラメーター詳細
Freeze	Special	<p>エフェクトが起動した瞬間のサウンドをフリーズし、エフェクトがアクティブである間、その音を再生し続けることができるフリーズ・エフェクトです。</p> <p>Activate (アクティベート) パラメーターをエクスプレッションペダルにアサインすることで、エフェクトのオン/オフを切り替えることができます。</p> <p>あるいは、Activate パラメーターをオンにした上で CTRL 機能を使用し、エフェクトモジュールのオン/オフを直接制御することもできます。</p>	Volume: エフェクトの出力音量を調整します。 Attack: エフェクトの音量が立ち上がる(フェードインする)速さを調整します。 Release: エフェクトの音量が減衰する(フェードアウトする)速さを調整します。 Activate: エフェクトのオン/オフを切り替えます。
<small>*上記で言及されている製造元や製品名は、それぞれの所有者による商標または登録商標です。 これらの商標は、あくまでも製品のサウンド特性を識別するために使用されています。</small>			

DLY			
FX Title	Type	概要	パラメーター詳細
BBD Delay S	Delay	BBD チップの限界に起因する、温かく、滑らかで、丸みのあるサウンドを持つ BBD ベースのアナログディレイマシンの音を捉えた、ステレオアナログディレイのモデルです。	Mix: エフェクト音と原音(ウェット/ドライ信号)の比率を調整します。 Feedback: ディレイ音の繰り返しの量を調整します。 Time: 左チャンネルのディレイの時間を調整します。 Time R%: 右チャンネルのディレイ時間を調整します。(左チャンネルのディレイ時間に対する比率) Spread: エフェクトのステレオの広がりを調整します。 Level: エフェクトの出力音量を調整します。 Sync: タップテンポとの同期をオン/オフで切り替えます。 Trail: エフェクトをバイパス(オフ)にした時に、ディレイ音がトレイルするかどうかをオン/オフで切り替えます。
Digital Delay S	Delay	純粋でクリアなディレイサウンド、明瞭で正確なディレイ音を生み出すステレオデジタルディレイです。	Mix: エフェクト音と原音(ウェット/ドライ信号)の比率を調整します。 Feedback: ディレイ音の繰り返しの量を調整します。 Time: 左チャンネルのディレイの時間を調整します。 Time R%: 右チャンネルのディレイ時間を調整します。(左チャンネルのディレイ時間に対する比率) Spread: エフェクトのステレオの広がりを調整します。 Level: エフェクトの出力音量を調整します。 Sync: タップテンポとの同期をオン/オフで切り替えます。 Trail: エフェクトをバイパス(オフ)にした時に、ディレイ音がトレイルするかどうかをオン/オフで切り替えます。
Tape Delay S	Delay	その昔、プロデューサーやエンジニアたちは、テープマシンを使ってディレイやエコー効果を作り出していました。その甘く、空間的なエコーの音色は、特にサイケデリックなミュージシャンの間で、今日でも人気があります。	Mix: エフェクト音と原音(ウェット/ドライ信号)の比率を調整します。 Feedback: ディレイ音の繰り返しの量を調整します。 Time: 左チャンネルのディレイの時間を調整します。 Time R%: 右チャンネルのディレイ時間を調整します。(左チャンネルのディレイ時間に対する比率) Spread: エフェクトのステレオの広がりを調整します。 Wow & Flutter: テープやモーターの不調が原因で発生する、ディレイ音のピッチ/スピードの揺れの量を調整します。 Age: 3種類の音色のバリエーション(経年変化の度合いなど)から選択します。 Scrape: テープの擦れによるノイズの量を調整します。 Drive: ディレイの歪みの量を調整します。 Level: エフェクトの出力音量を調整します。 Sync: タップテンポとの同期をオン/オフで切り替えます。 Trail: エフェクトをバイパス(オフ)にした時に、ディレイ音がトレイルするかどうかをオン/オフで切り替えます。
Ambience 1	Delay	空間的なサウンドの広がりをもたらすマルチタップディレイです。 1と2は、異なる音色のバリエーションを表しています。	Mix: エフェクト音と原音(ウェット/ドライ信号)の比率を調整します。 Feedback: ディレイ音の繰り返しの量を調整します。 Time: 左チャンネルのディレイの時間を調整します。 Level: エフェクトの出力音量を調整します。 Mod: エフェクトの揺らぎの量を調整します。 Tone: ディレイ音の高音域/低音域を調整し、こもった音や明るい音など、音の質感を変化させます。 Sync: タップテンポとの同期をオン/オフで切り替えます。 Trail: エフェクトをバイパス(オフ)にした時に、ディレイ音がトレイルするかどうかをオン/オフで切り替えます。

* 上記で言及されている製造元や製品名は、それぞれの所有者による商標または登録商標です。
これらの商標は、あくまでも製品のサウンド特性を識別するために使用されています。

DLY			
FX Title	Type	概要	パラメーター詳細
Ambience 2	Delay	純粋で、正確なディレイサウンドを生み出します。	Mix: エフェクト音と原音(ウェット/ドライ信号)の比率を調整します。 Feedback: ディレイ音の繰り返しの量を調整します。 Time: 左チャンネルのディレイの時間を調整します。 Sync: タップテンポとの同期をオン/オフで切り替えます。 Trail: エフェクトをバイパス(オフ)にした時に、ディレイ音がトレールするかどうかをオン/オフで切り替えます。
Pure	Delay	アナログ感のある温かいディレイサウンドを生み出します。	Mix: エフェクト音と原音(ウェット/ドライ信号)の比率を調整します。 Feedback: ディレイ音の繰り返しの量を調整します。 Time: 左チャンネルのディレイの時間を調整します。 Sync: タップテンポとの同期をオン/オフで切り替えます。 Trail: エフェクトをバイパス(オフ)にした時に、ディレイ音がトレールするかどうかをオン/オフで切り替えます。
Analog	Delay	ソリッドステートテープエコーのサウンドをシミュレートします。	Mix: エフェクト音と原音(ウェット/ドライ信号)の比率を調整します。 Feedback: ディレイ音の繰り返しの量を調整します。 Time: 左チャンネルのディレイの時間を調整します。 Sync: タップテンポとの同期をオン/オフで切り替えます。 Trail: エフェクトをバイパス(オフ)にした時に、ディレイ音がトレールするかどうかをオン/オフで切り替えます。
Tape	Delay	左右のチャンネル間で前後に跳ね返るステレオのフィードバックを生み出します。	Mix: エフェクト音と原音(ウェット/ドライ信号)の比率を調整します。 Feedback: ディレイ音の繰り返しの量を調整します。 Time: 左チャンネルのディレイの時間を調整します。 Sync: タップテンポとの同期をオン/オフで切り替えます。 Trail: エフェクトをバイパス(オフ)にした時に、ディレイ音がトレールするかどうかをオン/オフで切り替えます。
Ping Pong	Delay	クラシックなスラップバックエコー効果をシミュレートします。	Mix: エフェクト音と原音(ウェット/ドライ信号)の比率を調整します。 Feedback: ディレイ音の繰り返しの量を調整します。 Time: 左チャンネルのディレイの時間を調整します。 Trail: エフェクトをバイパス(オフ)にした時に、ディレイ音がトレールするかどうかをオン/オフで切り替えます。
Slapback	Delay	スイープフィルターによる変調されたリピート音を伴うディレイエフェクトを生み出します。	Mix: エフェクト音と原音(ウェット/ドライ信号)の比率を調整します。 Feedback: ディレイ音の繰り返しの量を調整します。 Time: 左チャンネルのディレイの時間を調整します。 Sweep Depth: スイープ・フィルターの深さを調整します。 Sweep Rate: スイープ・フィルターの速さを調整します。 Swp Sync: スイープ・フィルターのタップテンポとの同期をオン/オフで切り替えます。 Time Sync: ディレイ・タイムのタップテンポとの同期をオン/オフで切り替えます。 Trail: エフェクトをバイパス(オフ)にした時に、ディレイ音がトレールするかどうかをオン/オフで切り替えます。

*上記で言及されている製造元や製品名は、それぞれの所有者による商標または登録商標です。
これらの商標は、あくまでも製品のサウンド特性を識別するために使用されています。

DLY			
FX Title	Type	概要	パラメーター詳細
Sweep Echo	Delay	リングモジュレーションされたリピート音を伴うディレイエフェクトを生み出します。	Dly Mix: ディレイ音と原音(ウェット/ドライ信号)の比率を調整します。 Feedback: ディレイ音の繰り返しの量を調整します。 Time: ディレイの時間を調整します。 Ring Mix: Controls the ring mod wet/dry signal ratio Freq: リング・モジュレーションの周波数(ピッチの高さ)を調整します。 Tone: リング・モジュレーション音の音色を調整します。 Sync: タップテンポとの同期をオン/オフで切り替えます。 Trail: エフェクトをバイパス(オフ)にした時に、ディレイ音がトレールするかどうかをオン/オフで切り替えます。
Ring Echo	Delay	チューブ駆動のテープエコーのサウンドをシミュレートします。	Mix: エフェクト音と原音(ウェット/ドライ信号)の比率を調整します。 Feedback: ディレイ音の繰り返しの量を調整します。 Time: 左チャンネルのディレイの時間を調整します。 Sync: タップテンポとの同期をオン/オフで切り替えます。 Trail: エフェクトをバイパス(オフ)にした時に、ディレイ音がトレールするかどうかをオン/オフで切り替えます。
Tube	Delay	巨大な4ヘッドテープエコーマシンをシミュレートしたマルチタップディレイです。	Mix: エフェクト音と原音(ウェット/ドライ信号)の比率を調整します。 Feedback: ディレイ音の繰り返しの量を調整します。 Time: ディレイの時間を調整します。 Tone: エフェクトの音色を調整します。 Mode: 12種類の異なるヘッドの組み合わせから選択します。 1: シングル・ヘッド(通常のディレイと同じ) 2: Head 1 & 2 3: Head 2 & 3 4: Head 3 & 4 5: Head 1 & 3 6: Head 2 & 4 7: Head 1 & 4 8: Head 1, 2 & 3 9: Head 2, 3 & 4 10: Head 1, 2 & 4 11: Head 1, 3 & 4 12: Head 1, 2, 3 & 4 Sync: タップテンポとの同期をオン/オフで切り替えます。 Trail: エフェクトをバイパス(オフ)にした時に、ディレイ音がトレールするかどうかをオン/オフで切り替えます。
M-Echo	Delay	このアナログディレイペダルは、1981年から1984年にかけて販売され、その温かく自然なサウンドのおかげで今なお求められています。 20ミリ秒から300ミリ秒のディレイタイムを生み出します	Mix: エフェクト音と原音(ウェット/ドライ信号)の比率を調整します。 Feedback: ディレイ音の繰り返しの量を調整します。 Time: 左チャンネルのディレイの時間を調整します。 Sync: タップテンポとの同期をオン/オフで切り替えます。 Trail: エフェクトをバイパス(オフ)にした時に、ディレイ音がトレールするかどうかをオン/オフで切り替えます。

* 上記で言及されている製造元や製品名は、それぞれの所有者による商標または登録商標です。
これらの商標は、あくまでも製品のサウンド特性を識別するために使用されています。

DLY			
FX Title	Type	概要	パラメーター詳細
Sweet Echo	Delay	Maxon® AD900 アナログディレイを基に、温かく、正確なディレイサウンドを提供します。100% アナログディレイであり、ディレイの繰り返し音にはダイナミックな歪みがかかり豪華で、温かく、オーガニックなディレイトーンを生み出します。	Mix: エフェクト音と原音(ウェット/ドライ信号)の比率を調整します。 Feedback: ディレイ音の繰り返しの量を調整します。 Time: ディレイの時間を調整します。 Sync: タップテンポとの同期をオン/オフで切り替えます。 Trail: エフェクトをバイパス(オフ)にした時に、ディレイ音がトレイルするかどうかをオン/オフで切り替えます。
999 Echo	Delay	1980 年代のヴィンテージラック式ディレイの音を、わずかに音質劣化させたフィードバックで再現。	Mix: エフェクト音と原音(ウェット/ドライ信号)の比率を調整します。 Feedback: ディレイ音の繰り返しの量を調整します。 Time: ディレイの時間を調整します。 Mod: エフェクトの揺らぎの量をコントロールします。 Tone: エフェクト音の音色をコントロールします。 Sync: タップテンポとの同期をオン/オフで切り替えます。 Trail: エフェクトをバイパス(オフ)にした時に、ディレイ音がトレイルするかどうかをオン/オフで切り替えます。
Vintage Rack	Delay	ディレイ効果を、ローファイ(Lo-Fi)化したリピート音で生成します。	Mix: エフェクト音と原音(ウェット/ドライ信号)の比率を調整します。 Feedback: ディレイ音の繰り返しの量を調整します。 Time: ディレイの時間を調整します。 Crush: エフェクトのサンプリングレートをコントロールします。 Bit: エフェクトのサンプリング精度をコントロールします。 Sync: タップテンポとの同期をオン/オフで切り替えます。 Trail: エフェクトをバイパス(オフ)にした時に、ディレイ音がトレイルするかどうかをオン/オフで切り替えます。
Lofi Echo	Delay	フィードバックが逆再生された特殊なディレイ効果を生成します。	Mix: エフェクト音と原音(ウェット/ドライ信号)の比率を調整します。 Feedback: ディレイ音の繰り返しの量を調整します。 Time: ディレイの時間を調整します。 Volume: エフェクトの出力音量をコントロールします。 Sync: タップテンポとの同期をオン/オフで切り替えます。 Trail: エフェクトをバイパス(オフ)にした時に、ディレイ音がトレイルするかどうかをオン/オフで切り替えます。
Rev Echo	Delay	左右チャンネルが独立して処理されるデュアルエコーを用いた、純粋なステレオディレイ効果の生成します。	Mix A: ディレイ A のウェット/ドライ信号比率をコントロールします。 FB A: ディレイ A のフィードバック量をコントロールします。 Time A: ディレイ A のディレイタイムをコントロールします。 Mix B: ディレイ B のウェット/ドライ信号比率をコントロールします。 FB B: ディレイ B のフィードバック量をコントロールします。 Time B: ディレイ B のディレイタイムをコントロールします。 A Sync: ディレイ A のタップテンポ同期をオン/オフで切り替えます。 B Sync: ディレイ B のタップテンポ同期をオン/オフで切り替えます。 Trail: エフェクトのトレイルをオン/オフで切り替えます。

* 上記で言及されている製造元や製品名は、それぞれの所有者による商標または登録商標です。
これらの商標は、あくまでも製品のサウンド特性を識別するために使用されています。

DLY			
FX Title	Type	概要	パラメーター詳細
Dual Echo	Delay	<p>通常のフィードバックとピッチシフトされた断片を組み合わせた特殊なディレイエフェクトです。</p> <p>Syncスイッチをオンにすることで、タップテンポ機能を使用してディレイタイムをコントロールできます。</p> <p>Syncスイッチがオンのとき、Timeノブを回して適切なタップディバайд値を設定します。</p> <p>デフォルト値は1/4(分割なし)です。</p>	Mix: エフェクト音と原音(ウェット/ドライ信号)の比率を調整します。 Time: ディレイタイムをコントロールします。 Feedback: ディレイ音の繰り返しの量を調整します。 Mod: エフェクトのモジュレーション量をコントロールします。 Tone: エフェクトのトーンをコントロールします。 Pitch: スライスのピッチシフト間隔を選択します。 Slice: オーディオ信号のスライスする長さを選択します。 Direction: オーディオのスライスの再生方向をコントロールします。 Blend: ノーマル/ピッチシフトされたフィードバック間の比率をコントロールします。 Smooth: フィードバックのアタックをコントロールします。 Level: エフェクトの出力をコントロールします。 Sync: タップテンポとの同期をオン/オフで切り替えます。 Trail: エフェクトをバイパス(オフ)にした時に、ディレイ音がトレイルするかどうかをオン/オフで切り替えます。
Ice Delay	Delay	<p>通常のフィードバックにピッチシフトされた音の断片を組み合わせた、特殊なディレイ・エフェクトです。</p> <p>Syncスイッチをオンにすることで、タップテンポ機能を使ってディレイタイムをコントロールできます。</p> <p>Syncスイッチがオンの際は、Timeノブを回して適切なタップディバайд設定してください。デフォルト値は1/4(分割なし)です。</p>	Mix: エフェクト音と原音(ウェット/ドライ信号)の比率を調整します。 Time: ディレイタイムをコントロールします。 Feedback: ディレイ音の繰り返しの量を調整します。 Mod: エフェクトのモジュレーション量をコントロールします。 Tone: エフェクトのトーンをコントロールします。 Pitch: スライスのピッチシフト間隔を選択します。 Slice: オーディオ信号のスライスする長さを選択します。 Direction: オーディオのスライスの再生方向をコントロールします。 Blend: ノーマル/ピッチシフトされたフィードバック間の比率をコントロールします。 Smooth: フィードバックのアタックをコントロールします。 Smooth: Controls the feedback attack Level: エフェクトの出力をコントロールします。 Sync: タップテンポとの同期をオン/オフで切り替えます。 Trail: エフェクトをバイパス(オフ)にした時に、ディレイ音がトレイルするかどうかをオン/オフで切り替えます。

* 上記で言及されている製造元や製品名は、それぞれの所有者による商標または登録商標です。

これらの商標は、あくまでも製品のサウンド特性を識別するために使用されています。

RVB			
FX Title	Type	概要	パラメーター詳細
Room	Reverb	部屋の空間的な広がりを再現します。	Mix: エフェクト音と原音(ウェット/ドライ信号)の比率を調整します。 Pre Delay: ドライ信号と、初期反射およびリバーブの残響が聞こえ始めるまでの時間量をコントロールします。 Decay: リバーブ時間の継続期間をコントロールします。 Trail: エフェクトをバイパス(オフ)にした時に、ディレイ音がトレイルするかどうかをオン/オフで切り替えます。
Hall	Reverb	パフォーマンスホールの空間的な奥行きを再現します。	Mix: エフェクト音と原音(ウェット/ドライ信号)の比率を調整します。 Pre Delay: ドライ信号と、初期反射およびリバーブの残響が聞こえ始めるまでの時間量をコントロールします。 Decay: リバーブ時間の継続期間をコントロールします。 Trail: エフェクトをバイパス(オフ)にした時に、ディレイ音がトレイルするかどうかをオン/オフで切り替えます。
Church	Reverb	教会の広大な空間を再現します。	Mix: エフェクト音と原音(ウェット/ドライ信号)の比率を調整します。 Pre Delay: ドライ信号と、初期反射およびリバーブの残響が聞こえ始めるまでの時間量をコントロールします。 Decay: リバーブ時間の継続期間をコントロールします。 Trail: エフェクトをバイパス(オフ)にした時に、ディレイ音がトレイルするかどうかをオン/オフで切り替えます。
Plate	Reverb	ヴィンテージのプレートリバーブ特有の音の質感を再現します。	Mix: エフェクト音と原音(ウェット/ドライ信号)の比率を調整します。 Decay: リバーブ時間の継続期間をコントロールします。 High Damp: ローパスフィルターの周波数をコントロールします。 Trail: エフェクトをバイパス(オフ)にした時に、ディレイ音がトレイルするかどうかをオン/オフで切り替えます。
Spring	Reverb	ヴィンテージのスプリングリバーブ特有の音の質感を再現します。	Mix: エフェクト音と原音(ウェット/ドライ信号)の比率を調整します。 Decay: リバーブ時間の継続期間をコントロールします。 Tone: エフェクトの音色をコントロールします。 Trail: エフェクトをバイパス(オフ)にした時に、ディレイ音がトレイルするかどうかをオン/オフで切り替えます。
Tube Spring	Reverb	ヴィンテージの真空管駆動のスプリングリバーブユニットから得られるサウンドをシミュレートしています。	Mix: エフェクト音と原音(ウェット/ドライ信号)の比率を調整します。 Pre Delay: ドライ信号と、初期反射およびリバーブの残響が聞こえ始めるまでの時間量をコントロールします。 Decay: リバーブ時間の継続期間をコントロールします。 Low Damp/Hi Damp: エフェクトの低周波数/高周波数量を減衰させます。 Mod: エフェクトのモジュレーション量をコントロールします。 Trail: エフェクトをバイパス(オフ)にした時に、ディレイ音がトレイルするかどうかをオン/オフで切り替えます。
Amp Spring	Reverb	コンボアンプに内蔵されたソリッドステートスピリングリバーブの音響特性を再現したモデルです。	Mix: エフェクト音と原音(ウェット/ドライ信号)の比率を調整します。 Pre Delay: ドライ信号と、初期反射およびリバーブの残響が聞こえ始めるまでの時間量をコントロールします。 Decay: リバーブ時間の継続期間をコントロールします。 Low Damp/Hi Damp: エフェクトの低周波数/高周波数量を減衰させます。 Mod: エフェクトのモジュレーション量をコントロールします。 Trail: エフェクトをバイパス(オフ)にした時に、ディレイ音がトレイルするかどうかをオン/オフで切り替えます。

*上記で言及されている製造元や製品名は、それぞれの所有者による商標または登録商標です。
これらの商標は、あくまでも製品のサウンド特性を識別するために使用されています。

RVB			
FX Title	Type	概要	パラメーター詳細
Studio	Reverb	レコーディングスタジオの広がり(空間性)を再現します。	Mix: エフェクト音と原音(ウェット/ドライ信号)の比率を調整します。 Pre Delay: ドライ信号と、初期反射およびリバーブの残響が聞こえ始めるまでの時間量をコントロールします。 Decay: リバーブ時間の継続期間をコントロールします。 Low Damp/Hi Damp: エフェクトの低周波数/高周波数量を減衰させます。 Mod: エフェクトのモジュレーション量をコントロールします。 Trail: エフェクトをバイパス(オフ)にした時に、ディレイ音がトレイルするかどうかをオン/オフで切り替えます。
N-Star	Reverb	豪華で華やかな響きの、特注リバーブエフェクトです。	Mix: エフェクト音と原音(ウェット/ドライ信号)の比率を調整します。 Decay: リバーブ時間の継続期間をコントロールします。 Trail: エフェクトをバイパス(オフ)にした時に、ディレイ音がトレイルするかどうかをオン/オフで切り替えます。
Deepsea	Reverb	深く広大な残響が特徴の、特別に調整されたリバーブエフェクトです。	Mix: エフェクト音と原音(ウェット/ドライ信号)の比率を調整します。 Decay: リバーブ時間の継続期間をコントロールします。 Trail: エフェクトをバイパス(オフ)にした時に、ディレイ音がトレイルするかどうかをオン/オフで切り替えます。
Sweet Space	Reverb	豪華で心地よい残響が特徴の、モジュレーション・リバーブを再現します。	Mix: エフェクト音と原音(ウェット/ドライ信号)の比率を調整します。 Pre Delay: ドライ信号と、初期反射およびリバーブの残響が聞こえ始めるまでの時間量をコントロールします。 Decay: リバーブ時間の継続期間をコントロールします。 Low End: 低周波の量をコントロールします。 High End: ハイパスフィルターの周波数をコントロールします。 Trail: エフェクトをバイパス(オフ)にした時に、ディレイ音がトレイルするかどうかをオン/オフで切り替えます。
Shimmer	Reverb	豊潤できらびやかな響きを持つリバーブ効果を再現します。	Mix: エフェクト音と原音(ウェット/ドライ信号)の比率を調整します。 Pre Delay: ドライ信号と、初期反射およびリバーブの残響が聞こえ始めるまでの時間量をコントロールします。 Decay: リバーブ時間の継続期間をコントロールします。 Low End: 低周波の量をコントロールします。 High End: ハイパスフィルターの周波数をコントロールします。 Trail: エフェクトをバイパス(オフ)にした時に、ディレイ音がトレイルするかどうかをオン/オフで切り替えます。

*上記で言及されている製造元や製品名は、それぞれの所有者による商標または登録商標です。
これらの商標は、あくまでも製品のサウンド特性を識別するために使用されています。

VOL			
FX Title	Type	概要	パラメーター詳細
Volume	Volume	音量コントロール	Volume: 出力音量を調整します。
* 上記で言及されている製造元や製品名は、それぞれの所有者による商標または登録商標です。 これらの商標は、あくまでも製品のサウンド特性を識別するために使用されています。			

SnapTone 機能

ソフトウェアは、AMP モジュールおよび DST モジュールで NAM 形式の音色ファイルを読み込むことができます。



ドラムリズムリスト

ジャンル	タイプ	拍子	テンポ初期設定
Rock	Classic Rock 1	4/4	120BPM
	Classic Rock 2	4/4	
	Classic Rock 3	4/4	
	Classic Rock 4	4/4	
	Classic Rock 5	4/4	
	Classic Rock 6	4/4	
	Hard Rock 1	4/4	
	Hard Rock 2	4/4	
	Hard Rock 3	3/4	
	Post Rock 1	5/4	
	Post Rock 2	4/4	
	Post Rock 3	4/4	
	Garage Rock	4/4	
	Prog Rock	4/4	
	Surf Rock	4/4	
	Punk 1	4/4	
	Punk 2	4/4	
	Punk 3	4/4	
	Punk 4	4/4	
	Post Punk 1	4/4	
	Post Punk 2	4/4	
	Heavy Metal 1	4/4	
	Heavy Metal 2	4/4	
	Nu-Metal 1	4/4	
	Nu-Metal 2	4/4	
	Hardcore	4/4	
	EMO	4/4	
	Grunge	4/4	
	New Wave	4/4	
	Rock 5/4	5/4	
Funk	Funk 1	4/4	
	Funk 2	4/4	

ジャンル	タイプ	拍子	テンポ初期設定
Funk	Funk 3	4/4	120BPM
	Funk 4	4/4	
	Jazz Funk 1	4/4	
	Jazz Funk 2	4/4	
	Jazz Funk 3	4/4	
Blues	Blues 1	4/4	120BPM
	Blues 2	4/4	
	Blues 3	4/4	
	Blues 4	4/4	
	Swing	4/4	
	Shuffle 3/4	3/4	
	Bluegrass	4/4	
	Country	4/4	
	Country Folk	4/4	
Pop	Pop 1	4/4	120BPM
	Pop 2	4/4	
	Pop 3	4/4	
	Hip Hop 1	4/4	
	Hip Hop 2	4/4	
	Hip Hop 3	4/4	
	Hip Hop Rock	4/4	
	Pub	4/4	
Jazz	Jazz 1	4/4	120BPM
	Jazz 2	4/4	
	Jazz 3	4/4	
	Jazz 4	4/4	
	Bossanova 1	4/4	
	Bossanova 2	4/4	
	Fusion	4/4	
Electronic	Electro1	4/4	120BPM
	Electro2	4/4	
	Techno	4/4	
	TripHop	4/4	
	Electronic Pop	4/4	

ジャンル	タイプ	拍子	テンポ初期設定
Electronic	Break Beat	4/4	
	Drum&Bass	4/4	
World	Latin 1	4/4	120BPM
	Latin 2	4/4	
	Latin 3	4/4	
	Latin Pop 1	4/4	
	Latin Pop 2	4/4	
	Samba	4/4	
	Tango	4/4	
	Beguine	4/4	
	Ska	4/4	
	Polka	2/4	
	Waltz	3/4	
	Reggae 1	4/4	
	Reggae 2	4/4	
	Mazuke	3/4	
	Musette	4/4	
	March 1	4/4	
	March 2	4/4	
	March 3	4/4	
Metro	New Age 1	4/4	
	New Age 2	4/4	
	World	4/4	
	1/4	1/4	
	2/4	2/4	
	3/4	3/4	
	4/4	4/4	
	5/4	5/4	
	6/4	6/4	
	7/4	7/4	
	6/8	6/8	
	7/8	7/8	
	8/9	8/9	

MIDI コントロール情報リスト

CC#	値の範囲	概要
0	0-1	BANK MSB: 01-A~32-D: CC0=1, PC=0-127 33-A~64-D: CC0=0, PC=0-127
7	0-100	Patch Volume
11	0-100	EXP 1
13	0-127	EXP1 A/B 0-63: A 64-127: B
16	0-100	Quick Access Para 1
17	0-127	Quick Access Knob 1 parameter adjustment: 0-63: Turn down by 1 step 64-127: Turn up by 1 step
18	0-100	Quick Access Knob 2
19	0-127	Quick Access Knob 2 parameter adjustment: 0-63: Turn down by 1 step 64-127: Turn up by 1 step
20	0-100	Quick Access Knob 3
21	0-127	Quick Access Knob 3 parameter adjustment: 0-63: Turn down by 1 step 64-127: Turn up by 1 step
22	0-127	BANK - (initial mode)
23	0-127	BANK + (initial mode)
24	0-127	Patch -
25	0-127	Patch +
26	0-127	BANK - (wait mode)
27	0-127	BANK +(wait mode)
28	0-127	BANK (wait mode)
48	0-127	PRE Module on/off: 0-63: off 64-127: on
49	0-127	DST Module on/off: 0-63: off 64-127: on

CC#	値の範囲	概要
50	0-127	AMP Module on/off: 0-63: off 64-127: on
51	0-127	NR Module on/off: 0-63: off 64-127: on
52	0-127	CAB Module on/off: 0-63: off 64-127: on
53	0-127	EQ Module on/off: 0-63: off 64-127: on
54	0-127	MOD Module on/off: 0-63: off 64-127: on
55	0-127	DLY Module on/off: 0-63: off 64-127: on
56	0-127	RVB Module on/off: 0-63: off 64-127: on
57	0-127	WAH Module on/off: 0-63: off 64-127: on
58	0-127	TUNER on/off: 0-63: off 64-127: on
59	0-127	LOOPER on/off: 0-63: off 64-127: on
60	0-127	LOOPER Record
61	0-127	LOOPER Auto Record
62	0-127	Looper Play/Stop 0-63: Stop 64-127: Play
63	0-127	Looper Tempo 0-63: Half-speed 64-127: Normal Speed

CC#	値の範囲	概要
64	0-127	Looper Playback Status 0-63: Reverse 64-127: Normal
65	0-127	Delete Loop
66	0-100	Looper Recording Volume
67	0-100	Looper Playback Volume
68	0-127	Looper Placement 0-63: Rear 64-127: Front
69	0-127	CTRL 1
70	0-127	CTRL 2
71	0-127	CTRL 3
72	0-127	CTRL 4
73	0-1	Tempo MSB, Used with Cc74
74	0-127	CC73=0,CC74=40-127: 40BPM-127BPM CC73=1,CC74=0-122: 128BPM-250BPM
75	0-127	Tap Tempo
76	0-127	CTRL 5
77	0-127	CTRL 6
78	0-127	CTRL 7
79	0-127	CTRL 8
92	0-100	Drum Machine Menu on/off: 0-63: off 64-127: on
93	0-127	Drum Machine Play/Stop 0-63: Stop 64-127: Play
94	0-99	Drum Machine Type
95	0-100	Drum Machine Volume

トラブルシューティング

電源が入らない場合の対処法

- ・電源が正しく接続されていて、デバイスの電源がオンになっていることを確認してください。
- ・電源アダプターが正常に動作しているか確認してください。
- ・正しい電源アダプターを使用しているかどうかを確認してください。

音が出ない、または音が小さい場合の対処法

- ・ケーブルが正しく接続されているか確認してください。
- ・ボリュームノブが適切に調整されているか確認してください。
- ・エクスプレッションペダルでボリュームをコントロールしている場合は、ペダルの位置とボリューム設定を確認してください。
- ・エフェクトモジュールのボリューム設定をチェックしてください。
- ・パッチのボリューム設定を確認してください。
- ・入力機器がミュートになっていないか確認してください。

ノイズが発生する場合の対処法

- ・ケーブルが正しく接続されているか確認してください。
- ・楽器の出力ジャックをチェックしてください。
- ・正しい電源アダプターを使用しているか確認してください。
- ・ノイズが楽器から発生している場合は、ノイズリダクションモジュールを使用してノイズを軽減してみてください。

音に関する問題がある場合の対処法

- ・ケーブルが正しく接続されているか確認してください。
- ・楽器の出力ジャックをチェックしてください。
- ・外部エクスプレッションペダルでディストーションなどのパラメータをコントロールしている場合は、ペダルの設定が正しいか確認してください。
- ・エフェクトのパラメータ設定を確認してください。極端な設定にすると、GP-200 で異常なノイズが発生することがあります。

エクスプレッションペダルの問題がある場合の対処法

- ・エクスプレッションペダルのオン／オフ設定を確認してください。
- ・ペダルのキャリブレーション（校正）を試みてください。

仕様

- A/D/A コンバーター 24 ビット高性能オーディオ
- サンプリング周波数 44.1 kHz
- SNR (信号対雑音比) 110dB
- モジュール数 11 モジュール (同時使用可能)
- パッチメモリー 256 パッチスロット、100 ファクトリー/パッチ
- ループー 最大録音時間 180 秒
- ドラムマシン 100 パターン
- MIDI (IN/OUT/THRU) 5 ピン MIDI コネクター

アナログ入力端子

- ギター入力: 1/4 インチ アンバランス (TS)
- 入力インピーダンス: 4.7M Ω (A.GT)、1M Ω (E.GT)、10k Ω (ライン)
- リターン入力: 1/4 インチ アンバランス (TS)
- リターン入力インピーダンス: 100k Ω
- AUX 入力: 1/8 インチ ステレオ (TRS)
- AUX 入力インピーダンス: 10k Ω

アナログ出力端子

- L/R アンバランス出力: 1/4 インチ TS ジャック、インピーダンス 1k Ω
- L/R バランス出力: XLR ジャック、インピーダンス 1k Ω
- センド出力: 1/4 インチ アンバランス (TS)、インピーダンス 1k Ω
- ヘッドホン出力: 1/8 インチ ステレオ (TRS)、インピーダンス 22 Ω

デジタル接続

- USB ポート: USB 2.0 Type-C ポート

USB 録音仕様

- サンプルレート: 44.1 kHz
- ビット深度: 16 ビットまたは 24 ビット対応

サイズ・重量

- 尺寸: 345mm (幅) × 220mm (奥行) × 62.5mm (高さ)
- 重量: 2.37 kg

電源

- DC 9V、1000mA、センターマイナス